三　鹽回送賣渡請求書

鹽回送拂出票ノ日計箋ハ鹽回送受入通知書ヲ受領シタル日ヲ以テ回送受、回送減及回送亡失トニ區別シテ之ヲ整理スヘシ

鹽回送受入票ノ日計箋ハ現品ノ引渡ヲ受ケタル日ヲ以テ之ヲ整理スヘシ

鹽回送賣渡請求書ノ日計箋ハ回送鹽ヲ回送賣渡請求者ニ引渡シタル日ヲ以テ之ヲ整理スヘシ

第十九條　鹽務局ハ毎月末及毎年度末ニ於テ鹽回送整理簿ニ依リ第七號書式ノ鹽回送報告表ヲ作成シ翌月十五日限リ之ヲ大藏省ニ報告スヘシ

附　則

第二十條　鹽回送賣渡ニ關シ本則ニ規定ナキモノニ付テハ鹽務局事務取扱手續ニ依ルヘシ

（審式省略）

右の如く明治三十九年十月以降政府に於て鹽の回送を爲すの制度を設けしと雖も、右は買受者の請求に基き其の費用を以て回送を行ふに止まり、未だ政府自身の計畫に基き官費を以て鹽の回送を行ふに至らざりしなり。然るに本邦に於ける鹽の主産地は一定の區域に限られ、且つ其の製鹽季も亦一定せるを以て、最盛季間主産地方に於ては收納鹽の停滯を來すに反し、遠隔の非産地方に在りては供給不足を告ぐることあるを免れず。是を以て明治四十年七月に至り政府は新に官費回送の制度を設け、主産地より主要消費地に對し隨時政府の費用を以て豫め鹽を回送し、以て産出少き地方の供給を潤澤ならしむると共に、主産地に於ける鹽收納に支障なからしめんことを期したり。卽ち此の制度に於ては函館・小樽・直江津・仙臺・土崎・境（同年八月東京・大阪・郡山・門司・熊本を追加）等全國主要消費地に官費回送鹽販賣倉庫を設置すると同時に、之に對して鹽を回送すべき關係鹽務局を一定し置き、回送先鹽務局所は最盛季間は五日毎其の他は十日毎に、其の倉庫現在鹽數量及其の收容餘力を回送元鹽務局に通報し、回送元鹽務局は常時管內出張所の鹽出納の狀況を査察し、倉間の虞ありと認むるときは豫め適當の時期に其の收納鹽を回送先關係鹽務局所に回送するものとし、回送先鹽務局所は右回送鹽を其の倉庫に貯藏し置き、必要に應じて隨時之を需要者に賣渡すものにして、右賣渡の際に於て買受人より賣渡價格と共に回送費用を徵收するものとす。而して右回送に關しては回送元鹽務局所毎に回送請負人を指定し置きて鹽の運送を取扱はしめ、又回送先鹽務局所に於ては請負人を定め置きて、回送鹽の荷揚及倉入等の取扱を爲さしむることと爲したり。

以上の如く鹽の回送は民間回送の外、政府取扱の回送に就ても順次請求回送及官費回送の兩制度設けられしが、明治四十一年四月に至りて政府は一層鹽の需給調和及鹽價の低廉を圖らんが爲め、販賣制度に大改革を施すこととしたり。卽ち鹽の販賣に就ては總て賣捌人を指定して、其の指定を受けたる者に限り販賣を許すこととなし、同時に販賣官署を增設して其の販賣區域を定め、各販賣官署は其の區域內の元賣捌人に對して鹽を賣渡し、元賣捌人は他の元賣捌人又は小賣人に之を販賣し、小賣人は更に之を消費者に販賣するの組織と爲し、同年七月一日より之を實施したり。茲に於て從來政府に於て執行したる鹽の回送の中、請求回送の制度は之を廢止して官費回送のみに限ることと爲し、卽ち前揭鹽回送賣渡規則を廢止すると共に、同年五月新に專賣局長官達丁第二四八一號を以て鹽回送規程を定め、同じく七月一日より之を實施したり。今改正販賣制度に基く官費回送に關する方

案の大綱を示せば左の如し。

（一）鹽の分配回送は總て本局に於て命令すること。

右に關しては本局は豫め一方に於ては販賣所に對して、一定期間毎に其の區域内に於ける需要數量・等級・産地・包裝種類等を本局に報告せしめ、一方に於ては收納所に對し同期間に於ける收納鹽の見込數量・等級・包裝種類等を報告せしめ、此の兩者を對照して回送計畫を立て、之に依りて其の回送命令を發すること。

（二）鹽の分配に關しては各收納所又は出張所に於て收納したる鹽は、其の地方の嗜好に適應する限り成るべく其の所屬販賣區域内に賣下ぐるを方針とす。而して其の區域内の需要に超過したる數量を他の販賣所に回送するに就ては、本局は成るべく需要地に於ける嗜好の習慣に適應する樣其の分配を注意し、且つ地理上の關係をも參酌し、豫め其の回送先を概定し置くものとす。

（三）回送請負人は各收納所毎に從來の經驗者中より指命して競爭に付すること。

（四）荷揚倉入手數は回送請負以外とし、各地毎に其の地方の者に請負はしむること。

（五）回收すべき回送費は關係近接收納所よりの平均回送費に依ること。

（六）回送費中には船車よりの荷揚倉入費を包含せしむること、但し販賣倉庫貸借料等は之を包含せず。

（七）鹽は一切保險に付せざること。

（八）回送鹽の不可抗力に依る亡失毀損は回送請負人に責任なく、其の他の原因に依る亡失にして亡失事實の明に認められる場合には、回送請負人をして賠償價格に依り辨償せしめ、事實の疑はしき場合には賣渡價格を辨償せしむることを必要とすること。毀損は程度に依り、從て回送請負契約には保證人

（九）鹽の回送は大體船便（成るべく汽船）に依らしむること。

（十）再回送は之を爲さざること、但し已むを得ざる場合は此の限りにあらず。

（十一）同一賠償價格區域内の回送は已むを得ざる場合の外之を行はざること。此の回送は收納所をして爲さしめ、回送請負人等は收納所限り指定すること。

又此の鹽を賣下ぐるときは回送費を徵收せざること。

翌明治四十二年五月に至り回送制度改正以來一箇年の實驗に鑑み、回送規程中改廢の要を認め、其の全文を改定して之を六月一日より實施せしが（長官達丁第三四二三號）、其の改訂の要點は左の如し。

（一）發送元官署中關係回送先官署に對し、從來回送見込高も亦甚だ僅少なるものは、之を關係回送先官署中より削除す。

（二）發送元より回送先に至る運送と回送先に於ける荷揚倉入とは同一人をして請負はしめ、尙ほ其の請負契約期間を每年二期に變更す。

（三）回送鹽の亡失損傷及延着に對する運送請負人責任の有無は、原則として回送先官署に於て其の調査決定處分をも併せ爲さしめ、若し其の亡失・損傷又は延着の原因が發送元附近に於て發生し、回送先より前に知りたるとき例外として發送元に於て調査處分せしむること。但し一口の金額三百圓以上の事件は本局に於て之を處分す。

鹽回送規程は爾後數次の部分的改正を經て明治四十五年四月一日再び其の全文を改正せられしが(即日より施行)、大正三年三月に至り三度其の全文の改正あり、同年四月一日より施行せられたり。同規程も亦大正九年三月二十九日及昭和二年三月三十一日に於て、各〻其の一部の改正を見たるが、今此等の改正を經たる全文を掲ぐれば左の如し。

鹽回送規程(大正三年三月二十三日專賣局長官達甲第一〇七六號)

第一條　鹽ノ運送請負契約ハ本局ニ於テ締結スヘシ但シ左ノ場合ニ於テ現在ノ鹽運送請負契約中ニ追加スルヲ便トスル場合ヲ除クノ外當該地方專賣局ニ於テ之ヲ締結スヘシ

一　鹽運送請負契約ノ締結ナキ箇所ニ對シ臨時鹽ノ回送命令ヲ受ケタル場合

二　第六條第一項但書ノ場合

第二條　鹽運送請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有スル者タルコトヲ要ス

一　直接國稅二十圓以上ヲ納ムル者

二　運送業ニ三年以上從事シ尚引續キ現ニ從事スル者

第三條　鹽運送請負契約ハ毎年度之ヲ更新スルモノトス但シ必要アルトキハ契約期間ヲ短縮スルコトヲ得

第四條　鹽運送請負希望者ヨリ徵スヘキ鹽運賃見積書ハ第一號書式ニ依ルヘシ

本局ノ締結ニ係ル現運送契約額ニ對シ回送先官署長ハ荷揚(卸)倉入費額又ハ發送元官署長ハ右以外ノ各費額及到達豫定期間ニ對スル改定ノ要否ヲ調査シ現行契約期間滿了ノ日ヨリ少クトモ一箇月前ニ之ヲ本局ニ報告スヘシ

第五條　鹽運送請負人ヲ指定シタルトキハ適當ト認ムル保證人ヲ立テシメ第二號書式ノ鹽運送請負書ヲ徵スヘシ

地方專賣局ニ於テ鹽運送請負人ヲ指定シタルトキハ其ノ見積書ノ謄本ニ契約月日、期限及保證人ノ住所氏名ヲ附記シテ之ヲ本局ニ提出スヘシ

第六條　鹽ノ回送ハ本局ニ於テ之ヲ命令スヘシ但シ地方專賣局、出張所、派出所及回送鹽引渡場所相互間ノ回送ニ付テハ鹽ノ供給上必要已ムヲ得スト認メラルル場合ニ限リ當該地方專賣局長限リ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ其ノ發令月日、發送元、回送先、鹽ノ種類、等級、包裝別數量及回送ノ事由ヲ本局ニ報告スヘシ之ヲ增減變更シタルトキ亦同シ

回送先官署長ハ發送元官署長ト協議ノ上運送契約上支障ナキ限リ回送先官署又ハ其ノ派出所若ハ回送鹽引渡場所ニ對スル配賦命令鹽ヲ相互間ニ於テ回送先ヲ變更スルコトヲ得其ノ回送先ヲ變更シタルトキハ其ノ旨本局ニ報告スヘシ

發送元官署長ハ鹽回送上支障ヲ來スヘキ虞アル場合ニ限リ回送先官署ノ同意ヲ得テ命令ニ指定シタル鹽ノ等級、包裝ヲ變更スルコトヲ得此ノ場合ハ其ノ旨直ニ本局ニ報告スヘシ

第七條　回送先及發送元官署長ハ第三號書式ニ依リ翌年度分月別鹽賣渡見込高表ヲ每年二月十日本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ

回送先官署長ハ第四號書式ニ依リ翌月分鹽需要高表ヲ發送元官署長ハ第五號書式ニ依リ翌月分鹽回送高表ヲ每月十五日迄ニ本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ

第八條　鹽回送命令ヲ受ケタルトキハ發送元官署ハ命令ノ日附後五日以內ニ第六號書式ニ依

リ鹽回送計畫表ヲ本局ニ提出シ同時ニ關係部分ニ對スル謄本ヲ回送先官署ニ送付スヘシ其ノ計畫ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ第六條但書ノ場合又ハ鹽回送命令ニ對シ命令額全部ヲ命令ノ日附後五日以內ニ於テ卽時ニ拂出ストキハ計畫表ノ調製ヲ要セス其ノ旨本局ニ報告スヘシ

第九條　鹽運送請負人ニ對シ運送ノ命令ヲ爲シタルトキハ回送費豫算執行決議簿當該欄ニ記入ノ上請負人ノ認印ヲ徵スヘシ

第十條　回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡ストキハ主任官吏立會ノ上請負人又ハ代理人ヲシテ現品ヲ調査セシメ回送費豫算執行決議簿ニ領收印ヲ徵スヘシ

前條及前項ノ場合ニ於テ豫算執行決議簿ノ備ナキ官署ニアリテハ之ニ準シタル帳簿ヲ調製シテ處理スヘシ

第十一條　運送請負人カ回送鹽ヲ船舶ヲ以テ輸送スル場合ニ於テハ一運送命令ノ鹽ナルト否トヲ問ハス其ノ積載鹽ノ全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル後直ニ第七號書式ノ回送案內書ヲ回送先官署ニ送付スヘシ

運送請負人カ回送鹽ヲ貨車其ノ他陸運ヲ以テ輸送スル場合ニ於テハ一運送命令ノ鹽全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル都度前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條　發送元官署ハ其ノ月中ニ運送命令ノ鹽ヲ二回以上ニ分割引渡ヲ爲ストキハ一回分リ翌月五日迄ニ本局ニ報告スヘシ

運送請負人ニ引渡シタル回送鹽ノ數量ヲ第八號書式ニ依

前項ノ規定ハ第六條第一項但書ノ回送鹽ノミヲ取扱ヒタル發送元官署ニ之ヲ準用ス

第十三條　發送元官署ニ於テ鹽ノ收納、貯藏ノ不足其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ月中ニ回送ノ見込立タサルモノ又ハ回送スルコト能ハサルモノアルトキ、汽車積回送鹽拂出後配給貨車ノ都合ニ依リ一貨車未滿ノ端數ヲ生シ不足補塡ノ爲增積ノ要アルトキ、及船積回送鹽ニ付運送請負人カ已ムコトヲ得サル事情ニ因リ回送命令數量以上ノ積載力ヲ有スル船舶ヲ回航シ又ハ船腹ノ見込違ヒ等ニ依リ運送請負人ヨリ增積ヲ申請シ之ヲ承認セムトスルトキ既ニ運送請負人ニ對シ運送命令ヲ發シタル後ナル場合ハ運送請負人ニ對シ直ニ運送命令解除又ハ追加運送命令ノ通知ヲ發シ其ノ發送元、等級別數量、包裝ノ種類、箇數、回送不能又ハ增積ノ事由ヲ回送先官署ニ通知スルト同時ニ本局ニ報告スヘシ

前項ノ回送不能額又ハ增積額ハ回送命令中減額又ハ增額セラレタルモノトス

發送元官署ニ於テ第一項ノ回送不能額ヲ翌月分ノ回送命令高ニ變更スルノ必要アルトキハ其ノ旨稟申シ承認ヲ受クヘシ但シ天候其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲翌月ニ引渡ヲ要スル場合ニ限リ當該地方專賣局長限リ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ發送元、回送先、回送シタル鹽ノ等級包裝數量及翌月引渡ノ事由ヲ本局ニ報告スヘシ

前項ノ承認ヲ得サル場合ニ於テハ回送不能額ハ回送命令中減額セラレタルモノトシ運送請負人ニ對シ既ニ運送命令ヲ發シタル後ナルトキハ運送請負人ニ對シ直ニ運送命令解除ノ通知ヲ發スヘシ

第十四條　回送先官署ニ於テ回送鹽ノ引渡ヲ受クルトキハ運送請負人又ハ代理人ヲ立會セシ

メ亡失減耗シタルモノヲ除クノ外損傷シタルモノアルト否トヲ問ハス現品ヲ調査シ總テ受入ノ手續ヲ爲シ第九號書式ノ領收證ヲ發送元官署ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ運送請負人ノ請求アルトキハ鹽領收證ヲ交付スヘシ第一項ノ場合ニ於テ回送先官署ハ回送案內書ノ餘白ニ引渡月日若亡失減耗又ハ損傷ノ事實アリタルトキハ其ノ數量又引渡遲延ノ事實アリタルトキハ其ノ遲延日數及其ノ數量ヲ記入シ尙其ノ他ノ餘白又ハ補箋ニ依リ其ノ鹽ノ受入命令ヲ發スヘシ

第十五條　回送鹽ニシテ運送中亡失減耗損傷シタルモノ又ハ引渡豫定期間ヲ過キ引渡シタルモノアルトキハ回送先官署ハ第十號書式ニ依リ調査書ヲ作成シ且同時ニ運送請負人ヨリ事由書及證憑書類ヲ提出セシメ鹽運送請負書ノ定ムルトコロニ據リ責任ノ有無ヲ調査シ若其ノ責任ノ運送請負人ニ歸スヘキモノハ相當金額ヲ納付セシメ其ノ責ニ歸スヘカラサルモノハ其ノ旨ヲ告知スヘシ但シ亡失減耗鹽ニ對シ運送請負人ヨリ現品代償ヲ申出テタル場合ニハ之ヲ許シ損害處分ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

前項ニ依リ運送請負人ヨリ提出スヘキ事由書及證憑書類ニシテ受入ノ際提出シ難キモノアル場合ニハ一定ノ期間內ニ之ヲ提出スヘキコトヲ命シ遲滯ナク其ノ調査決定ヲ了スヘシ若其ノ期間內ニ提出ヲ爲ササルトキハ適宜之ヲ決定シ其ノ旨運送請負人ニ通知スヘシ

回送鹽發送ノ際運送請負人ニ於テ回送鹽ノ引取ヲ遲延シタルモノアリタルトキハ發送元官署ハ前二項ニ準シ處理スヘシ

前三項ノ場合ニ於テ其ノ損害金額カ五百圓以上ナルトキハ調查書ハ關係書類ト共ニ之ヲ本局ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第十六條　回送鹽ノ亡失減耗損傷及引渡遲延シタルモノニ對シテハ一回送案內每ニ又回送鹽ノ引取遲延ニ對シテハ一運送命令每ニ一件トシテ處理スヘシ

前條及前項ニ依リ處理ヲ了シタルトキハ亡失減耗、損傷カ發送元附近ニ於テ生シ回送先官署ヨリ前ニ其ノ事實ヲ知リタルトキハ第十五條ノ手續ハ發送元官署ニ於テ之ヲ處理スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ヲ準用ス

第十七條　回送鹽ノ亡失、減耗、損傷カ發送元官署ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ亡失減耗鹽竝損傷鹽ニ付テハ成ルヘク同品種鹽ノ補充竝引替發送ノ手續ヲ爲スト同時ニ其ノ旨回送先官署ニ通報スヘシ補充不能ナルトキ又ハ引替發送ノ爲積戻リタル損傷鹽ニ對シ引替發送不能ナルトキ亦同シ

前項ニ依リ鹽ノ補充又ハ引替發送ヲ爲サムトスルトキハ運送請負人ニ對シ運送命令ノ一部解除及同額ノ追加運送命令ノ通知ヲ發シ補充不能ナルトキ又ハ引替發送ノ爲積戻リタル損傷鹽ニ對シ引替發送不能ナルトキハ運送命令一部解除ノ通知ヲ發スヘシ

第十八條　船積回送鹽ノ共同海損ニ關シテハ發送元官署ニ於テ之ヲ處理シ海難救助ニ關シテハ回送先官署ニ於テ之ヲ處理スヘシ但シ海難救助カ發送元附近ニ於テ起リ發送元ニ於テ救助料ノ請求ヲ受ケタルトキハ發送元官署ニ於テ之ヲ處理スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ分擔金又ハ救助料ノ額ノ如何ニ拘ラス本局ノ承認ヲ受クヘシ

第十九條　亡失滅耗損傷、引渡及引取遲延處分ノ事蹟ハ毎年度末ニ於テ第十一號書式ノ報告ヲ作成シ翌月五日限リ之ヲ本局ニ提出スヘシ

（書式省略）

尙ほ回送鹽の賣渡上販賣官署を經由して鹽を賣下ぐるときは、地方に依りては之が爲め逆送となりて二重の運搬費を要し、買受人の不便不利は勿論、爲めに鹽價の引下を期する爲め明治四十二年六月に至り專賣局長官達丁第三七此等地方供給の簡便竝に鹽價の引下を期する爲めに鹽價を騰貴せしむるの傾向ありしを以て七〇號を以て「鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續」を制定し、販賣官署所在地以外の主要消費地を引渡場所に指定し、該地方買受人の請求に依り一定數量以上の鹽を官費回送し、到著次第直に之を引渡すの途を開きたり。右手續規程も爾後十數次に亙る部分的改正を經て大正末年に至りしが、今此等の改正を經たる規定を揭ぐれば左の如し。

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續（明治四十二年六月二日專賣局長官達丁第三七七〇號）

第一條　左記ノ鹽販賣官署ハ鹽買受人ノ請求ニ依リ其ノ賣渡スヘキ鹽ヲ左記ノ場所ニ於テ引渡スコトヲ得

鹽販賣官署	引渡場所
高崎地方專賣局松本出張所	長野縣上伊那郡伊那富村辰野
郡山地方專賣局	福島縣福島市
仙臺地方專賣局	岩手縣西磐井郡一關町
仙臺地方專賣局盛岡出張所	岩手縣稗貫郡花卷川口町（花卷）
仙臺地方專賣局盛岡出張所	岩手縣下閉伊郡宮古町
仙臺地方專賣局青森出張所	青森縣三戸郡八戸町
仙臺地方專賣局青森出張所	秋田縣北秋田郡大館町
仙臺地方專賣局酒田出張所	山形縣最上郡新庄町
仙臺地方專賣局土崎出張所	秋田縣平鹿郡横手町
函館地方專賣局小樽出張所	北海道旭川市
函館地方專賣局釧路出張所	北海道常呂郡野付牛町
名古屋地方專賣局	岐阜縣吉城郡船津町
名古屋地方專賣局	岐阜縣益田郡萩原町
名古屋地方專賣局宇治山田出張所	三重縣志摩郡鳥羽町
大阪地方專賣局	大阪府堺市
大阪地方專賣局	奈良縣北葛城郡高田町
大阪地方專賣局	和歌山縣海草郡湊村（和歌山）
大阪地方專賣局	和歌山縣西牟婁郡田邊町
大阪地方專賣局	和歌山縣東牟婁郡勝浦町
大阪地方專賣局舞鶴出張所	兵庫縣養父郡大藏村（和田山）
岡山地方專賣局	岡山縣久米郡佐良山村（津山）
岡山地方專賣局米子出張所	鳥取縣鳥取市
岡山地方專賣局米子出張所	鳥取縣西伯郡境町
廣島地方專賣局米子出張所	島根縣那賀郡濱田町
廣島地方專賣局	廣島縣雙三郡十日市町（三次）
廣島地方專賣局松山出張所	愛媛縣宇和島市
廣島地方專賣局三田尻出張所	山口縣阿武郡萩町
德島地方專賣局	高知郡安藝郡甲浦町
德島地方專賣局高知出張所	高知縣安藝郡安藝町
德島地方專賣局高知出張所	高知縣幡多郡下田村
德島地方專賣局高知出張所	高知縣高岡郡須崎町
福岡地方專賣局佐賀出張所	佐賀縣東松浦郡唐津町
熊本地方專賣局	福岡縣久留米市
熊本地方專賣局	長崎縣南高來郡口ノ津村
鹿兒島地方專賣局	鹿兒島縣川邊郡枕崎町
鹿兒島地方專賣局	鹿兒島縣日置郡西市來村湊町

第二條　前條ノ場所ニ於テ引渡スヘキ鹽ノ運送方法ハ發送元官署引渡場所間ノ鹽運送請負契約上定メラレタル方法ニ依リ其ノ一回ノ引渡高合計ハ汽船送ノ場合ハ四十萬斤以上（境ニ於テハ三十萬斤以上、宮古ニ於テハ仙臺又ハ鹽釜送ト積合ノ場合ニ限リ五萬斤以上）帆船送ノ場合ハ十萬斤以上（萩ニ於テハ三萬斤以上、堺ニ於テハ五萬斤以上）汽車送ノ場合ハ一萬二千八百

斤又ハ其ノ倍數ナルコトヲ要ス

第三條　本規程ニ依リ鹽ノ引渡ヲ爲スハ買受人カ鹽賣捌規則第十四條第三項ニ依リ鹽代金ノ擔保トシテ豫メ擔保物件ヲ鹽販賣官署ニ提出シタル場合ニ限ル但シ鹽販賣官署ハ第一條ノ場所又ハ其ノ附近ニ日本銀行支店若ハ代理店アル場合ニ限リ當該支店若ハ代理店ヲ指定シテ鹽代金ヲ卽納セシメ又ハ鹽賣捌規則第十四條第一項ニ依ル延納ヲ許可スルコトヲ得

第四條　第一條ノ場所ニ於テ鹽引渡ヲ受ケムトスル者ニ對シテハ鹽賣捌規則第十三條ニ依ル賣渡請求書ニ其ノ場所竝指定時日ニ鹽ヲ引取ラサルトキハ鹽販賣官署ノ指定スル荷揚倉入及保管費用ヲ支拂フヘキ旨ヲ附記セシムヘシ但シ在庫鹽引渡ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　回送鹽發送元官署ニ於テ第一條ノ場所ニ送付スヘキ回送命令ヲ受ケタルトキハ運送請負人ヲシテ引渡場所ニ於ケル代理人ニ對シ到達豫定日時ヲ通報セシメ且右代理人ヨリ直ニ其ノ旨ヲ鹽販賣官署ニ申告セシムヘシ到達豫定時日ニ變更アリタルトキ亦同シ

第六條　鹽販賣官署前條ノ申告ヲ受ケタルトキハ直ニ買受人ニ對シ鹽ノ引渡時日ヲ通知シ且其ノ時日ニ當該官吏ヲ同地ニ出張セシメ鹽ノ賣渡及其ノ出納命令ヲ代決セシムヘシ

第七條　回送鹽引渡場所ニ到達シタルトキハ出張官吏ニ於テ賣渡及出納ノ手續ヲ終ヘ運送請負人竝買受人ヲ立會セシメ積載船車ニ於テ現品ノ受渡ヲ爲スヘシ

第八條　回送鹽引渡ニ際シ買受人立會セサルカ又ハ當初請求シタル鹽ノ全部若ハ一部ノ引取ヲ肯セサル爲鹽ヲ引渡スコト能ハサルトキハ直ニ之ヲ保管寄託ニ付スヘシ

前項ノ必要ニ應スル爲販賣官署ニ於テハ豫メ荷揚倉入ノ請負及保管寄託ノ契約ヲ爲シ置ク

コトヲ要ス

第九條　出納官吏其ノ用務ヲ終了シ歸廳シタルトキハ一切ノ書類ヲ提供シテ販賣官署長ニ復命スヘシ

第十條　本規程ニ定ムルモノノ外鹽ノ回送、賣渡及出納保管ニ關シテハ一般ノ規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第十一條　本規程ノ要旨ハ便宜ノ方法ヲ以テ鹽買受人ニ周知セシムヘシ

今年々の回送受拂高を表示すれば左の如し。

年度		受入高			拂出高			拂出に對する回送費
		數量	價格		數量	價格		
明治	三九	五、一三九、〇二〇斤	四六、七七六円		五、一九七、〇四〇斤	四七、三一〇円		八、一九六銭
	四〇	六九、一五〇、四五九	七〇四、三九二		七一、三三七、七〇〇	七二六、八四七		一二〇、八二〇
	四一	三〇七、三三七、〇三〇	三、三一三、一五五		三〇七、〇七七、一五〇	三、三〇九、四九五		四九六、七六四
	四二	三八一、五一九、六七九	四、一二二、一九〇		三八三、六二七、八四四	四、一四八、八一二		六〇〇、八七七
	四三	四五〇、五八九、九一二	四、七三一、九〇六		四五〇、五八九、九一二	四、七三一、九〇六		八八八、二〇六
	四四	六六〇、二六四、一四一	六、九六八、一一〇		六六〇、二六四、一四一	六、九六八、一一〇		一、二六九、〇九五
大正	元	七七〇、〇六三、二一六	八、四八六、七四四		七七〇、〇六二、二一六	八、四八六、七四四		一、四〇六、〇六七
	二	七八九、〇二七、八四六	八、九六四、六八八		七八九、〇二七、八四六	八、九六四、六八八		一、五六二、一三七
	三	八〇四、一六〇、八五八	九、二一九、五七一		八〇四、一六〇、八五八	九、二一九、五七一		一、五〇九、六一九
	四	七九四、二九四、〇七四	八、八四一、六九四		七九四、二九四、〇七四	八、八四一、六九四		一、四九九、六六七
	五	八一九、三三八、六〇六	八、七九八、八三七		八一九、三三八、六〇六	八、七九八、八三七		一、九三一、二六二
	六	八〇一、八七六、九六八	一一、六五九、二四二		八〇一、八七六、九六八	一一、六五九、二四二		三、九八四、一七三

大正	七	七五六、三六〇、八七三斤	一五、一九一、三九八円	七五六、三六〇、八七三斤	一五、一九一、三九八円
	八	一、三一八、五六二、一八四	三六、六六四、四二五	一、三一八、五六二、一八四	三六、六六四、四二五
	九	一、一七三、五〇四、五七五	三八、七四九、一四八	一、一七三、五〇四、五七五	三八、七四九、一四八
	一〇	八八二、九〇三、三一六	二四、七一六、三一〇	八八二、九〇三、四三六	二四、七一六、三四八
	一一	一、〇四一、三八二、八八九	三〇、五一四、八九七	一、〇四一、三八二、七六九	三〇、五一四、八六〇
	一二	八四四、七二八、六一一	二四、三〇四、四七三	八四四、七二八、六一一	二四、三〇四、四七三
	一三	一、〇三九、三六四、二〇二	二九、四五五、二七〇	一、〇三九、三六四、二〇二	二九、四五五、二七〇
昭和	一四	一、〇三五、四二三、八三四	三〇、五九一、七一二	一、〇三五、四二三、八三四	三〇、五九一、七一二
	元	一、〇五五、四三五、一〇四	三〇、一〇九、四〇一	一、〇五五、四三五、一〇四	三〇、一〇九、四〇一
			三、六四三、五七二円		三、六四三、五七二円
			五、四六九、九五〇		五、四六九、九五〇
			五、九六五、一二五		五、九六五、一二五
			三、九八九、二一五		三、九八九、二一五
			四、五三七、一二一		四、五三七、一二一
			三、四八四、八二七		三、四八四、八二七
			四、四七三、五四九		四、四七三、五四九
			三、九一七、二〇三		三、九一七、二〇三
			四、〇六一、四八七		四、〇六一、四八七

次に鹽回送費の徴收に關して述べんに、明治三十九年十月政府に於て鹽の請求回送を實施するや回送費は其の實費を鹽代價と共に請求者より納付せしめしが、翌四十年七月官費回送制度を設くるに及びて、鹽は官費を以て豫め全國各地方に回送し置き、回送先官署に於て需要者に回送鹽の賣渡を爲す際に、其の賣渡價格の外に回送費用として回送及荷揚倉入實費を買受人より徴收することと爲し、唯賣渡價格と回送費用との合計が市場相場より著しく低價なる爲め、所在地鹽商人の適當なる利益を妨ぐるか、又は高價なる爲め到底賣行の途なきときは、大藏大臣の認可を經て適當なる價格を定むることと爲したり。而して同一回送先官署に於ける鹽も、其の發送元局所に依り其の運賃同一ならずと雖も、斯く運賃を異にする毎に其の回送費用を區分して徴收するは販賣上支障あるのみならず、其の手數も亦煩雜に過ぐるを以て、回送費に於て著しき異同なく、又市場相場にも產地に依り甚しき異同なき限り、回送費用として徴收すべき回送及荷揚倉入實費は之を平均したるものに依ることと爲せり。尋いで明治四十一年七月販賣制度の改正に伴ひ、政府に於て行ふ回送を官費回送に限ることと爲すや、其の回送費及荷揚倉入費は一回送先官署毎に、其の關係發送元官署よりの百斤當回送請負平均額に依りて之を定め、且つ汽車汽船帆船等運送方法に依り回送請負額を異にする場合は、其の低廉なる方法に從ふこととせり。而して右の回送費用は其の一部を政府に於て負擔し、其の殘額を回送鹽賣渡の際買受人より徴收するものとす。但し此の徴收回送費に賣渡定價を加へたるものが、市場相場より低價なるときは之に依るも、高價なるときは民間回送費等を參酌して、更に適當に之を査定することとせり。買受人より徴收すべき回送費は、每年度四月乃至十月及十一月乃至三月の二期に區分して之を決定するも、特殊の事情なき限りは之を變更せざることと爲し、又右回送費用は之を船車渡と倉庫渡（卽ち船車渡に荷揚倉入費を加算せるもの）との二種を區別して徴收するものと爲せしが、前者の期間の區分は明治四十四年度以降之を廢止して倉庫渡のみの計算と爲したり。上述の如く四十一年七月以降政府は回送費の一部を負擔することと爲せしが、元來回送費は其の全額を政府に於て負擔し、以て鹽賣渡價格を全國均一と爲すは專賣實施以來の方針なりしと雖も、當時に在りては財政上之を許さざるのみならず、急激に之を實行するときは從來の鹽商人の販路を阻害すべきを以て、回送費の負擔は寧ろ漸進主義を採用するを適當なりとし、卽ち先づ明治四十一年度に於ては其の政府負擔割合を大體一割と定めたり。爾後年々其の負擔歩合を增加し、翌四十二年度に於ては一割五分、四十三年度には三割、四十四年度には六割と爲し、大正元年度及二年度に至りて七割五分と爲せしが、大正二年十月鹽價低減實施に際し、政府は回送費の全額負擔を決行したり。茲に於て全國各販賣官署に於ける賣渡鹽の價格は始めて均一を見るに至

り、專賣制度實施當初の方針は始めて實現せられたり。今四十一年度以降大正二年に至る期間各地方に於ける徵收回送費の平均額を揭げ、以て年々買受人負擔の回送費輕減の狀況を示すべし。

	船車渡	倉庫渡
明治四十一年度（自七月至九月）	一七一厘	一九四厘
同　（自十月至三月）	一七〇	一九一
同四十二年度（自四月至十月）	一五八	一七三
同　（自十一月至三月）	一五五	一七一
明治四十三年度（自四月至十月）	一三六厘	一四九厘
同　（自十一月至三月）	一三七	一四九
同四十四年度	八二	九三
大正元年及二年度	五八	

以上述べたる如く、政府は請求回送制度に尋いで官費回送鹽に對し其の回送費の一部を負擔することとゝなし、而も漸次其の負擔割合を增加せしが、斯かる政府の諸施設の爲め縣外移出販賣を業と爲せる產地元鹽商人は大打擊を受け、漸次衰滅の外なきに至りしを以て、此等の販賣業者中には或は右の如き政府の回送販賣方針に對して反對運動を試みり。然れども右の如き官費回送の實施及徵收回送費或は之が實行方法の緩和を求め、或は又轉業補償金の下付等救濟方を陳情するもの續出するに至れの漸減の趣旨は、專賣實施當初の方針に基き、非產地に於ける鹽の供給を圓滑にすると共に鹽價の低廉均一を期する目的に出でしものにして、固より鹽販賣業者と競爭して其の營業を妨げんとするものに非す。加之此等鹽販賣業者に對しては販賣制度の改正と共に總て之を鹽賣捌人に指定し、之に依り相當の收益を擧げ得ることゝ爲せしを以て、上述の如き反對及陳情等は一切之を採用せざることとし、既定の方針を實行したり。斯くて徵收回送費の低減に從ひ其の回送數量は逐年增加し、前揭鹽回送受拂表の示すが如く四十一年度に於ては僅に三億斤に過ぎざりしもの、大正二年度に至りて實に七億八千萬斤の多きに達し、元實捌人間の私費回送は殆んど其の跡を絕つに至れり。

尙ほ鹽の回送には汽船・帆船・汽車・汽船經由汽車・帆船經由汽車の五方法あり、今大正十三年度中專賣本局に於て契約したる回送鹽の數量（內地鹽に就きては外に地方專賣局に於て契約するもの左表數量の約一割あり）を右回送方法別に表示すれば左の如し。

	行先別	汽船	帆船	汽車	汽船及汽車	帆船及汽車	合計
		千斤	千斤	千斤	千斤	千斤	千斤
內地	東京	九九、七二〇	—	一四、七二八	—	三、三二〇	一一七、七六八
	濱（橫濱及其の他）	一九、二三八	—	—	—	—	一九、二三八
	常磐	—	—	二六、三二三	—	—	二六、三二三
	兩毛	—	—	二〇、〇八五	二、〇〇〇	二〇、四八〇	四二、五六五
	甲信越	三七、二五四	—	二三、六五九	四、六〇〇	一一、三六〇	七六、八七三
	奧羽　青森	二四、一五一	—	—	—	—	二四、一五一
	奧羽　太平洋方面	一八、三〇二	—	一二、三二三	一一、八五二	—	四二、四七八
	奧羽　日本海方面	二八、四二〇	—	六、七八四	一二、八〇八	—	四八、〇一二
	北海道	八三、五五〇	—	—	—	—	八三、五五〇
	東海	四五、八三一	—	八、四一四	—	三、六二四	五七、八六九
	北陸	二〇、二九九	—	二〇、八七七	—	—	四一、一七六
	大阪及堺	—	五四、三三九	—	—	—	五四、三三九
	山陰	一七、九八〇	四、八五二	二一、三三〇	—	—	四四、一六一

鹽	山陽及四國 九州及沿海島嶼	千斤	二一、八二五	四二、四二六	千斤	一一、一九五	千斤	一八、八一三	四二、四二六	千斤
	計									
	便別百分比			八一、〇四七					一三二、八八〇	
輸移入鹽回送及內地鹽再回送其の他			四一六、五七〇	一八二、六六四		一六五、七一八	三一、二六〇		五七、五九七	八五三、八〇九
總計			四九	二一		一九	四		七	一〇〇
便別百分比										
			二六、三五一	六八、五六四		七七、一三九	一八		六、六八二	一七八、七五四
			四四二、九二一	二五一、二二八		二四二、八五八	三一、二七八		六四、二七八	一、〇三二、五六三
			四三	二四		二四	三		六	一〇〇

（備　考）本表は大正十五年鐵道省運輸局の調査に係る。

而して內地鹽の發送元は固より主として瀨戶內海沿岸の所謂十州地方なるが、之が回送先は汽船便に依るものは、太平洋沿岸に在りては四日市名古屋·清水·橫濱·東京·鹽釜·青森、日本海方面に在りては境·敦賀·伏木·直江津·新潟·酒田·土崎、北海道に在りては函館·小樽·釧路、九州に在りては鹿兒島等の諸港にして、帆船に依るものは、大阪·堺を始め瀨戶內海沿岸の諸港灣門司·長崎及山陰の一部地方なりとす。又汽車便に依るものは水戶·宇都宮·高崎·郡山·甲府·松本·篠ノ井·新潟·直江津·金澤·福井·敦賀·岐阜及熊本等にして、關東甲信及北陸地方行に多く、汽船或は帆船を介して汽車便に依るものは關東地方（東京灣又は大阪經由）、甲信地方（大阪·伊勢灣又は直江津經由）、仙臺（鹽釜經由山形酒田經由）行等に多し。

第二款　鹽の貯藏

我國の製鹽は天候の關係に依り毎年其の產額に異動を生じ、供給の過不足を免れざるの狀態なり。從て常時少くも年消費額の一割乃至二割の貯藏を爲し、且つ豐年に在りては更に其の超過部分を別途貯藏し置き、以て凶年に備ふるの必要あり。是を以て明治四十二年六月左記の如く專賣局議を決定し、差向き主要收納官署に於て貯藏の計畫を立てたり。

『專賣局議決定（明治四十二年六月四日）

鹽作は年に依りて豐凶ありと雖、其の消費額は概して毎年一定せるものと認む。政府專賣を爲す以上は豐年に在りては法律に依り其の製造を制限し、凶年に在りては外鹽を輸入して其の不足を補ふは當然なるが如しと雖、其の實行に在りては此の兩者共に困難の事情ありて容易に決行し難し。專賣施行の初年たる三十八年は稀有の凶作なりしを以て、其の供給の不圓滿竝鹽價の暴騰に付當局者頗る苦心せしも、幸に外鹽の輸入又は前年の豐作、法施行前の見越製造額持越等に依りて漸く此の難局を經過するを得たり。

反之四十一年度は比較的豐作なりしを以て、年度更新の際約一億萬斤の持越品を有したり。其の後百方販賣方に付盡瘁したるも、之と同時に新規收納鹽の堆積を來たし、結局八九千萬斤は停滯するを免れざる實況なり。其の結果一二の支局に在りては目下收納に支障を來さむとするの狀況なり。

抑も政府が專賣法を施行して鹽の供給を一手に獨占し、鹽價の平準を保たしむると同時に、年の豐凶に拘らず圓滿なる供給を爲さむと欲せば、少くとも一箇年消費額の一割位は常時之を保存するの必要ありと認む。故に豐年に在りては其の超過分を別途貯藏して收納に差支なからしめ、凶年に在りては之を以て其の不足を補ふは機宜に適せるの策なるべし。依て此の際左の方

法を執らむとす。

一　貯藏鹽は之を販賣官署に回送せずして收納官署に保存すること。

二　貯藏鹽は一箇年消費額の約一割卽ち一億萬斤位を適當と認むるも、差向き之に應ずべき貯藏倉庫なきと及多額の專賣資金を固定せしむる虞あるを以て、此の際差向き二千三百萬斤とすること。而して其の貯藏官署別數量を左の如く定むること。

撫養專賣支局	八百萬斤
味野專賣支局	三百五十萬斤
坂出專賣支局	八百萬斤
三田尻專賣支局	三百五十萬斤

右は各支局管內全體を通じての數量なるを以て、管內各出張所分は別に調査して適當に區分すること。後段所要坪數亦同じ。

三　包裝したる鹽を貯藏するときは其の包裝汚損するのみならず、品質も亦比較的改善せらるれざるを以て、散鹽の儘貯藏すること。

四　別項の結果收納も亦散鹽に依ること。其の方法としては納付の爲に一定容量の古叺を數回使用せしめ、包裝材料は別途納付せしむること。但し目下撫養、坂出等には多分の停滯鹽あるを以て、此際に限り包裝量目共損減したる旣收納鹽を散鹽として貯藏用に供すること。而して其の數量は調査の上決定すべし。

五　貯藏用に振向くべき鹽は每月管內賣及回送拂出を爲すべき見込殘額を以て之に充つること。

六　貯藏鹽は其の他の收納鹽と區分し每月其の現在高を本局に報告せしむること。而して本局に於て貯藏鹽中より回送を爲さしめむとするときは特に其の旨を通知すること。

七　散鹽貯藏の爲現在倉庫の一部に模樣替を爲し、一坪約八千斤を通常積とすること。然るときは其の所要坪數は左の如し。

撫養專賣支局	一千坪
味野專賣支局	四百坪
坂出專賣支局	一千坪
三田尻專賣支局	四百坪

八　倉庫の模樣替は大約左の通とすること。

（イ）床は現在の通にて可、卽ち約一尺深さに石炭殼を埋め、其の上に一寸位細砂を撒き、筵子を敷くこと。

（ロ）倉庫を間口三間每に區分し、九尺高さ迄橫板を嵌め取り放し自在ならしむること。

（ハ）戶前竝窓は平素密閉し、大氣の流通を止むること。

九　賣渡の際は勿論賣渡當時の等級に依ること（散鹽貯藏なるを以て品質上進することと疑なからむ、從て數量減少するも價格に於て增加する傾向あり）。

十　賣渡の爲包裝する手間賃は勿論官の負擔たること。

十一　大阪には目下約八百萬斤の停滯鹽あり、當分賣行見込なし。又一方より見れば大阪は國の中央に位するを以て、各地に對し運搬の便宜あり。故に前記數量の外特に大阪にも貯藏鹽を置くこととし、現下の停滯鹽を以て之に充て、散鹽とし其の儘保存すること。』

然れども右の如く收納官署所在地のみにては倉庫收容力に限度ありて、完全に備荒貯藏の目的を達する能はざるのみならず、備荒用鹽を單に產地にのみ貯藏するときは、一朝消費地方面に急迫の事情起りたる場合に、船車の不足又は交通上の故障等の爲め、應急の處置を失するの虞なきを保せざる

を以て、同年七月に至り左記の如く全國主要販賣官署に於ても亦之が貯藏を行はしむることゝ爲したり。

『專賣局販賣計理部長通牒丁第四三四三號（明治四十二年七月一日）

曩きに備荒用鹽は收納官署に貯藏することに決定相成居候處、今般主なる販賣官署に於ても亦此の目的を以て散鹽貯藏を爲すこととし、左記各項の通決定相成候間、當該支局に於ては右實行方此の際至急御取運相成度候也。右依命。

一　備荒用鹽として東京、仙臺、青森、函館、土崎、新潟、直江津、境、四日市の各支局所に散鹽貯藏を開始すること（此の他大阪は既決の通り）。

二　右數量は各所共其の署管內に於ける官費回送鹽賣下高の約一割を標準として常時貯藏すること。但し直江津、新潟、土崎に在りては冬期三箇月分の所要數量を見積り貯藏すること。

三　散鹽貯藏數量は一坪毎に一萬斤の割合を以て相當の高さまで積上ぐること。

四　前二項に依りて算出し且相當の査定を加へ、各地に於ける散鹽貯藏用倉庫坪數及貯藏數量を左の如く定むること。

東京	五〇〇坪	五、〇〇〇千斤	新潟	五〇〇坪	五、〇〇〇千斤
仙臺	三〇〇	三、〇〇〇	直江津	六〇〇	六、〇〇〇
青森	一〇〇	一、〇〇〇	四日市（名古屋支局所管）	五〇〇	五、〇〇〇
函館	一〇〇	一、〇〇〇	境	一〇〇	一、〇〇〇
土崎	六五〇	六、五〇〇	計	三、三五〇	三三、五〇〇

五　倉庫は散鹽貯藏に適當なる限度に於て、貸主をして修繕を爲さしめたる上借入ることとし、此の際至急借入方上申のこと。但し現在借入倉庫に修繕を加へ散鹽貯藏用とし、其の代り包裝貯藏用として他に相當坪數を借增するも妨げなし。

（產地に於ける散鹽貯藏倉庫は間口三間毎に仕切り、出入口は約一間とし、横に嵌板を爲し取放し自由ならしめ、周圍壁側には三尺毎に三寸五分丸太柱を掘建て、上部は閉止め繫取りをなし、之に竹簀子を横に打付け、內部に筵を付著す。床は約一尺を掘り石炭殼竝に細砂を埋めて苦汁の浸出に便ならしめ、且其の苦汁は底を通じて外部に設くる溝に自然流出する裝置を爲せり。但し今回借入るべき民庫修繕に付ては必しも右に依るを要せざるも、參考として玆に附記す。）

六　散鹽貯藏に供すべき鹽は發送元に於て新規收納（成るべく倉庫に入れず直に船車積とするを可とす）のものを選擇すべきは勿論、回送先に於ては到著後直に解包して倉庫に貯藏し、其の包裝は丁寧に鹽を掃除し濕潤せるときは之を乾燥したる上適宜の場所（例之ば倉庫天井に竹又は細木を横へて保存する等）に保存し、鼠蟲害又は濕潤、腐蝕等なき樣注意すること。但し繩は原包裝のものを使用すること能はざるべきに依り之を棄却し、販賣の際結束に要するものは前項の如く包裝新しきものを選擇することを目的とするも、收納官署又は販賣官署貯藏の包裝鹽にして、停滯久しきに渉り著しく包裝汚損し、又は量目缺減したるときは、特に散鹽貯藏に供すること。此の場合に於ては他日賣渡の際新規に包裝すること。

七　貯藏に供すべき散鹽は前項の如く包裝新しきものを選擇することを目的とするも、收納官署又は販賣官署貯藏の包裝鹽にして、停滯久しきに渉り著しく包裝汚損し、又は量目缺減したるときは、特に散鹽貯藏に供すること。此の場合に於ては他日賣渡の際新規に包裝すること。

八　貯藏鹽賣渡のときは賣渡當時の品質を鑑定し、之によりて其の等級を定むること。』

尋いで明治四十四年六月に至り更に左記の如き通牒を發し、以後產地に近接せざる各販賣官署及

引渡場所に於ては、悉く常時相當數量の準備鹽を貯藏せしむると共に、他方元賣捌人に對しても相當準備鹽を買置かしむることに努めたり。

『專賣局販賣部長通牒丁第一九八七號（明治四十四年六月二十日）

一兩年來鹽の產額饒多なるに拘はらず、地方に依りては動もすれば時に或は鹽缺乏の聲を聞くは實に遺憾に被存候。之れ各地に販賣官署又は引渡場所を設置せられたる結果、元賣捌人は何時にても其需要數量を買受けらるるものと考へ、成るべく金利及倉敷料等を節約せんが爲、目前應急の分のみ買取り居るが爲ならんとも被察候。故に一旦需要期に際すれば急迫の請求を爲す向不尠と雖、其回送に付ては船車の差繰に相當期間の準備を要するは勿論、當該等級包裝鹽のなきことも有之、且又場合に依りては其發送元の變更を要すること等も有之、旁急速發送し得ざること多々有之、殊に一朝船舶貨車の不足又は交通上故障を生じたる等の場合に於ては、當該地方に對し鹽の供給を絶つことなきを保せず。就ては豫て及通牒置候通元賣捌人をして相當準備鹽を買置かしむべく、之と同時に販賣官署に於ても亦常時相當數量の準備鹽を貯藏し置くの必要可有之と被存候。依て今般別紙之通其貯藏計畫を爲すことに局議決定相成候に付ては、販賣官署に於ては左記の點御注意相成度、尙右の計畫に基き現在倉庫の過不足ある向は、此際必要倉庫の借增又は返還を爲すと同時に、新に散鹽貯藏を要する向は四十二年七月一日付丁第四三四三號通牒の方法に準據して之に必要なる模樣替を爲し、其收容力準備成立の上は等級包裝回送所要數量取調申報可相成。右依命。

一　貯藏計畫は散鹽に付ては賣下高の約一箇月分（現在散鹽貯藏、包裝鹽に付ては賣下高の約二箇月分を貯藏するを標準とし、尙地方の狀況に依り査定を加へたるものにして、包裝鹽中約一箇月分は供給不足の場合に於ける準備用として常時貯藏し、他の一箇月分は毎月の請求に依り賣渡すべき分に充つ。而して散鹽は固より備荒用なれども、貯藏後六箇月目位には之を拂出し、且つ成るべく同時に補充し得る樣豫め相當時期に回送を請求すべし。

包裝鹽も、永く保存するときは包裝汚損するを以て、毎月賣下高の約半數は此の準備用鹽を拂出し、同時に新規回送鹽を以て其拂出額を補充し、新陳代謝して一箇月分は常時保存し得る樣取計はれ度、從て毎月賣渡用として回送請求すべき額は常に右準備用以外の鹽にして、其到著毎に船車渡又は倉庫渡として賣下ぐべきものなれども、其賣下高の約半分は前記の如く準備用鹽に繰入るること。

右は平常の場合に於ける賣下方なるも、地方の狀況に依り期節に應じ、特に需用高增進する場合に於ては之を豫見し、一方賣捌人の持荷をも勘案し、豫め相當數量の回送を請求すべく之に反して收納の最盛期又は回送貯藏上の都合に依りては、販賣官署に於ける前記受拂の標準數量を超過して本局より回送命令を發することあるは、固より已むを得ざる義と承知せらるべきこと。

二　引渡場所に在りては概して官庫の設備あらざるを以て、其地方の元賣捌人をして特に相當準備を爲さしむるの要あり。故に彼等をして少くとも一箇月位を支へ得べき鹽の準備貯藏を爲さしむべく、從て時々回送引渡を請求する鹽は遞次に約一箇月以後位に必要とす

るものに付豫め請求せしめ、而かも其の到著次第必ず之を引取らしむる樣注意し置くこと。

各販賣官署竝引渡場所に於ける回送鹽準備貯藏計畫數量

販賣官署引渡場所	包裝鹽	散鹽	計	備考
東京	一〇、〇〇〇千斤	五、〇〇〇千斤	一五、〇〇〇千斤	
浦賀	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇	
平				
仙臺（鹽釜）	一、〇〇〇（一、〇〇〇）	一、三五〇（一、三五〇）	二、三五〇（二、三五〇）	
郡山	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
青森	三、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	
函館	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一一、〇〇〇	
小樽	五、〇〇〇	—	五、〇〇〇	
土崎	四、〇〇〇	六、三五〇	一〇、三五〇	
酒田	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇	
直江津	三、〇〇〇	六、〇〇〇	九、〇〇〇	
新潟	四、〇〇〇	五、〇〇〇	九、〇〇〇	
松本	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
名古屋	三、〇〇〇	—	三、〇〇〇	
四日市	—	五、〇〇〇	五、〇〇〇	

販賣官署引渡場所	包裝鹽	散鹽	計	備考
江尻	二、〇〇〇千斤	—	二、〇〇〇千斤	
伏木	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
敦賀	一、五〇〇	—	一、五〇〇	
米子	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
境	五〇〇	—	五〇〇	
濱田	五〇〇	—	五〇〇	
高知	一、〇〇〇	五〇〇	一、五〇〇	
熊本	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
長崎	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
湊	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
細島	五〇〇	—	五〇〇	
鹿兒島	一、〇〇〇	五〇〇	一、五〇〇	
宮崎	五〇〇	—	五〇〇	
阿久根	三〇〇	—	三〇〇	
計	六八、八〇〇	四〇、五〇〇	一〇九、三〇〇	

販賣官署引渡場所	備考
東京	二百萬斤に減額
仙臺（鹽釜）	散鹽五百萬に減額斤
伏木	百萬斤に減額
敦賀	散鹽見合
長崎	散鹽見合
鹿兒島	散鹽見合

前揭貯藏計畫數量は其の後大正五年五月二十九日に至り、專賣局事業部長通牒甲第一三一一號を以て左の如く改正せられたり。

回送先	包裝鹽	散鹽	計
淺草	一〇、〇〇〇千斤	五、〇〇〇千斤	一五、〇〇〇千斤
浦賀	七〇〇	—	七〇〇
平	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇
府中	八〇〇	—	八〇〇
山崎	三、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
土崎	一、五〇〇	二、五〇〇	四、〇〇〇
酒田	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇
臺	八〇〇	一、一〇〇	二、〇〇〇
釜	三〇〇	一、〇〇〇	二、三〇〇
古	三〇〇	—	三〇〇
森	一、五〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇
館	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇
樽	三、〇〇〇	—	三、〇〇〇
津	一、五〇〇	二、五〇〇	四、〇〇〇
潟	二、五〇〇	五、〇〇〇	七、五〇〇
本	一、五〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇
屋	一、五〇〇	—	一、五〇〇
野	一〇〇	—	一〇〇
本	一、五〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇
湊	三〇〇	—	三〇〇
阜	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇
市	八〇〇	二、〇〇〇	二、八〇〇

回送先	包裝鹽	散鹽	計
高山	一五、〇〇〇千斤	四〇〇千斤	一五、四〇〇千斤
江尻	七〇〇	一、五〇〇	二、二〇〇
金澤	一、〇〇〇	七〇〇	一、七〇〇
伏木	八〇〇	一、一〇〇	一、九〇〇
敦賀	三、〇〇〇	五〇〇	三、五〇〇
福井	四、〇〇〇	七〇〇	四、七〇〇
大阪	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇
堺	二、〇〇〇	五〇〇	二、五〇〇
米子	二、二〇〇	一、一〇〇	三、三〇〇
境	三〇〇	—	三〇〇
濱田	二、五〇〇	四〇〇	二、九〇〇
萩	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇
三津濱	三、〇〇〇	—	三、〇〇〇
高知	四、〇〇〇	一、一〇〇	五、一〇〇
門司	七、五〇〇	一、一〇〇	八、六〇〇
大分	三〇〇	—	三〇〇
長崎	二、三〇〇	—	二、三〇〇
熊本	一〇〇	一、〇〇〇	一、一〇〇
鳥原	一、五〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇
鹿兒島	一、一〇〇	—	一、一〇〇
阿久根	五〇〇	—	五〇〇

宮崎	四〇〇千斤	—千斤	四〇〇千斤
細島	三〇〇	—	三〇〇
那覇	四〇〇	—	四〇〇
計	六三、六〇〇	二七、七〇〇	九一、三〇〇

斯くして收納販賣兩官署を通じて平常約二億斤内外の貯藏を爲し來りしも、大正七年の大凶作以來更に大いに準備鹽を増擴するの必要を認め、常時五億斤の貯藏鹽を準備するの方針を採り、其の官庫に收容し得ざる分は民間倉庫に保管寄託を爲すこととせり。今各年度末現在の官庫借庫貯藏鹽及民間保管寄託鹽の數量を表示すれば左の如し。

年度	種別	貯藏倉庫 官庫 總坪數	貯藏倉庫 官庫 貯藏數量	貯藏倉庫 借庫 總坪數	貯藏倉庫 借庫 貯藏數量	保管寄託數量
明治四三	包裝鹽	二七、八二七坪	五一、五一五、四七五斤	一四、八三六坪	六三、八八二、三七七斤	九、一六九、七八〇斤
	散鹽	三、九五四	二九、四〇七、六二一	三、六六五	三六、四五〇、三二四	—
	其他	二七三	—	五六	—	—
四四	包裝鹽	二七、七三八	二〇、六〇六、七三一	一四、四一六	五四、六一六、四一六	九、〇三八、九二八
	散鹽	二、九二〇	七、四七六、〇五二	三、五二七	一八、三七七、四二九	—
	其他	一九一	一三、八五九	六六	一八、一六五	—
大正元	包裝鹽	二六、五八〇	二五、一九二、六九七	一五、七五五	六三、六二四、六七八	一八、九四五、七三〇
	散鹽	三、〇八一	二、九〇五、二三九	二、六四八	一一、九五三、〇三三	—
	其他	一六一	四、一三九	一六	二、一一四	—
二	包裝鹽	二六、〇一七	二〇、九四三、四六六	一三、三三六	四四、〇〇五、六八八	八、三五九、八四〇
	散鹽	三、六八八	一四、五一三、八五五	二、三六八	一一、一五三、九四〇	—
	其他	五七	四	一六	七八六	
三	包裝鹽	二五、九四二	二七、五六五、九九二	一〇、八九七	三〇、五六八、四一九	[illegible]四九七、[illegible]
	散鹽	三、六〇八	七、五八六、二五九	一、五七〇	九、七三三、〇六〇	三四四
	其他	五七	四	—	—	—
四	包裝鹽	二四、六一三	二四、五八四、六八六	八、四〇〇	二〇、九五六、八八九	一八、六五三、三六〇
	散鹽	三、六九五	二、六八七、六六五	一、五八〇	一一、四二八、〇五〇	—
	其他	九三	—	—	—	—
五	包裝鹽	二三、八四九	一八、八八八、四七〇	八、一三三	二八、五一八、〇七三	一〇、六四九、六四〇
	散鹽	四、〇三六	三、四九七、四八一	七〇八	二、二六七、四四五	—
六	包裝鹽	二四、七八二	一九、五六九、七〇七	五、九九七	二一、七八九、八二九	二、八〇四、五六〇
	散鹽	四、一七一	六、四九〇、三七一	四、五二四	二七、〇七七、〇一六	八、九五三、〇六八
七	包裝鹽	二六、八三〇	一〇、四八七、一〇一	三、六六三	三、四四三、一八〇	四一八、七六〇
	散鹽	五、五一八	一三、二九六、二八五	四、〇七三	二〇、六五八、六七四	六、一七三、六六〇
	其他	二三八	—	—	—	—
八	包裝鹽	三一、八七一	六九、〇八三、五六八	六、五八〇	二三、八四一、一一〇	三三、八一七、七六〇
	散鹽	八、九五六	三五、四六八、六八一	四、三〇一	三五、三九七、三八三	七、七七〇、九五三
	其他	—	二、九六五、六七〇	—	—	—
九	包裝鹽	三五、一一二	一三五、七八八、五五一	一五、九七五	一〇三、二四四、二一〇	一三九、五四七、六四三
	散鹽	九、八五三	五四、二六九、一三三	六、七一一	五七、四六四、五六八	九、四五五、九九三
	其他	三七	—	—	—	—
一〇	包裝鹽	三五、二八九	一一九、八八四、九九九	二三、四五八	九三、九六六、五四九	八九、八四六、六〇〇
	散鹽	一一、三三一	六七、六四九、七三三	四、八八九	五〇、三六〇、五〇七	五、六三九、三七〇
一一	包裝鹽	三八、六四〇	一六一、一八〇、〇七一	二一、八三五	一四四、九九五、一一六	一〇六、五九六、七一四
	散鹽	八、四九五	五七、八九〇、四三六	六、三四一	五四、九三〇、五一五	五、〇八八、六七〇

大正一二	食卓鹽	一斤	一二八斤	一斤	一斤	一斤
	其他	一〇三	一、五三六	—	—	—
	包裝鹽	三七、一三六	一一〇、三八四、八二三	一六、三四三	八八、〇一七、四六六	七四、七九一、五〇〇
	散鹽	八、四〇〇	三六、七九四、五二六	四、九六四	三一、〇〇五、九五〇	二、六九六、五二二
	食卓鹽	三	二、三五六	—	—	—
	其他	四七	三、二七〇	—	—	—
一三	包裝鹽	三九、一九〇	二〇七、六一六、四一三	一四、三六四	九六、六二六、八六六	一五六、四九七、四三〇
	散鹽	八、二四三	五〇、二〇八、七七八	六、二二七	五六、〇九二、九七九	二七、〇六七、八二〇
	食卓鹽	一四	三、二六四	—	—	—
	其他	四三	三、一六八	—	—	—
一四	包裝鹽	四〇、二〇一	二二一、一七〇、二六八	二二、二九五	一四七、〇三一、〇五六	二三七、〇三五、八〇〇
	散鹽	六、七八二	三九、五一五、四一五	二、九七二	二一、三六五、八二三	二、〇一二、〇五〇
	食卓鹽	八	七、二三〇	—	—	—
	其他	九七八	—	七二	—	—
昭和元	包裝鹽	四三、九七四	一二九、三六〇、六七〇	二八、七三九	一九一、二五八、七五四	二七一、七九七、〇〇〇
	散鹽	七、九七五	三五、九〇八、〇五一	三、二四〇	二五、五九四、〇九〇	一一、一五九、〇〇〇
	食卓鹽	二九	一三、四三八	三	三、九六四	—
	其他	一、一三二	—	六七	—	二、〇〇〇

（備考）大正十一年度貯藏額中には箇所に依り不明なるものあり、此等は前年度分を加算することとせり。

第十節　鹽の販賣

第一款　販賣の方法及手續

鹽專賣は戰時匆卒の間に於て計畫せられ、急迫せる軍費の需要を充すを目的とせしものなるが故に、之が實施に當りては成るべく經費と手數とを省略せんことを圖りしを以て、鹽の販賣に關しても極めて簡易なる方法を採用することと爲し、卽ち其の賣渡の爲に特別の機關を設くることなく、專ら收納官署に於てのみ之を行ひ、且つ鹽賣捌人の指定等をも行ふことなくして、一定數量以上の買受請求あるときは何人にも之を賣渡すこととし、其の他に何等の制限をも設けざるの方針を採りたり。斯くて此の方針に從ひ鹽專賣法に於ては政府は定價を以て鹽の賣渡を爲し（第十八條）、且つ其の賣渡は命令を以て定めたる數量以上に非ざれば之を爲さざるものと規定し（第二十條）、更に其の施行細則に於て左の如く鹽賣渡に關する手續を定めたり。

鹽專賣法施行細則（明治三十八年四月一日大藏省令第二十二號）（抄錄）

第二十七條　鹽ノ賣渡ハ第十三條第二項ノ場合ヲ除クノ外一回五千斤以上トス但シ外國鹽ニ付テハ二萬斤以上トス

鹽務局ハ其ノ都合ニ依リ前項ノ制限ニ據ラサルコトヲ得

第二十八條　鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量及等級ヲ記シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第二十九條　前條ノ請求アリタルトキハ鹽務局ハ鹽ノ賣渡請求者ニ代金納入告知書ヲ交付スヘシ

鹽務局所在地外ニ於テ鹽ノ賣渡ヲ爲ストキハ鹽務官吏ハ口頭ヲ以テ前項ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第三十條　鹽ノ賣渡請求者ハ前條ノ告知ニ依リ直ニ代金ヲ納付シ現品ヲ引取ルヘシ若シ賣渡契約ノ日ヨリ五日以內ニ現品ヲ引取ラサルトキハ相當保管料ヲ徵ス但シ鹽務局長ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

鹽務局倉庫所在地外ニ於テ鹽ヲ賣渡シタルトキハ買受人ハ二日以內ニ現品ヲ引取ルコトヲ要ス

第三十一條　鹽ノ賣渡請求者ハ鹽代金ニ相當スル擔保物ヲ提供シ三箇月以內其ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

常時鹽ノ賣渡ヲ請求スル者ハ豫メ擔保ヲ提供シ其ノ擔保物ノ價額ニ達スルマテ代金ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條　臺灣鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量、等級ヲ記シタル賣渡請求書ヲ神戶鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ前三條ノ規定ヲ準用ス

第三十三條　外國鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ產地、數量及種類ヲ記シタル賣渡請求書ヲ橫濱又ハ神戶鹽務局ニ提出スヘシ

第三十四條　前條ノ請求アリタルトキハ鹽務局ハ鹽ノ價額ヲ豫定シ之ヲ賣渡請求者ニ通知シ相當ノ擔保ヲ提供セシメタル後請求ニ係ル外國鹽輸入ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十五條　外國鹽到著シタルトキハ鹽務局ハ引渡スヘキ日時及場所ヲ定メテ之ヲ賣渡請求者ニ通知スルト同時ニ代金納入告知書ヲ交付シ代金ヲ納付シテ鹽ノ引取ヲ爲サシムヘシ若シ指定シタル日ヨリ五日以內ニ現品ヲ引取ラサルトキハ相當保管料ヲ徵ス但シ鹽務局長ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條ノ規定ハ之ヲ前項ノ場合ニ準用ス

第三十六條　本令ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ金錢又ハ鹽務局長ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル

擔保ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第三十八條　鹽賣買業者ハ少クトモ毎日左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一　買入レタル鹽ノ數量、價額、買入月日及買入先

二　賣渡シタル鹽ノ數量、價額、賣渡月日及賣渡先

小賣ノ場合ニ於テハ前項第二號賣渡先ノ記載ヲ要セス

然るに右施行細則に於ては鹽買受人をして現金を以て卽納せしむるを原則とし、特に從來の慣習と鹽商人の實情に鑑み、金錢又は鹽務局長の確實と認めたる有價證券を擔保として代金の延納を許すことと爲せしが、從來の鹽販賣業者中には、鹽又は不動產は之を所有する者あるも、有價證券の所有者は少く、爲に擔保品に窮するの實狀にして、鹽の買受充分ならず、延いては其の供給の潤澤を圖る能はざるの虞なしとせざりき。仍て政府は、之が對策として差當り土地を擔保に提供するを得ることと爲し、三十八年六月左の如く施行細則に改正を加へたり。

大藏省令第三十六號（明治三十八年六月一日）

明治三十八年大藏省令第二十二號鹽專賣法施行細則第三十六條第一項中金錢ノ下ニ「土地」ヲ加

（第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ擔保物中金錢及有價證券ハ提供者之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ鹽務局ニ提出シ土地ニ關シテハ鹽務局ニ於テ抵當權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ

更に又前掲施行細則第二十七條に依れば、內地鹽の一回賣渡高は五千斤以上たるべき規定なるも之が爲め動もすれば一手買占の傾向を生せんとするに至りしを以て、翌三十九年三月右制限量を低減して一回四百斤以上と改め、同年四月一日より之を實施したり（大藏省令第九號）。

以上述べたる所の如く、專賣施行の當初に於ては政府は鹽の卸賣又は小賣の爲に特別なる機關を設置することなく、生產地に於ける收納官署に於てのみ賣渡を爲せしものにして、各地方に鹽を運搬し之を需要者に供給するは全く鹽商人の自由に委し、且つ其の營業に關しても何等免許等を必要とせず、其の卸賣及小賣價格等にも制限を加ふることなく、全く鹽商人間の自由競爭に依りて自ら供給の圓滿及鹽價の平準を期せしものなり。然れども此の方法たるや政府の期待に副ふものに非ざること忽ちにして明かとなれり。蓋し產鹽不足等の場合には商人をして買占賣惜を爲さしめ、仍て以て暴利を貪らしむる虞なきを保せず、現に專賣施行の初年たる明治三十八年に於ては偶〻製鹽稀有の凶作なりしを以て、鹽價俄に暴騰し、爲めに全國各地に於て專賣法の不備を訴ふる者續出するに至れり。是を以て政府は明治三十九年三月鹽專賣法を改正して、鹽販賣業者の販賣價格を命令を以て制限し得ることと爲すと同時に（法律第十五號）、他方鹽の產出少き地方に對し鹽の供給を潤澤ならしめ、且つ成るべく商人の仲介を俟たずして直接需要者に鹽を供給し、以て鹽價の不當なる騰貴を抑止せんが爲め、同年九月鹽の請求回送の制度を設けたり（第九節第一款參照）。

然れども右の如き施設にも拘らず、鹽價は一般に政府の豫期する所よりも尙ほ高きを免れざりしが爲め、鹽專賣に對する批難の聲止まず、明治四十年第二十三回帝國議會に於て、衆議院は鹽專賣法廢止の建議案を通過せしむるに至れり。政府亦愼重に之を調査するの必要を認め、戰時制定に係る非常特別稅の整理に關する調査を爲さしむる爲め、明治三十九年四月設置せられたる稅法整理案審査會に、鹽專賣に關する件をも附議して同會に引續き同四十年三月設置せられたる稅法審査委員會、竝其の改廢を研究せしめたり。而して審査會は審議の結果鹽專賣制度は之を存續すべきも、此の際鹽價の低廉を圖り供給の圓滿を期するの要ありとし、之が實現の手段として販賣の方法に關し左の如き方策を採るべしと決議したり（第四節第一款參照）。

（一）政府は全國樞要の地に鹽販賣官署を設置し、之に對し政府自ら鹽を回送して供給の潤澤を圖ると同時に、其の運送費の一部を負擔すること。

（二）從來の自由販賣制度を廢止し、政府の指定したる元賣捌人及小賣人に限り鹽の販賣を取扱はしめ、且つ政府の定めたる制限價格以內に於て販賣せしむること。若し之を犯すときは法律に依り制裁を加ふるのみならず、賣捌人の指定を取消し爾來鹽の販賣を差止むること。

賣捌人の指定に關しては固より法律の改正を俟たざるべからざるを以て姑く之を措くも、其の他の施設は直に實行し得べきを以て、差當り非產地地方に對する鹽の供給を潤澤ならしむる爲め、政府は明治四十年七月及同年八月大藏省告示を以て、全國樞要の地に官費回送鹽販賣倉庫（同年十月販賣所と改稱）を設置し、政府の費用を以て之に鹽を回送し置き、必要に應じて隨時之を賣渡し、以て鹽價の騰貴を牽制するに努めたり。尋いで第二十四回帝國議會の開會せらるるに及び、前記元賣捌人及小賣

人制度を採用するの趣旨に依り、鹽專賣法中改正法律案を提出し、兩院の協贊を經て明治四十一年四月法律第五十九號を以て左の如く之を公布し、同年七月一日より之を施行したり。

法律第五十九號（明治四十一年四月二十八日）

鹽專賣法中左ノ通改正ス

第十七條ノ二　鹽ハ政府又ハ政府ノ指定シタル鹽元賣捌人若ハ鹽小賣人ニ非サレハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

鹽賣捌人及鹽ノ販賣ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條　左ニ揭クル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特ニ定メタル價格ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

一　外國ニ輸出シ又ハ本法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲賣渡ヲ請求スル者アリタルトキ

二　命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スル爲賣渡ヲ請求スル者アリタルトキ

三　前各號ノ外特ニ命令ヲ以テ定メタル場合ニ該當スルトキ

前條又ハ前項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ニシテ外國ニ輸出シ、本法ヲ施行セサル地ニ移出シ又ハ命令ノ定ムル用途ニ使用セラレタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ交付金ヲ下付ス

第二十條ヲ削ル

「第二十條ノ二」ヲ「第二十條」ニ改ム

第三十條ノ三　鹽賣捌人ニ非スシテ鹽ヲ販賣シ又ハ販賣ノ準備ヲ爲シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收ス

第十條中「賣買業」ヲ「賣捌業」ニ、第二十條、第二十一條、第二十二條、第三十條ノ二、第三十一條、第三十二條、第三十六條、第三十七條及第三十九條中「鹽賣買業者」ヲ「鹽賣捌人」ニ改ム

附　則

本法ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十七條ノ二第二項ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鹽賣買業者ハ明治四十一年六月三十日ニ於テ現ニ其ノ所持ニ係ル鹽ノ種類、等級、數量ヲ明治四十一年七月十日迄ニ政府ニ申告スヘシ

鹽賣捌人ノ指定ヲ受ケサル者本法施行前ヨリ所持スル鹽ハ本法施行後一年ヲ限リ之ヲ販賣スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ販賣者ハ其ノ販賣ニ關スル帳簿ヲ調製シ明治四十一年七月以後毎月末日ニ於ケル鹽ノ種類、等級、數量及其ノ月ノ受拂高ヲ翌月五日迄ニ政府ニ申告スヘシ

前二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

而して右の改正に伴ひ、同年四月新に大藏省令第二十號を以て鹽賣捌規則を制定公布して、販賣に關する諸事項を詳細規定すると共に、鹽專賣法施行細則中販賣に關する諸規定（第二十七條乃至第三十六條及第三十八條）を削除し（大藏省令第二十一號）、且つ同年五月大藏省告示を以て鹽販賣官署の販賣區域表を定め、何れも同年七月一日より之を施行したり。今右鹽賣捌規則の全文を揭ぐれば左の如し。

鹽賣捌規則（明治四十一年四月二十九日大藏省令第二十號）

第一條　鹽元賣捌人ハ政府ヨリ鹽ヲ買受ケ之ヲ鹽小賣人ニ賣渡スモノトス

鹽小賣人ハ鹽元賣捌人ヨリ鹽ヲ買受ケ之ヲ消費者ニ賣渡スモノトス

鹽元賣捌人ハ他ノ鹽元賣捌人ト鹽ヲ賣買スルコトヲ得

鹽賣捌人ハ特ニ政府ノ認許シタル場合ニ限リ鹽賣捌人ニ非サル者ヨリ鹽ヲ買受クルコトヲ得

第二條　鹽元賣捌人及鹽小賣人ハ專賣局長官之ヲ指定ス

外國ヨリ輸入シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ヨリ移入スル鹽ニ付テハ專賣局長官ハ特ニ其ノ賣捌人ヲ指定スルコトヲ得

第三條　本令發布ノ日迄六箇月以上引續キ鹽ノ卸賣又ハ仲買ヲ業トシ明治四十年分ノ第一種又ハ第三種ノ所得稅ヲ納ムル者ハ其ノ申請ニ依リ本令施行ノ際ニ限リ鹽元賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得

本令發布ノ際鹽ノ販賣ヲ業トセル者ハ其ノ申請ニ依リ本令施行ノ際ニ限リ鹽小賣人ニ指定セラルルコトヲ得

第四條　前條ノ規定ニ依リ鹽元賣捌人タラムトスル者ハ明治四十一年五月二十日迄ニ第一號書式ニ依リ鹽小賣人タラムトスル者ハ同年五月三十日迄ニ第二號書式ニ依リ其ノ申請ヲ爲スヘシ

第五條　專賣局長官ハ地方ノ狀況ニ應シ必要ト認ムルトキハ第三條ニ揭クル以外ノ者ニ對シ其ノ申請ニ依リ隨時鹽賣捌人ヲ指定スルコトアルヘシ

前項ニ依リ鹽賣捌人タラムトスル者ハ第二號書式ニ依リ其ノ申請ヲ爲スヘシ

第六條　左ニ揭クル者ハ鹽元賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得ス

一　專賣法規若ハ租稅法規ニ違反シ罰金以上ノ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

二　身代限處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ終ヘサル者又ハ家資分散若ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ確定スルニ至ル迄ノ者

三　國稅滯納處分ヲ受ケ又ハ之ニ準シタル處分ヲ受ケ一箇年ヲ經サル者

四　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

前項第一號ニ該當スル者ハ鹽小賣人ニ指定セラルルコトヲ得ス

法人ノ場合ニ於テハ第一項各號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第七條　鹽元賣捌人ト鹽小賣人トハ互ニ相兼ヌルコトヲ得ス又其ノ營業所ヲ同シクスルコトヲ得ス

第八條　鹽元賣捌人ノ營業所ハ一人一箇所トス但シ本令發布ノ日六箇月以前ヨリ引續キ二箇以上ノ營業所ヲ有スル鹽元賣捌人ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　鹽元賣捌人ハ專賣局長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ營業所ヲ變更スルコトヲ得ス

鹽小賣人其ノ營業所ヲ變更シタルトキハ十日以內ニ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ

第十條　鹽ノ收納地、輸入地又ハ移入地以外ニ鹽ヲ回送シテ之ヲ賣渡ストキハ回送ニ關スル費用ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十一條　大藏大臣ハ鹽賣捌人ノ販賣スル鹽ノ價格不當ナリト認メタルトキハ其ノ價格ヲ制限ス

前項ニ依リ鹽ノ價格ヲ制限シタルトキハ大藏大臣ハ之ヲ公示ス

第十二條　鹽元賣捌人ハ第三號書式ニ依リ毎月末日迄ニ翌々月分ノ鹽買受額見込書ヲ鹽販賣官署ニ提出スヘシ

第十三條　鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ產地、等級、包裝ノ種類及數量ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽販賣官署ニ提出スヘシ

第十四條　鹽ヲ買受クル者ハ其ノ代金及回送費納付ノ擔保トシテ國債證券、地方債證券若ハ專賣局長官ノ指定シタル株式會社ノ株券又ハ債券ヲ提供シテ三箇月以內代金及回送費ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

常時鹽ノ買受ヲ爲ス者代金及回送費納付ノ擔保トシテ前項ノ擔保物件ヲ豫メ提供シ置クトキハ其ノ價額ニ達スル迄代金及回送費ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

前二項ニ依リ延納ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ其ノ一回ノ買受代金及回送費百圓以上タルコトヲ要ス但シ鹽專賣法第十四條第二項ニ依ル指定引渡ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第一項及第二項ノ有價證券ノ價格ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外市場ニ於ケル前月中ノ平均價格ヨリ其ノ十分ノ二ヲ控除シテ計算ス

代金及回送費納付ノ擔保トシテ提供スヘキ有價證券ハ提供者之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スヘシ

第十五條　第十三條ノ請求アリタルトキハ鹽販賣官署ハ鹽ノ賣渡請求者ニ對シ代金及回送費卽納ノ場合ニ於テハ納入告知書ヲ第十四條第一項ニ依ル代金及回送費延納ノ場合ニ於テハ擔保提供通知書ヲ同條第二項ニ依ル代金及回送費延納ノ場合ニ於テハ擔保充當通知書ヲ交付スヘシ

鹽販賣官署所在地外ニ於テ鹽ノ賣渡ヲ爲ストキハ專賣官吏ハ口頭ヲ以テ前項ノ告知又ハ通知ヲ爲スコトヲ得

第十六條　鹽ノ賣渡請求者前條ノ告知又ハ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ代金及回送費ヲ納付シ又ハ擔保物ヲ提供シ現品ヲ引取ルヘシ若シ五日以內ニ之ヲ引取ラサルトキハ相當保管料ヲ徵ス但シ鹽販賣官署ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

鹽販賣官署所在地外ニ於テ鹽ヲ賣渡シタルトキハ買受人ハ直ニ現品ヲ引取ルヘシ

第十七條　鹽元賣捌人ハ第四號及第五號書式ノ帳簿ヲ調製シ翌月五日迄ニ第六號書式ノ鹽受拂月計表ヲ鹽販賣官署ニ提出スヘシ

鹽小賣人ハ帳簿ヲ調製シ鹽ヲ買受ケタルトキハ其ノ買受先、買受年月日竝其ノ等級、包裝ノ種類、數量及代金ヲ記載スヘシ

第十八條　鹽賣捌人ハ營業所ノ見易キ場所ニ其ノ販賣スル鹽ノ價格表ヲ揭クヘシ

第十九條　本令ニ依リ指定セラレタル鹽賣捌人ハ二箇年以內ニ於テ專賣局長官ノ指定シタル期間其ノ營業ヲ爲スコトヲ得

鹽賣捌人死亡ノ場合ニ於テハ其ノ家督相續人ハ專賣局長官ニ申告シテ殘期間其ノ營業ヲ承

繼スルコトヲ得但シ第六條ニ依リ鹽賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　鹽賣捌人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ廢業ノ日ヨリ三十日以前ニ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ

第二十一條　左ノ場合ニ於テ專賣局長官ハ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得但シ第四號ノ規定ハ鹽小賣人ニハ之ヲ適用セス

一　制限價格ヲ超エテ鹽ヲ販賣シタルトキ

二　本規則ニ違反シ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ尙之ニ從ハサルトキ

三　鹽元賣捌人ニ在リテハ第六條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ鹽小賣人ニ在リテハ第六條第一項第一號ニ該當スルニ至リタルトキ

四　鹽販賣官署ヨリノ鹽買受代金一箇年千圓未滿ナルトキ

法人カ鹽賣捌人ニ指定セラレタル場合ニ於テ前項第二號及第三號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第二十二條　鹽賣捌人引續キ指定セラレタルトキハ現存スル鹽ハ當然之ヲ引繼クモノトス

鹽賣捌人死亡シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ又ハ其ノ指定ヲ取消サレ若ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル鹽ハ事實ノ發生後三十日以內ニ鹽賣捌人ニ讓渡スコトヲ得

第二十三條　鹽賣捌人ノ指定申請又ハ其ノ廢止、變更ニ關スル書類ハ其ノ地所轄ノ專賣局收納所又ハ其ノ出張所ニ提出スヘシ

鹽賣捌人ノ鹽買受ニ關スル書類ハ別ニ定ムル區域ニ依リ關係ノ鹽販賣官署ニ提出スヘシ但シ鹽賣捌人ノ營業所所轄收納所ニ於テ收納シタル鹽ノ買受ニ關シテハ其ノ書類ヲ當該收納所又ハ其ノ出張所若ハ藏置所ニ提出スヘシ

鹽賣捌人ニ非サル者ノ鹽買受ニ關シテハ其ノ書類ヲ何レノ鹽販賣官署ニ提出スルモ妨ケナシ

臺灣鹽ノ買受ニ關スル書類ハ大阪收納所神戸出張所ニ外國鹽ノ買受ニ關スル書類ハ東京收納所橫濱出張所又ハ大阪收納所神戸出張所ニ提出スヘシ

附　則

本令ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令中鹽賣捌人ノ指定及其ノ申請ニ關スル規定ハ本令發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（書式省略）

斯くの如くにして鹽の販賣に關する制度は玆に漸く確立せられ、爾後其の大綱に關しては何等の改正もなくして大正末年に至れり。但し販賣に關する諸手續を規定したる鹽賣捌規則に就ては其の後實際上の必要に應じて屢〻其の一部に改正を加へられたり。以下順次之を說述すべし。

鹽の賣捌に就ては鹽賣捌規則第七條に依りて元賣捌人と小賣人との兼業を禁止せられしが、醬油・味噌・漬物業者等多量の鹽需要者に對しては、從來の通り直接卸賣商（卽ち元賣捌人）より賣渡すことを得しむるの便法を認むることゝ爲し、其の制限數量を一回千斤と定め、明治四十一年八月二十五日右規則第一條第三項を左の如く改め、卽日之を施行したり。

大藏省令第三十八號（明治四十一年八月二十五日）

第一條第三項ヲ左ノ如ク改ム

鹽元賣捌人ハ他ノ元賣捌人ト鹽ヲ賣買シ又ハ一回千斤以上ニ限リ直接消費者ニ鹽ヲ賣渡スコトヲ得

明治四十二年四月煙草賣捌規則の改正行はれしが、鹽賣捌規則は右に對して權衡を得ざる點少からざるのみならず、臺灣鹽賣渡上に於ても改正を要するものありしを以て、明治四十三年三月左の如く此等關係條項に改正を加へ、同月二十五日より之を施行したり。

大藏省令第九號（明治四十三年三月十九日）

第八條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ專賣局長官ハ必要ト認ムル場合ニ於テ二箇所以上ノ營業所ノ設置ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二條　削除

第十四條中「指定引渡ノ場合」ノ下ニ「及鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡ノ場合」ヲ加フ

第十六條ノ二　鹽ヲ買受クル者其ノ代金及回送費納付期日迄ニ之ヲ納付セサルトキハ年五分ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徵スルコトアルヘシ

第二十條中「申告スヘシ」ノ下ニ「二箇所以上ノ營業所ヲ有スル鹽賣捌人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ」ヲ加ヘ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ期間ヲ經過セスシテ其ノ營業又ハ營業所ヲ廢止セムトスルトキハ專賣局長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條中「其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ」ノ下ニ「指定期間滿了シ引續キ指定セラレサルトキ」ヲ加フ

第二十三條中「專賣局收納所」ヲ「專賣支局」ニ「所轄收納所」ヲ「所轄專賣支局又ハ其ノ出張所」ニ「當該收納所又ハ其ノ出張所若ハ藏置所」ヲ「當該專賣支局又ハ其ノ出張所」ニ改メ第四項ヲ左ノ如ク改ム」

外國鹽又ハ臺灣鹽ノ買受ニ關スル書類ハ專賣局長官ノ指定シタル專賣支局又ハ其ノ出張所ニ提出スヘシ

（書式改正省略）

露領沿海州・樺太其の他の方面に於ける遠洋漁業用に供する內地鹽に就ては、將來其の價格を低減して通過貿易鹽に對抗し、以て此の方面に於ける需要を促すの必要あり、仍て此等漁業用に供する輸移出鹽に對しては、賣渡の際徵收し又は徵收すべき回送費を全免するが爲め、四十四年三月左の如く改正し、同年四月一日より施行したり。

大藏省令第八號（明治四十四年三月二十九日）

第十條ノ二　鹽ヲ外國ニ輸出シタル者專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第二十條ノ交付金下付申請書ニ添付スヘキ書類及第十條ノ三ニ依リ鹽ノ等級、包裝、數量及百斤當回送費ノ記入ヲ受ケタル書類ヲ提出シタルトキハ前條ニ依リ徵收シ又ハ徵收スヘキ回送費ニ相當スル金額ノ下付ヲ輸出港所轄鹽專賣官署ニ請求スルコトヲ得但シ其ノ鹽ヲ賣渡シタル鹽販賣官署販賣區域外ヨリ輸出シタル場合ニ於テ其ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ヘキ金額ハ輸出港所

屬鹽販賣官署又ハ其ノ鹽ヲ賣渡シタル鹽販賣官署ニ於テ徵收スヘキ回送費ノ中其ノ金額少キモノニ依ル

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第二十七條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ輸出鹽ノ回送費ニ相當スル金額ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ヲ買受クル者前條ニ依リ徵收スル回送費ニ相當スル擔保ヲ提供スルトキハ回送費納付ノ免除ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ回送費納付ノ免除ヲ受ケタル者又ハ其ノ轉得者專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十六條ノ二ノ規定ニ該當スルトキハ其ノ回送費ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第三項ノ擔保ハ鹽賣渡ノ日ヨリ六箇月以內ニ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十四條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ提出シタルトキハ之ヲ解除ス

第三項ノ擔保ノ種類、價格及其ノ提供方ニ付テハ第十四條ノ規定ニ依ル

第十條ノ三　前條ニ依リ回送費ニ相當スル金額ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ鹽買受ノ際回送費卽納ノ場合ニ在リテハ其ノ領收證書ニ、其ノ延納ヲ許可セラレタル場合ニ在リテハ其ノ納入告知書及領收證書ニ鹽ノ等級、包裝、數量及百斤當回送費ノ記入ヲ請求スヘシ

第十條ノ四　鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出シタル鹽ノ回送費ニ相當スル金額ノ下付ニ付テハ前二條、回送費納付ノ免除ニ付テハ第十條ノ二ノ規定ヲ準用ス

賣捌人の指定に關する條項中旣に之が適用を失ひたるものあるのみならず、規則の全體に亙りて尙ほ煙草賣捌規則と權衡を得ざる事項少からざるを以て、明治四十五年六月左の如く改正を施し、同月十五日より之を施行したり。

大藏省令第十五號（明治四十五年六月十一日）

第一條第四項中「政府ヲ」「鹽專賣官署」ニ改ム

第二條第一項中「鹽小賣人ハ」ノ下ニ「必要ニ應シ二箇年以內ノ期間ヲ以テ」ヲ加フ

第三條　鹽賣捌人死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人ハ專賣局長官ニ申告シテ殘期間其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得但第六條ニ依リ鹽賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ申告ハ鹽賣捌人死亡ノ日ヨリ一箇月以內ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條　削除

第五條　鹽賣捌人タラムトスル者ハ第一號書式ニ據リ申請スヘシ

第六條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

一　鹽專賣法第二十五條乃至第二十七條、第二十九條、第三十條ノ二乃至第三十一條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

同條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五　第二十一條又ハ第二十一條ノ二ニ依リ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消サレ二箇年ヲ經サル者

同條第二項中「第一號」ノ下ニ「又ハ第五號」ヲ加フ

第八條中「鹽元賣捌人」ヲ「鹽賣捌人」ニ改ム

第九條第一項中「鹽元賣捌人」ヲ「鹽賣捌人」ニ改メ第二項ヲ削ル

第十四條第一項中「提供シテ」ヲ「提供シタルトキハ專賣局長官ハ」ニ「請求」ヲ「許可」ニ改ム

同條第二項中「提供シ置クトキハ」ノ次ニ「專賣局長官」ヲ加ヘ「請求」ヲ「許可」ニ改ム

同條第三項中「請求スルコトヲ得ル者ハ」ヲ「許可スルハ」ニ「百圓以上タルコトヲ要ス」ヲ「百圓以上ノ場合ニ限ル」ニ改ム

同條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二項ノ有價證券ノ價格ハ前項ニ準シ毎年四月之ヲ改算ス但シ其ノ價格ニ著シキ變動アリト認メタルトキハ隨時之ヲ改算ス

第十五條　削除

第十六條中「前條ノ告知又ハ通知」ヲ「其ノ賣渡」ニ改ム

第十七條中「翌月五日迄ニ第六號書式ノ鹽受拂月計表ヲ鹽販賣官署ニ提出スヘシ」ヲ「鹽ノ受拂ヲ明確ニ記載スヘシ」ニ改ム

第十八條中「價格表」ノ下ニ「及第七號雛形ニ據ル標札」ヲ加フ

第十九條　削除

第二十條中「鹽賣捌人」ヲ「鹽元賣捌人」ニ改メ第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鹽小賣人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ二箇所以上ノ營業所ヲ有スル鹽小賣人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第二十一條　左ノ場合ニ於テ專賣局長官ハ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

一　制限價格ヲ超エテ鹽ヲ販賣シタルトキ

二　鹽元賣捌人第六條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ

三　鹽元賣捌人鹽販賣官署ヨリノ鹽買受代金一箇年千圓未滿ナルトキ

四　鹽元賣捌人納付期日ヲ過キ仍鹽買受代金又ハ回送費ヲ完納セサルトキ

五　鹽小賣人第六條第一項第一號ニ該當スルニ至リタルトキ

法人カ鹽賣捌人ニ指定セラレタル場合ニ於テ前項第二號又ハ第五號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第二十一條ノ二　鹽賣捌人左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第九條ニ違反シタルトキ又ハ專賣局長官ノ指定シタル場所以外ニ營業所ヲ設置シタルトキ

二　本規則ニ違反シ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ尙之ニ從ハサルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ罰金又ハ科料ニ處セス直ニ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第二十二條　鹽賣捌人死亡シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ、指定期間滿了シ引續キ指定セラレサルトキ又ハ其ノ指定ヲ取消サレ若ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル鹽ハ事實ノ發生後三十日以內ニ鹽賣捌人ニ讓渡スコトヲ得

（書式省略）

從來露領沿海州方面等に輸移出する漁業用鹽に關しては、歐米鹽に對抗して內地鹽を供給するの

方針を採り、前述の如く明治四十四年度以降特に之が回送費を免除し、更に四十五年度よりは進んで賠償原價を以て賣渡すこととし、以て漸く內地鹽供給の目的を達し來りたるも、大正元年中賠償價格の引上を行ひたる結果其の賣渡價格高騰し、外國鹽との競爭一層困難に陷り、到底之を放任し難きに至りしを以て、買受擔保の點に於て幾分の特典を附與するの必要を認め、大正二年二月二十日左の如く改正し、卽日施行したり。

大藏省令第二號（大正二年二月二十日）

第十四條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ、第四項中「第一項及第二項ノ有價證券ノ價格ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外」ヲ「第一項乃至第三項ノ擔保物件中地方債證券、株券又ハ債券ノ價格ハ」ニ、第五項中「第二項」ヲ「第三項」ニ改ム

外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲鹽ヲ買受クル者其ノ代金及回送費納付ノ擔保トシテ專賣局長官ノ確實ト認メタル有價證券ヲ提供シタルトキハ其ノ輸出又ハ移出スヘキコトヲ確認シタル場合ニ限リ專賣局長官ハ三箇月以內代金及回送費ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

鹽賣渡價格の低減及均一を圖る爲め大正二年十月以後鹽回送費の全額を政府に於て負擔することとなりしを以て、之に伴ひ鹽賣捌規則中適用を失すべき鹽回送費に關する條項を削除すべき必要を生じ、大正二年十月左の如く改正を加へ、同月十五日より之を施行したり。

大藏省令第三十號（大正二年十月二日）

第十條、第十條ノ二、第十條ノ三及第十條ノ四削除

第十四條、第十六條及第十六條ノ二中「及回送費」ヲ削ル

第二十一條中「又ハ回送費」ヲ削ル

附　則

本令施行前外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲賣渡シタル鹽ノ回送費ニ相當スル金額ノ下付ニ付テハ仍從前ノ規定ヲ適用ス

尋いで大正三年二月に至り、後述の如く鹽販賣官署の管轄區域は大藏省告示を以て之を一般に公示することを廢して、專賣局長官達を以て之を指定通牒することと改むるに及び、本規則中左の通改正し、同年三月十日より之を施行したり。

大藏省令第三號（大正三年二月十八日）

第十三條ヲ左ノ如ク改ム

鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ其ノ種類、等級、包裝ノ種類及數量ヲ鹽販賣官署ニ申出ツヘシ

第二十三條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改メ第四項ヲ削ル

鹽賣捌人ノ鹽買受ニ關スル請求ハ專賣局長官ノ指定シタル鹽販賣官署ニ之ヲ爲スヘシ

鹽賣捌人ニ非サル者ノ鹽買受ニ關シテハ何レノ鹽販賣官署ニ請求スルモ妨ナシ

鹽賣捌人の指定期間は從來二箇年以內の規定なりしが、煙草賣捌人の指定期間との均衡上之を三箇年以內に改むることとし、且つ元賣捌人の鹽貯藏所に關して新に規定を設くるの必要を認め、大正五年四月左の如く改正を加へ、同年七月一日より之を施行したり。

大藏省令第七號（大正五年四月十四日）

第二條第一項中「二箇年」トアルヲ「三箇年」ニ改メ第二項ヲ左ノ通改ム

燒鹽其ノ他特殊ノ鹽及外國ヨリ輸入シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ヨリ移入スル鹽ニ付テハ專賣局長官ハ特ニ其ノ賣捌人ヲ指定スルコトヲ得

第八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第八條ノ二　鹽貯藏所ヲ設置セムトスルトキハ其ノ位置ヲ定メ第一號書式ノ二ニ依リ專賣局長官ニ申請シ其ノ許可ヲ受クヘシ

第九條中「其ノ營業所」ノ次ニ「又ハ鹽貯藏所」ヲ加フ

第十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十八條ノ二　鹽元賣捌人鹽貯藏所ヲ設置シタルトキハ其ノ見易キ場所ニ自己ノ指定番號、住所、氏名及鹽貯藏所タルコトヲ明記シタル標札ヲ掲クヘシ

第二十條第一項中「二箇所以上ノ營業所」ノ次ニ「又ハ一箇所以上ノ鹽貯藏所」ヲ第二項中「又ハ營業所」ノ次ニ「若クハ鹽貯藏所」ヲ加フ

第二十一條ノ二第一項第一號中「場所以外ニ營業所」ノ次ニ「又ハ鹽貯藏所」ヲ加フ

附則第一號書式ノ次ニ左ノ書式ヲ加フ

（書式省略）

大正九年十二月國債市價維持方策の一として、從來政府に對する各種債務の擔保に國債證券・地方債證券其の他の有價證券を提供せしめ來りたるを改めて、專ら國債に限ることと爲すに及び、本規則第十四條の鹽代金延納の擔保に關する規定も亦改正するの必要を生じたるを以て、之を左の如く改めたり。

大藏省令第五十三號（大正九年十二月二十八日）

第十四條中「國債證券、地方債證券若ハ專賣局長官ノ指定シタル株式會社ノ株券又ハ債券」ヲ「國債」ニ「專賣局長官ノ確實ト認メタル有價證券」ヲ「國債」ニ「前二項ノ擔保物件」ヲ「國債」ニ改メ第五項及第六項ヲ削リ第七項ヲ左ノ如ク改ム

代金納付ノ擔保ヲ提供スル者ハ無記名國債證券ノ提供ニ在リテハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出シ登錄國債ノ提供ニ在リテハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知書ヲ提出スヘシ登錄國債ニシテ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スヘシ

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前提供シタル國債以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス尙其ノ效力ヲ有ス

前項ノ有價證券ノ價格ハ每年四月市場ニ於ケル前月中ノ平均價格ヨリ其ノ十分ノ二ヲ控除シ之ヲ改算ス但シ其ノ價格ニ著シキ變動アリト認メタルトキハ隨時之ヲ改算ス

尋いで大正十一年六月に至り、鹽賣捌人の指定期間を更に五年に延長し、其の他賣捌人の販賣價格の制限及賣捌店舗の設備・鹽保存方法・常備鹽等に關して新に規定を設くるの必要を認め、同月十九日大藏省令第四十六號を以て左の如く改正し、卽日之を施行したり。

大藏省令第四十六號（大正十一年六月十九日）

第二條中「三箇年以內」ヲ「五箇年以內」ニ改ム

第三條中「鹽賣捌人死亡」ノ下ニ「又ハ隱居」ヲ加フ

第五條中「申請スヘシ」ノ下ニ「但シ法人ニ在リテハ定款ヲ添附スルコトヲ要ス」ヲ加ヘ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

鹽賣捌人タル法人其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ專賣局長官ノ承認ヲ受クヘシ

第六條第一項中第一號ノ次ニ左ノ二號ヲ加ヘ第二號ヲ第四號トシ以下順次繰下ク

二　煙草專賣法第四十一條乃至第四十二條、第四十八條乃至第五十條、第五十二條、第五十四條乃至第六十條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

三　粗製樟腦、樟腦油專賣法第十五條又ハ第十六條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

同條第二項中「第一號又ハ第五號」ヲ「第一號乃至第三號又ハ第七號」ニ改ム

第七條中「又其ノ營業所ヲ同シクスルコトヲ得ス」ヲ削ル

第八條中「營業所ノ設置ヲ許可」ノ下ニ「シ又ハ命」ヲ加フ

第八條ノ二中「鹽貯藏所ヲ設置セムトスル鹽元賣捌人ハ其ノ位置ヲ定メ」ヲ「鹽元賣捌人鹽貯藏所ヲ設置セムトスルトキハ」ニ改ム

第八條ノ三　鹽賣捌人ハ他ノ鹽賣捌人ト其ノ營業所及鹽貯藏所ヲ同シクスルコトヲ得ス

第十一條　鹽賣捌人ハ左記ニ依リ算定シタル金額ヲ超エテ鹽ヲ販賣スルコトヲ得ス

一　鹽元賣捌人ハ政府ノ賣渡シタル價格ニ營業利益及營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃ヲ加ヘタルモノ

二　鹽小賣人ハ前號ニ依リ鹽元賣捌人ノ賣渡スヘキ價格ニ營業利益及營業所ニ至ル鹽運賃ヲ加ヘタルモノ

前項ノ營業利益ノ算定方法ハ專賣局長官之ヲ定メ鹽運賃ハ地方專賣局長官之ヲ認定シ鹽賣捌人ニ通知ス

第十三條中「包裝ノ種類」ヲ「包裝ノ區分」ニ改ム

第十四條中「百圓以上」ヲ「三百圓以上」ニ「供託受領證」ヲ「供託物受入ノ記載アル供託書」ニ改ム

第十六條ノ二中「年五分」ヲ「年六分」ニ改ム

第十七條中「其ノ等級、包裝ノ種類、數量及代金」ヲ「其ノ種類、等級、包裝ノ區分、數量、代金及運賃」ニ改ム

第十八條ノ二中「自己ノ指定番號、住所」ヲ削ル

第十八條ノ三　地方專賣局長ハ鹽賣捌人ノ店舖ノ設備、鹽保存ノ方法、店舖ニ備ヘ置クヘキ鹽ノ種類、等級、包裝ノ區分、數量及其ノ供給方ニ付指示スルコトヲ得

第二十一條第一項中第一號ヲ「一第十一條第一項ニ違反シタルトキ」ニ第三號中「千圓未滿」ヲ「三千圓未滿」ニ改メ第四號中「鹽元賣捌人」ノ下ニ「正當ノ事由ナクシテ」ヲ第五號中「第一號」ノ下ニ「乃至第三號」ヲ加ヘ同項ニ左ノ一號ヲ加フ

六　鹽賣捌人正當ノ事由ナクシテ三箇月以上引續キ營業ヲ爲ササルトキ

第二十一條ノ二第一項中第一號ノ前ニ左ノ二號ヲ加ヘ第一號ヲ第三號トシ以下順次繰下ク

一　第五條第二項ニ違反シタルトキ

二　專賣局長官ノ命シタル場所ニ營業所ヲ設置セサルトキ

同條第二項中「第一號」ノ下ニ「乃至第三號」ヲ加フ

第二十二條中「鹽賣捌人死亡」ノ下ニ「又ハ隱居」ヲ加フ

第二十三條中「專賣支局」ヲ「地方專賣局」ニ改ム

第四號書式、第五號書式及第七號雛形ヲ左ノ如ク改ム

（書式省略）

其の後大正十五年八月十七日に至り第五條を左の如く改め、卽日之を施行したり。

大藏省令第三十號（大正十五年八月十七日）

第五條第二項中「鹽賣捌人」ヲ「鹽元賣捌人」ニ改メ同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鹽小賣人タル法人其ノ定款ヲ變更シタルトキハ其ノ旨專賣局長官ニ屆出ツヘシ

鹽賣捌規則は其の制定以後以上の如く前後十回に亙りて改正を施されたるが、今此等の改正を經たる大正末年に於ける現行の規則を揭ぐれば左の如し。

鹽賣捌規則（明治四十一年四月二十九日大藏省令第二十號）

第一條　鹽元賣捌人ハ政府ヨリ鹽ヲ買受ケ之ヲ鹽小賣人ニ賣渡スモノトス

鹽小賣人ハ鹽元賣捌人ヨリ鹽ヲ買受ケ之ヲ消費者ニ賣渡スモノトス

鹽元賣捌人ハ他ノ元賣捌人ト鹽ヲ賣買シ又ハ一回千斤以上ニ限リ直接消費者ニ鹽ヲ賣渡スコトヲ得

鹽賣捌人ハ特ニ鹽專賣官署ノ認許シタル場合ニ限リ鹽賣捌人ニ非サル者ヨリ鹽ヲ買受クルコトヲ得

第二條　鹽元賣捌人及鹽小賣人ハ必要ニ應シ五箇年以內ノ期間ヲ以テ專賣局長官之ヲ指定ス」ニ燒鹽其ノ他特殊ノ鹽及外國ヨリ輸入シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ヨリ移入スル鹽ニ付テハ專賣局長官ハ特ニ其ノ賣捌人ヲ指定スルコトヲ得

第三條　鹽賣捌人死亡又ハ隱居ノ場合ニ於テハ其ノ相續人ハ專賣局長官ニ申告シテ殘期間其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得但シ第六條ニ依リ鹽賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ申告ハ鹽賣捌人死亡又ハ隱居ノ日ヨリ一箇月以內ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條　（削除）

第五條　鹽賣捌人タラムトスル者ハ第一號書式ニ據リ申請スヘシ但シ法人ニ在リテハ定款ヲ添附スルコトヲ要ス

鹽元賣捌人タル法人其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ專賣局長官ノ承認ヲ受クヘシ

鹽小賣人タル法人其ノ定款ヲ變更シタルトキハ其ノ旨專賣局長官ニ屆出ツヘシ

第六條　左ニ揭クル者ハ鹽元賣捌人ニ指定セラルルコトヲ得ス

一　鹽專賣法第二十五條乃至第二十七條、第二十九條、第三十條ノ二乃至第三十一條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

二　煙草專賣法第四十一條乃至第四十二條、第四十八條乃至第五十條、第五十二條、第五十四條

乃至第六十條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

三　粗製樟腦、樟腦油專賣法第十五條又ハ第十六條ニ依リ處罰又ハ處分ヲ受ケ二箇年ヲ經サル者

四　身代限處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ終ヘサル者又ハ家資分散若ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ確定スルニ至ル迄ノ者

五　國稅滯納處分ヲ受ケ又ハ之ニ準シタル處分ヲ受ケ一箇年ヲ經サル者

六　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

七　第二十一條又ハ第二十一條ノ二ニ依リ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消サレ二箇年ヲ經サル者

前項第一號乃至第三號又ハ第七號ニ該當スル者ハ鹽小賣人ニ指定セラルルコトヲ得ス

法人ノ場合ニ於テハ第一項各號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第七條　鹽元賣捌人ト鹽小賣人トハ互ニ相兼ヌルコトヲ得ス

第八條　鹽賣捌人ノ營業所ハ一人一箇所トス但シ專賣局長官ハ必要ト認ムル場合ニ於テ二箇所以上ノ營業所ノ設置ヲ許可シ又ハ命スルコトアルヘシ

第八條ノ二　鹽元賣捌人鹽貯藏所ヲ設置セムトスルトキハ第一號書式ノ二ニ依リ專賣局長官ニ申請シ其ノ許可ヲ受クヘシ

第八條ノ三　鹽賣捌人ハ他ノ鹽賣捌人ト其ノ營業所及鹽貯藏所ヲ同シクスルコトヲ得ス

第九條　鹽賣捌人ハ專賣局長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ營業所又ハ鹽貯藏所ヲ變更スルコトヲ得ス

第十條（削除）

第十一條　鹽賣捌人ハ左記ニ依リ算定シタル金額ヲ超エテ鹽ヲ販賣スルコトヲ得ス

一　鹽元賣捌人ハ政府ノ賣渡シタル價格ニ營業利益及營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃ヲ加ヘタルモノ

二　鹽小賣人ハ前號ニ依リ鹽元賣捌人ノ賣渡スヘキ價格ニ營業利益及營業所ニ至ル鹽運賃ヲ加ヘタルモノ

前項ノ營業利益ノ算定方法ハ專賣局長官之ヲ定メ鹽運賃ハ地方專賣局長之ヲ認定シ鹽賣捌人ニ通知ス

第十二條（削除）

第十三條　鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ其ノ種類、等級、包裝ノ區分及數量ヲ鹽販賣官署ニ申出ツヘシ

第十四條　鹽ヲ買受クル者ハ其ノ代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ提供シタルトキハ專賣局長官ハ三箇月以內代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲鹽ヲ買受クル者其ノ代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ提供シタルトキハ其ノ輸出又ハ移出スヘキコトヲ確認シタル場合ニ限リ專賣局長官ハ三箇月以內代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

常時鹽ノ買受ヲ爲ス者代金納付ノ擔保トシテ國債ヲ豫メ提供シ置クトキハ專賣局長官其ノ價額ニ達スル迄代金ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

前三項ニ依リ延納ヲ許可スルハ其ノ一回ノ買受代金三百圓以上ノ場合ニ限ル但シ鹽專賣法第十四條第二項ニ依ル指定引渡ノ場合及鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

代金納付ノ擔保ヲ提供スル者ハ無記名國債證券ノ提供ニ在リテハ之ヲ供託シ其ノ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ提出シ登錄國債ノ提供ニ在リテハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知書ヲ提出スヘシ登錄國債ニシテ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ提出スヘシ

第十五條　（削除）

第十六條　鹽ノ賣渡請求者其ノ賣渡ヲ受ケタルトキハ直ニ代金ヲ納付シ又ハ擔保物ヲ提供シ現品ヲ引取ルヘシ若シ五日以內ニ之ヲ引取ラサルトキハ相當保管料ヲ徵ス但シ鹽販賣官署ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

鹽販賣官署所在地外ニ於テ鹽ヲ賣渡シタルトキハ買受人ハ直ニ現品ヲ引取ルヘシ

第十六條ノ二　鹽ヲ買受クル者其ノ代金納付期日迄ニ之ヲ納付セサルトキハ年六分ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徵スルコトアルヘシ

第十七條　鹽元賣捌人ハ第四號及第五號書式ノ帳簿ヲ調製シ鹽ノ受拂ヲ明確ニ記載スヘシ

鹽小賣人ハ帳簿ヲ調製シ鹽ヲ買受ケタルトキハ其ノ買受先、買受年月日竝其ノ種類、等級、包裝ノ區分、數量、代金及運賃ヲ記載スヘシ

第十八條　鹽賣捌人ハ營業所ノ見易キ場所ニ其ノ販賣スル鹽ノ價格表及第七號雛形ニ據ル標札ヲ掲クヘシ

第十八條ノ二　鹽元賣捌人鹽貯藏所ヲ設置シタルトキハ其ノ見易キ場所ニ氏名及鹽貯藏所タルコトヲ明記シタル標札ヲ掲クヘシ

第十八條ノ三　地方專賣局長ハ鹽賣捌人ノ店舖ノ設備、鹽保存ノ方法、店舖ニ備ヘ置クヘキ鹽ノ種類、等級、包裝ノ區分、數量及其ノ供給方ニ付指示スルコトヲ得

第十九條　（削除）

第二十條　鹽元賣捌人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ廢業ノ日ヨリ三十日以前ニ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ二箇所以上ノ營業所又ハ一箇所以上ノ鹽貯藏所ヲ有スル鹽元賣捌人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

前項ノ期間ヲ經過セスシテ其ノ營業又ハ營業所若クハ鹽貯藏所ヲ廢止セムトスルトキハ專賣局長官ノ許可ヲ受クヘシ

鹽小賣人ニシテ其ノ營業ヲ廢止セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ專賣局長官ニ申告スヘシ二箇所以上ノ營業所ヲ有スル鹽小賣人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第二十一條　左ノ場合ニ於テ專賣局長官ハ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

一　第十一條第一項ニ違反シタルトキ

二　鹽元賣捌人第六條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ

三　鹽元賣捌人鹽販賣官署ヨリノ鹽買受代金一箇年三千圓未滿ナルトキ
四　鹽元賣捌人正當ノ事由ナクシテ納付期日ヲ過キ仍鹽買受代金ヲ完納セサルトキ
五　鹽小賣人第六條第一項第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキ
六　鹽賣捌人正當ノ事由ナクシテ三箇月以上引續キ營業ヲ爲ササルトキ

法人カ鹽賣捌人ニ指定セラレタル場合ニ於テ前項第二號又ハ第五號ノ事實ノ有無ハ法人、法人ノ業務ヲ執行スル者又ハ法人ヲ代表スル者ニ付之ヲ定ム

第二十一條ノ二　鹽賣捌人左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第五條第二項ニ違反シタルトキ
二　專賣局長官ノ命シタル場所ニ營業所ヲ設置セサルトキ
三　第九條ニ違反シタルトキ又ハ專賣局長官ノ指定シタル場所以外ニ營業所又ハ鹽貯藏所ヲ設置シタルトキ
四　本規則ニ違反シ當該官吏ノ注意ヲ受クルモ尙之ニ從ハサルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ罰金又ハ科料ニ處セス直ニ鹽賣捌人ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第二十二條　鹽賣捌人死亡又ハ隱居シ其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ、指定期間滿了シ引續キ指定セラレサルトキ又ハ其ノ指定ヲ取消サレ若ハ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ現存スル鹽ハ事實ノ發生後三十日以內ニ鹽賣捌人ニ讓渡スコトヲ得

第二十三條　鹽賣捌人ノ指定申請又ハ其ノ廢止、變更ニ關スル書類ハ其ノ地所轄ノ地方專賣局又ハ其ノ出張所ニ提出スヘシ

鹽賣捌人ノ鹽買受ニ關スル請求ハ專賣局長官ノ指定シタル鹽販賣官署ニ之ヲ爲スヘシ

鹽賣捌人ニ非サル者ノ鹽買受ニ關シテハ何レノ鹽販賣官署ニ請求スルモ妨ナシ。

附　則

本令ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令中鹽賣捌人ノ指定及其ノ申請ニ關スル規定ハ本令發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正九年大藏省令第五十三號）

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前提供シタル國債以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス尙其ノ效力ヲ有ス

前項ノ有價證券ノ價格ハ每年四月市場ニ於ケル前月中ノ平均價格ヨリ其ノ十分ノ二ヲ控除シ之ヲ改算ス但シ其ノ價格ニ著シキ變動アリト認メタルトキハ隨時之ヲ改算ス

（書式省略）

尙ほ鹽賣渡に關する取扱手續の細目に至りては、當初鹽務局事務取扱手續中に之を規定し、其の廢止後は鹽收納賣渡事務取扱手續中に詳細之を規定したるが、右に關しては既に第四節中に記述する所ありしを以て茲には之を再錄せず。

第二款　販賣機關

第一項　販賣官署

既に前款に於て述べたる如く、專賣實施當初に在りては內地鹽は之を收納したる官署に於てのみ販賣を爲すものとし、收納官署卽ち販賣官署たりしものにして、全國主要地方二十二箇所に設置せられたる鹽務局卽ち之が機關たりき。然るに其の後非產地に於ける鹽供給の便を圖る爲め、明治四十年七月に至り函館・小樽・直江津・仙臺・土崎・境（同年八月東京・大阪・郡山・門司・熊本を追加）の地方に鹽務局出張所を設けて、之に回送鹽販賣倉庫を附設し、產地收納官署より此處に鹽を回送して賣渡を爲すこととせしが、同年十月煙草・鹽樟腦三專賣機關の統一せらるるに及びて、前記鹽務局は之を收納所、出張所は之を販賣所と改稱すると共に、其の他必要の地方に收納所所屬の出張所及藏置所竝に販賣所所屬の藏置所を設置し、此等總ての諸官署に於て鹽の賣渡を行ふことゝなれり。尋いで翌四十一年七月に至り鹽販賣制度の改正を行ふに及び、新に鹽賣捌人を指定すると共に、前記十一箇所の販賣所の外更に青森・新潟・松本・名古屋・伏木・敦賀・高知・細島の八箇所に販賣所又は藏置所を設け、主產地に於ける赤穗・味野・尾道・三田尻・坂出・撫養・鹿兒島の七收納所と合せて、二十六箇所の官署を鹽販賣官署と爲し、夫々所定の販賣區域を之に割宛て、其の管轄內に於ける元賣捌人に對して鹽の賣渡を爲さしむることとせり。而して右販賣官署の區域表は、同年五月大藏省告示第八十六號を以て公示せられ、同年七月一日より實施せられたり。

翌四十二年三月に至り專賣局官制改正せられ、從來の收納所を專賣支局と改稱すると共に、販賣所及藏置所等を廢して之を專賣支局の出張所と爲すに及び、之に伴ひて鹽販賣官署區域表も亦其の全部を改正せられ、同年四月一日より實施せられたり（大藏省告示第四十四號）。爾後鹽需給上の實況に徵し或は行政上の理由に基きて、販賣官署の增減變更竝に其の管轄區域の變更等は屢〻行はれ、其の都度右販賣官署區域表は其の一部又は全部を改正せられしが（明治四十二年大藏省告示第九十號・第百二十六號・第百六十九號・四十三年第四十七號・第百二十號・四十四年第四號・第七十六號・四十五年第四十四號・大正元年第十八號・二年第五十四號・第八十八號）、大正三年二月に至りて鹽賣捌規則を改正し、鹽販賣官署の管轄區域は大藏省告示を以て一般に公示することを廢して、專賣局長官の指定に依ることと爲すに及び、管轄區域に關する前記大藏省告示は同月大藏省告示第十一號を以て三月九日限り廢止せられ、之に代へ專賣局長官達甲第六三二號を以て改めて鹽販賣官署區域表の制定通達を見たり。右區域表も亦爾後屢〻改正變更ありしと雖も、煩雜を厭ひて玆には總て之を省略に付す。

尙ほ上述の販賣官署の外に、明治四十二年七月以降販賣官署所在地外主要消費地を引渡場所に指定し、該地方買受人の請求に對しては一定數量以上の鹽を官費回送の上、右引渡場所に官吏を出張せしめ、之が賣渡の手續を爲さしむるの制度を設けしが、右回送鹽引渡場所は爾後漸次增加して、昭和元年度末現在に於ては四十一箇所を數ふるに至れり。

第二項　鹽賣捌人

明治四十一年四月鹽專賣法を改正して、鹽は政府又は政府の指定したる鹽元賣捌人又は小賣人に

非ざれば之を販賣することを得ざることと爲し、同時に大藏省令を以て鹽賣捌規則を制定して、鹽賣捌人に關する事項を詳細規定し、共に同年七月一日より之を施行したり。右規定に依れば、鹽は原則として政府より元賣捌人に、元賣捌人より小賣人に、小賣人より消費者に販賣するの順序にして、元賣捌人は他の元賣捌人と賣買を行ふを妨げざるも、直接消費者に販賣することを得ざるものとす。但し右原則に對して例外を爲すものは、後述の專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中の規定にしてなり。

卽ち此の規定に基き鹽元賣捌人が、大藏大臣の定むる制限價格以內に於て、鹽の販賣を爲さざるときは、政府より直接小賣人に賣渡すことを得べく、又一回一萬斤以上の賣渡請求あるとき及輸移出用又は農・工・鑛・漁業用鹽の賣渡請求あるときは、政府より直接消費者に賣渡すことを得るものなるが、更に又同年八月に至り前記鹽賣捌規則を改正して、一回千斤以上の賣渡請求あるときは、元賣捌人より直接消費者に賣渡すことを得るものと爲したり。

次に鹽賣捌規則は鹽賣捌人の指定に關する規定を設け、鹽元賣捌人及鹽小賣人は一定の資格を具備する者中より專賣局長官之を指定することと爲したり。卽ち元賣捌人に在りては相當の資產信用及經驗あることを必要とし、其の資產信用に就ては所得稅を納め居れること、經驗に就ては少くとも規則發布の日迄六箇月以上引續き鹽の仲買又は卸賣を爲し居れることを條件とせり。鹽小賣人に在りては資產信用等は深く問はず、單に經驗を有するを以て足れりとし、規則發布の際鹽の販賣を爲し居れることを以て指定の條件と爲したり。尤も地方に依りては右等の條件を具備する者なきか、若くは之れあるも其の數過少なる爲め、當該地方に對し鹽の供給圓滿なるを得ずと認めらるるときは、有資格者以外の者を隨時賣捌人に指定し得べきことの餘地を殘したり。尚ほ鹽賣捌人の指定に就ては前記の資格を具備するを必要とするの外、消極的の制限を設け、專賣法規又は租稅法規の違反者、國稅滯納者、身代限の者等は一定期間、又刑事犯罪人は絕對に之を指定せざることとせり。但し鹽小賣に在りては專賣法規又は租稅法規に違反せざる限り、此の制限なきものなり。

右の如くにして、始めて鹽賣捌人を指定するに際しては、現狀維持を大體の方針とし、從來の鹽商人にして右の資格を有し指定申請を爲せる者は悉く之を指定したり。斯く最初の指定に於て從來の營業者に優先權を認めたるは、彼等の經驗を利用し、併せて彼等をして從來の營業を失はしめざるに在ること、煙草專賣の場合と其の趣旨を同うせるなり。尚ほ臺灣鹽・關東州鹽及歐米鹽の元賣捌人は、內地鹽の元賣捌人と同樣の資格を必要とするの外、從來此等の鹽の取扱に就き特別なる經驗を有することを必要と認め、從來の移輸入取扱人を特別元賣捌人に指定することとせり。

鹽賣捌人の指定期間は、移輸入鹽の元賣捌人に就ては移輸入命令との關係上、一年度を限り之を指定することとしたるも、其の小賣人及內地鹽の賣捌人は總て二箇年以內と定めたるを以て、最初指定の賣捌人は明治四十三年六月を以て指定期間滿了となりしが、政府は尚ほ引續き繼續指定して其の營業を安固ならしむることと爲し、四十三年四月大藏省令第十八號を公布し、同年六月末に於て鹽賣捌人たる者は臺灣鹽及外國鹽元賣捌人を除き、明治四十五年六月三十日迄引續き鹽賣捌人に指定せられたる者と看做すこととせり。然るに其の後の實況に徵するに、元賣捌人の配置は官費回送制度及製鹽地整理等の實行の結果、各地均衡を失ひ、或る地方は其の數過剩にして競爭の弊を生ずるに反し、或る地方は過少にして供給の圓滿を缺くの虞あるに至りしを以て、玆に政府は民業時代以來の配置に對し改革を加ふるの必要を認め、明治四十五年六月賣捌人の指定更新に際して、過剩なるは減じ

寡少なるは補充し、以て各地の狀況に應じて、適當に之を按配することとしたり。而して其の整理方法としては、鹽專賣法違反者・居所不明者・營業休止又は廢止者・營業不熱心者及鹽の供給上繼續指定を必要と認めざる者等を淘汰することと爲し、尙ほ之と同時に鹽小賣人に就ても元賣捌人に準じて人員の淘汰を行ひたり。爾後大正三年六月及同五年六月に於て夫々賣捌人の指定更新を行ひしが、大正五年四月鹽賣捌規則を改正して指定期間を三箇年以內と改めしを以て、之に從ひ大正八年六月及同十一年六月に更に指定更新を爲せり。然るに大正十一年六月再び鹽賣捌規則を改正して指定期間を五箇年以內に延長せしを以て、爾後大正年間に於ては小賣人の指定更新は之を行はざりしが、元賣捌人に就ては特に大正十四年六月に於て之を實行したり。而して以上大正三年以後毎回の指定更新に當りては、自然減少の分を除くの外、原則として從來の賣捌人を其の申請を俟たずして繼續指定することと爲せしが、唯大正十一年の指定更新に際しては、多少賣捌人の淘汰を行ふと共に、元賣捌人に在りては合同して會社組織に變更したるものありしを以て、著しく其の數を減ずるに至れり。今各年度末現在に於ける賣捌人數竝に昭和元年度末現在の府縣別分布表を揭ぐれば左の如し。

（一）各年度末現在賣捌人員數

年度	元賣捌人			小賣人		
	人員	營業所數	一營業所に對する平均人口	人員	營業所數	一營業所に對する平均人口
明治四一	三、三五四	三、五三八	一四、五九五	一二八、八六三	一二九、五一三	三九九
四二	三、一七五	三、三六三	一五、三五四	一三三、一四二	一三三、八〇八	三八五
四三	二、九四九	三、一一一	一六、五九八	一三二、八四六	一三三、四九八	三八六
四四	二、七四三	二、八八九	一七、八七三	一三〇、四四五	一三一、一〇五	三九三
大正元	一、九七四	二、〇四一	二五、三五一	一〇九、六四五	一一〇、一〇〇	四六九
二	一、九一一	一、九七六	二六、〇九四	一一三、九九六	一一四、四七〇	四五〇
三	一、六九八	一、七七一	二九、一一五	一一〇、二七四	一一〇、七三九	四六六
四	一、六六一	一、七四〇	三一、二八七	一一三、三四二	一一三、八〇九	四七八
五	一、四六四	一、五三九	三五、八六六	一〇九、五八五	一〇九、九八七	五〇一
六	一、四三二	一、五一〇	三六、五五五	一一一、七一九	一一二、一一二	四九二
七	一、四三五	一、五一九	三六、三三八	一一三、九八〇	一一四、四〇九	四八二
八	一、一八六	一、三〇八	四二、二〇一	一一〇、四八一	一一〇、八六八	四九八
九	一、一六一	一、三〇二	四三、〇六三	一一二、九五六	一一三、四三五	四九四
一〇	一、〇〇一	一、二〇六	四六、四九〇	一一三、三四七	一一三、八四二	四九二
一一	三九六	八八六	六七、三六〇	一〇七、二〇九	一〇七、七一五	五五四
一二	三七七	八九二	六七、〇五六	一〇七、九七一	一〇八、五二〇	五五一
一三	三六三	八七七	七〇、一六五	一〇九、二七九	一〇九、八六七	五六三
一四	三三〇	八〇六	七五、〇五五	一一三、二八五	一一三、八八七	五三一
昭和元	三一五	七六四	七九、〇〇七	一一五、二九八	一一五、九九一	五二五

（二）賣捌人府縣別表（昭和元年度末現在）

府縣名	元賣捌人		小賣人		一元賣捌營業所に對する平均人口	一小賣營業所に對する平均人口
	人員	營業所數	人員	營業所數		
北海道	一九	三八	六、四四五	六、四五七	六六、五一八	三九一
青森	六	一一	一、六〇一	一、六〇一	七四、九七三	五一五
岩手	八	一三	一、〇六八	一、〇七六	七〇、一九二	八四八
宮城	一〇	二一	一、八七三	一、八七六	五〇、五二九	五六六

秋田	六	一九	一、八三七	一、八四三	四九、七〇〇	五一二
山形	四	一九	一、八六六	一、八六七	五四、七〇五	五五七
福島	五	三〇	三、二二四	三、二四一	四八、四四〇	四四八
茨城	一〇	二九	四、〇四八	四、〇六五	四九、〇一一	三五〇
栃木	九	一三	二、七五八	二、七六七	八四、五八五	三九七
群馬	六	一五	三、〇〇七	三、〇一一	七五、五〇七	三七六
埼玉	四	三五	二、九七〇	二、九七〇	四〇、二八六	四七五
千葉	八	四八	四、〇九五	四、一〇三	二九、四二五	三四四
東京	一一	二一	一五、五〇九	一五、六六九	二二一、三五七	二九七
神奈川	八	二〇	四、二四九	四、二七〇	七一、八一〇	三三六
新潟	五	二九	二、九五七	二、九六六	六四、三一四	六二九
富山	五	一〇	一、二九〇	一、三〇九	七五、四四〇	五七六
石川	九	一九	一、三四二	一、三六一	四四、二一二	五五二
福井	六	一四	八八二	八八六	四二、六八六	六七四
山梨	二	一〇	一、八一〇	一、八一二	六〇、四三〇	三三三
長野	四	二〇	二、七〇六	二、七二七	八二、一五〇	六〇二
岐阜	六	一二	一、七二九	一、七三五	九五、四五八	六六〇
靜岡	一〇	二三	三、三八九	三、四〇三	七三、七五二	四九八
愛知	六	二〇	二、八一九	二、八三三	一一八、三六五	八三六
三重	九	一七	一、七二二	一、七二七	六五、六二九	六四六
滋賀	三	六	七九〇	八一一	一一〇、八〇〇	八二〇
京都	四	六	一、六八五	一、六九二	二三八、五三三	八四六
大阪	六	六	三、三〇〇	三、三〇六	五二六、二五〇	九五五

兵庫	一〇	一八	三、四七四	三、四九五	一三八、一三九	七一一
奈良	三	五	九五五	九五六	一一七、五六〇	六一五
和歌山	五	七	一、六二九	一、六三一	一一三、六〇〇	四八八
鳥取	四	七	八三六	八四四	六七、九八六	五六四
島根	七	九	一、三九五	一、四〇二	八〇、四四四	五一六
岡山	五	二五	二、八四三	二、八五〇	四九、七一二	四三六
廣島	五	一五	二、四二八	二、四四五	一〇八、八九三	六六九
山口	一二	二一	一、七九五	一、八〇八	五二、六五二	六一二
德島	八	九	一、三九八	一、三九八	七七、一〇〇	四九六
香川	二	五	九九四	一、〇〇〇	七八、三三三	七〇五
愛媛	四	一〇	一、五〇三	一、五一一	七三、七八〇	七三二
高知	五	五	一、一七五	一、一七八	一三八、一八〇	五八七
福岡	一一	二二	四、一五四	四、二八八	一〇五、六九五	五四二
佐賀	五	一二	一、一一〇	一、一一七	五七、二五八	六一五
長崎	七	一一	一、五五四	一、五七〇	一〇六、三三六	七四五
熊本	八	一八	一、九八二	一、九八五	七二、七三三	六六〇
大分	六	一二	一、二〇一	一、二〇一	七七、二〇八	七七一
宮崎	五	九	一、〇六六	一、〇七五	七七、七一一	六五一
鹿兒島	一〇	一五	二、一九七	二、一九七	九八、九三三	六七五
沖繩	四	五	六五六	六五六	一一〇、九四〇	六四六
合計	三一五	七六四	一一五、二九八	一一五、九九一	七九、〇〇七	五二五

第三款　特別定價賣渡

鹽は其の賠償價格に一定の專賣收益を加算したるものを以て其の定價と爲し、政府は此の定價を以て鹽の賣渡を爲すべきは鹽專賣法第十八條の規定する所なるが、之に對する特例として海外に輸出する鹽又は農工漁業等特殊の用途に供する鹽に對しては、外國鹽との競爭上又は事業保護の必要上、特別の低價を以て賣渡を行ふの必要あり。是を以て鹽專賣法第十九條は、外國に輸出する鹽及命令を以て指定する用途に使用する鹽に對しては、命令の定むる所に依り特別の定價を以て之を賣渡すことを得るものと定め、且つ定價を以て賣渡したる鹽にして、後日に至り右の用途に使用せられたるときは、命令の定むる所に依り交付金を下付するものと爲したり。卽ち右規定に從ひ明治三十八年五月勅令第百五十七號を以て左の如く專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則を公布し、特別定價を以て賣渡すことを得べき鹽の種類賣渡請求の手續・交付金の下付・追徵金の徵收・取締の方法等に就き詳細規定したり。

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則（明治三十八年五月九日勅令第百五十七號）

第一條　鹽專賣法第十九條第一項第二號ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ左ノ用途ニ使用スルモノニ限ル

一　醬油釀造用但シ普通醬油ノ番醬油及自家用醬油釀造ニ使用スルモノヲ除ク

二　曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用

三　肥料用

四　獸皮保存用

五　鑛業用

六　鮭、鱒、鰤、鯨、膃肭獸鹽藏用

第二條　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ輸出者、醬油釀造者又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル者ニ限ル

第三條　外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量、等級、輸出港及輸出先ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第四條　第一條第一號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量、等級、用途及使用場所ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ但シ醬油釀造ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ普通醬油又ハ溜醬油釀造用ノ區別、第一條第六號ノ用途ニ使用セムトスル鹽ヲ以テ帝國外ニ於テ鹽藏セムトスル場合ニ在リテハ出漁船名及出港地名ヲモ記載スヘシ

第五條　溜醬油釀造又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ハ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供スヘシ

前項ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ金錢又ハ鹽務局長ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル

擔保ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第六條　特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用セラルルモノニ付テハ鹽務局ハ其ノ用途ニ從ヒ買受人ノ費用ヲ以テ鹽ノ重量百ニ對シ左ノ割合以上左記物品ノ一ヲ混和シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

一　曹達又ハ硫酸曹達製造用

酸性硫酸曹達	三
石油	〇、三
發煙鹽酸	二、五
苛性曹達	二
純硫酸	

二　晒粉製造用

純硫酸	二
滿俺礦	一、五

三　石鹼製造用

石油	〇、三
的列並油	〇、三
石鹼粉末	一、五
椰子油	五
無水炭酸曹達	五

四　肥料用

煤	二
木炭粉末	二、五

五　獸皮保存用

石油	〇、三
石鹼粉末	一、五
硫酸鐵	四
木炭粉末	二、五
酸化鐵	〇、三
煤	二

六　鑛業用

木炭粉末	二、五
石油	〇、三
石炭粉末	二、五
褐炭粉末	二、五
煤	二

第七條　第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲變性ヲ施シタル鹽ヲ除クノ外特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ運搬シ又ハ貯藏スルトキハ其ノ他ノ鹽ト之ヲ區別スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該官吏ハ其ノ鹽ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ護送スルコトアルヘシ

第八條　特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更セムトス

ルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡鹽務局ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スルノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第九條　特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ特別定價ト一般定價トノ差額ヲ追徵ス

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ第一條ノ用途ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ各特別定價ノ差額ヲ追徵ス

第十條　特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、出漁船名又ハ出港地名ヲ變更セムトスルトキハ賣渡鹽務局ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第十一條　外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出セムトスルトキハ其ノ輸出申告書ニ少クトモ鹽ノ數量、輸出先、積載スヘキ船舶名及其ノ內國寄港地ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽ノ數量ヲ檢定スヘシ

第十二條　第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ其ノ用途ニ使用セムトスルトキハ其ノ數量、使用ノ場所及日時ヲ定メ使用地所轄稅務署ニ使用ノ承認ヲ申請シ使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ

前項ノ承認ヲ受ケタル者醬油ヲ釀造シタル場合ニ於テ所轄稅務署カ醬油ノ査定ヲ爲スニ當リ殘存スル味噌アルトキハ其ノ數量ヲ査定スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡鹽務局ハ殘存味噌百斤ニ付金十一錢五厘ノ割合ノ金額ヲ溜醬油釀造者ヨリ追徵ス

第十三條　第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ漁獲物ノ數量、漁獲及鹽藏ノ場所竝漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル申請書ヲ鹽藏地所轄鹽務局ニ提出シ鹽藏物ノ檢查ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ帝國外ニ於テ鹽藏シタルトキハ歸港ノ際其ノ申請書ヲ出港地所轄鹽務局ニ提出スヘシ

前項ニ依ル鹽藏物ノ檢查ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

鹽務局ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス

鮭	六十五
鱒	七十五
鱈	四十
鯨	四十
腊肭獸	五十

第十四條　外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以內ニ左ノ書類ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

一　輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二　外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第十五條　第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ稅務署ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付稅務署ノ承認ヲ申請シ其ノ證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ承認ヲ受ケタル未使用鹽ニ關シ其ノ承認ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以內ニ鹽使用濟證明書ヲ提出スヘシ

第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ鹽務局ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ使用シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタルコトヲ認メタルトキハ賣渡鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ノ金額ヲ賣渡請求者ヨリ追徵ス

第十六條　特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

一　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ他ニ讓渡シタルトキ

二　許可ヲ受ケスシテ賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更シタルトキ

三　第十一條ノ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四　第十四條又ハ第十五條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徵スルコトヲ得但シ第十五條第二項ニ依リ承認ヲ受ケタル未使用鹽ハ其ノ不足額ニ算入セス

第十七條　第九條、第十二條、第十五條及前條ノ追徵金ニ關シテハ國稅徵收法及國稅徵收法施行規則ノ規定ヲ準用ス

第十八條　第五條ニ依リ提供シタル擔保ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ解除ス

一　其ノ鹽ヲ以テ釀造シタル醬油全部ニ付查定ヲ受ケ殘存味噌ナキトキ又ハ殘存味噌ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ

二　其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ

第十九條　一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ左ノ目的ニ供シタル者ハ左ノ割合ヲ以テ交付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

外國ニ輸出シタルトキ　鹽　百斤ニ付　金一圓四十八錢

二　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鰊又ハ鯖ヲ輸出シタルトキ　鹽水漬鰊　百斤ニ付　金七十四錢

鹽漬鰊	百斤ニ付	金五十一錢
鹽水漬鯖	百斤ニ付	金七十四錢

三　第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ使用シタルトキ

生引溜醬油釀造用以外ノ用途		
鹽	百斤ニ付	金一圓三十錢
生引溜醬油釀造用		
生引溜	一石ニ付	金七十三錢

四　第一條第六號ノ用途ニ使用シタルトキ

鹽鮭	百斤ニ付	金八十四錢
鹽鱒	百斤ニ付	金九十七錢
鹽鰤	百斤ニ付	金五十二錢
鹽鯨	百斤ニ付	金五十二錢
鹽漬腦肭獸	百斤ニ付	金六十五錢

第二十條　前條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ輸出港稅關ニ提出スヘシ

一　輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二　外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第二十一條　第十九條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ溜醬油釀造

申告書ニ少クトモ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量、輸出先、積載スヘキ船舶名及其ノ內國寄港地ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二十二條　第十九條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ溜醬油釀造用以外ノ用途ニ使用スル場合ニ於テハ鹽使用證明書及醬油查定證明書ヲ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ鹽變性證明書ヲ以テ前項ノ鹽使用證明書ニ代フルコトヲ得

第二十三條　前條ノ鹽使用證明書又ハ醬油查定證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用又ハ醬油查定ノ際申請書ヲ使用地所轄鹽務局又ハ稅務署ニ提出スヘシ

前條ノ鹽變性證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用前申請書ヲ所轄鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ鹽務局ハ第六條ニ準シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

第二十四條　帝國內又ハ帝國沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第四號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ漁獲物ノ數量、漁獲及鹽藏ノ場所竝漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル申請書ヲ鹽藏地所轄鹽務局ニ提出シ鹽藏物ノ檢查ヲ受クヘシ

前項ニ依ル鹽藏物ノ檢查ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

第二十五條　遠洋又ハ外國若ハ外國ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第四號ニ依リ交付金

ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前其ノ船舶名、寄港地、出漁先及積載鹽ノ數量ヲ記載シタル申告書ヲ出港地所轄鹽務局ニ提出シ積載鹽ノ檢査ヲ受クヘシ

前項ニ依リ申告ヲ爲シタル者歸港シタルトキハ申告書ヲ提出シタル鹽務局所在地又ハ其ノ鹽務局ノ指定シタル地ニ到リ前條第一項ニ準シタル申請書ヲ提出シ漁獲物及殘存鹽ノ檢査ヲ受クヘシ

第二十六條　帝國內ヨリ出港シ帝國內他ノ場所又ハ其ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者出港地所轄ノ鹽務局ニ申出其ノ許可ヲ受ケタルトキハ交付金下付ノ出願ニ付前條ノ規定ニ依ルコトヲ得

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

一　外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後、溜醬油釀造用ヲ除クノ外第一條各號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ使用後、溜醬油釀造ニ使用シタル鹽ニ付テハ醬油查定後六箇月ヲ經過シテ出願シタルトキ

二　外國ニ輸出スル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿、第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ一回ノ使用量五百斤未滿、鹽鮭、鹽鱒、鹽鱈、鹽鯨、鹽漬腊肉獸ニ付テハ一回ノ檢查數量千斤未滿ナルモノニ關シテ出願シタルトキ

三　第二十一條ノ輸出申告書又ハ第二十五條ノ申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本令ハ鹽專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ハ、爾後其ノ實施ニ伴ヒ屢、其ノ一部ニ改正ヲ加ヘラレタリ。今以下順次之ヲ記述スヘシ。

明治三十八年十月左記ノ諸點ニ付キ本規則ニ改正ヲ施シ、十月十日ヨリ之ヲ施行シタリ。

(一)　アルカリ工業保護ノ目的ヲ以テ、鹽酸製造用鹽ニ對シ特別定價賣渡及交付金下付ノ特典ヲ與フルコト

(二)　農事改良奬勵ノ爲メ選種用鹽ニ對シテモ特別定價賣渡ヲ爲スコト、但シ交付金下付ハ變性取扱上不便ナルヲ以テ之ヲ行ハス、肥料用鹽ニ對シテモ之ヲ廢シタルコト

(三)　味噌ヲ以テ溜醬油ヲ釀造シタルモノニ對シテハ、其ノ味噌百斤ニ付十七錢ノ割合ヲ以テ交付金ヲ下付スルコト

(四)　溜醬油釀造用鹽ノ賣渡ニ對スル差額擔保ノ徵收ハ聊カ苛酷ニ失スルヲ以テ、之ヲ廢止スルコト

右改正條文ハ左ノ如シ。

勅令第二百十四號（明治三十八年十月九日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條第二號中「曹達」ノ上ニ「鹽酸、」ヲ、第三號中「肥料」ノ下ニ「選種」ヲ加フ

第五條第一項中「溜醬油釀造又ハ」ヲ削ル

第六條第一號乃至第六號ヲ左ノ如ク改ム

一　鹽酸、曹達、硫酸曹達製造用　一〇ニ灰　四ヲ混シタルモノ
　酸性硫酸曹達　三〇ニ灰　四ヲ混シタルモノ
　石油　一、五
　發煙鹽酸　三
　苛性曹達　〇、五
　純硫酸　二、五
　硫酸曹達　二
二　晒粉製造用　六
　純硫酸　二
　滿俺鑛　一、五
三　石鹼製造用　二
　石油　一、五
　的列並油　〇、五
　石鹼粉末　〇、三
　椰子油　一、五
　無水炭酸曹達　五
四　肥料、選種用　五
　硫酸曹達

　石灰　一〇ニ灰　四ヲ混シタルモノ
　沃度副產鹽　三〇ニ灰　四ヲ混シタルモノ
五　獸皮保存用
　石油　〇、五
　石鹼粉末　一、五
六　鑛業用
　滿俺鑛　一、五
　石灰　一〇
　硫酸鐵　四
　金、銀、銅鑛ノ粉末又ハ其ノ汰物　五
　石油　〇、五
　硫化鐵　五
　木炭粉末　二、五
　石炭粉末　二、五

第十二條第三項中「金十一錢五厘」ヲ「金十七錢」ニ改ム

第十五條　第一條第一號又ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ稅務署又ハ鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付一箇年毎ニ稅務署又ハ鹽務局ノ承認ヲ申請シ其ノ證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

第十七條中「第十五條」ヲ削ル

第十八條　第五條ニ依リ提出シタル擔保ハ其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ之ヲ解除ス

第十九條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三　第一條第一號、第二號、第四號及第五號ノ用途ニ使用シタルトキ

鹽　百斤ニ付　金一圓三十錢

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

味噌ヲ以テ溜醬油ヲ釀造シタル者ハ其ノ使用シタル味噌百斤ニ付金十七錢ノ割合ヲ以テ交付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二十二條　第十九條ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ同條第一項第三號ノ場合ニ於テハ鹽使用證明書ヲ、同條第二項ノ場合ニ於テハ味噌使用證明書ヲ申請書ニ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第一條第二號、第四號及第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ鹽變性證明書ヲ以テ前項ノ鹽使用證明書ニ代フルコトヲ得

第十九條第一項第三號ノ用途中溜醬油ヲ釀造シタル場合ニ於テハ第十二條第二項、第三項及第十七條ヲ準用ス

第二十三條第一項中「醬油査定證明書」ヲ「味噌使用證明書」ニ、「鹽使用又ハ醬油査定ノ際」ヲ「鹽又ハ味噌使用ノ際」ニ改ム

第二十七條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一　外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後、第一條第一號、第二號、第四號乃至第六號ノ用途ニ使用シタル鹽又ハ第十九條第二項ノ味噌ニ付テハ使用後六箇月ヲ經過シテ出願シタルトキ

同條第二號中「第一號乃至第五號」ヲ「第一號、第二號、第四號及第五號」ニ改メ「使用スル鹽」ノ下ニ「又ハ第十九條第二項ノ味噌」ヲ加フ

附　則

本令ハ明治三十八年十月十日ヨリ之ヲ施行ス

醬油醸造用鹽に低價賣渡の特典を與ふることと爲せし理由は、醬油に對しては別に造石稅の課稅あるを以て、事實上二重課稅となるを避けんとするに在りしものなりと雖も、專賣施行後の實況に徵するに、之が執行手續上十分なる監督を加ふることは、官民共に其の煩に堪へざるものあるを以て、寧ろ之を廢し普通消費鹽の如く一般定價にて之を賣下ぐると同時に、醬油稅率を輕減することの便利なるを認め、明治三十九年三月醬油稅則を改正すると同時に、前揭規則中醬油釀造用鹽に關する規定を削除することと爲し、更に又新領土樺太の開發上同地に移出する鹽に對しても特別定價賣渡の特典を與ふるの要あるを認め、鹽專賣法を改正して鹽專賣法施行地外に移出する鹽に對しても外國輸

出鹽と同一の取扱を爲すことと定むると同時に、之が賣渡に關する規定を本規則中に追加し、同年四月一日より之を施行したり。改正條文左の如し。

勅令第三十六號（明治三十九年三月三十日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條第一號　削除

第二條中「醬油醸造者」ヲ削ル

第二條、第八條及第十六條中「第一號若ハ」ヲ削ル

第四條中「第一條第一號乃至第六號」ヲ「第一條第二號乃至第六號」ニ改メ「醬油醸造用ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ普通醬油又ハ溜醬油醸造用ノ區別」ヲ削リ「帝國外」ヲ「鹽專賣法施行地外」ニ改ム

第十二條　削除

第十三條中「帝國外」ヲ「鹽專賣法施行地外」ニ改ム

第十五條中「第一號又ハ」及「稅務署又ハ」ヲ削ル

第十七條中「第十二條」ヲ削ル

第十九條第一項中「第一號」及同條第二項ヲ削ル

第二十二條　第十九條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ鹽使用證明書ヲ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ但シ鹽變性證明書ヲ以テ鹽使用證明書ニ代フルコトヲ得

第二十三條中「又ハ味噌使用證明書」ヲ削リ「鹽又ハ味噌」ヲ「鹽」ニ改メ「又ハ稅務署」ヲ削ル

第二十七條中「第一號、及「又ハ第十九條第二項ノ味噌」ヲ削ル

第二十八條　鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十一條第二項、第二十條及第二十一條第二項準用ノ場合ニ於テ稅關ノ事務ハ移出地所轄鹽務局之ヲ行フ

附　則

本令ハ明治三十九年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行前ニ於テ醬油醸造ニ使用シタル者、本令施行前ニ於テ溜醬油ノ醸造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ本令施行後ト雖仍舊規定ヲ適用ス

一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行後ニ於テ醬油醸造ニ使用スル者ニ對シテハ其ノ鹽ノ總量ヲ本令施行後三十日以内ニ使用地所轄稅務署ニ申告シ其ノ承認ヲ受ケタル場合ニ限リ仍舊規定ヲ適用ス

一般定價を以て賣渡を受けたる鹽を特に定めたる目的に供したるものは、本規則第十九條に依り夫々一定額の交付金の下付を政府に申請することを得るものなるが、明治三十九年十一月に至り、輸出用鹽及本規則第一號乃至第五號の用途鹽に對しては、右一定の金額を條文中に揭記するを廢して之を左の如く改正し、以て鹽賣渡價格の變更毎に本規則を改正するの煩累を避くることとせり。

勅令第二百九十三號（明治三十九年十一月二十六日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十九條第一號中「鹽　百斤ニ付金一圓四十八錢」ヲ「輸出鹽ニ對スル特別定價ト一般定價トノ差額」ニ改メ、同條第三號中「鹽　百斤ニ付金一圓三十錢」ヲ「使用鹽ニ對スル各特別定價ト一般定價トノ差額」ニ改ム

家畜飼養用鹽に對し特別定價賣渡の必要に就きては、從來政府も之を認め調査研究中なりしが、偶〻明治三十九年二月及四十年三月全國畜牛家より帝國議會に請願する所あり、衆議院亦之を採擇すべきものと議決し、政府に送付し來りたるを以て、政府は四十年四月本規則を改正し、特別用途鹽中に家畜用鹽を追加したり。尚ほ之と同時に從來差額擔保を徵收せざりし外國輸出鹽に對しても、既往の實蹟に鑑み他日の追徵を確保する爲め之を提供せしむることと爲し、又各鹽藏魚類の使用鹽量を改定したり。卽ち左の如し。

勅令第百九號（明治四十年四月一日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三　肥料、選種、家畜用

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出シ又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ヲシテ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第六條ニ左ノ一號ヲ加フ

四ノ二　家畜用

辨柄	○、一ニ當藥粉	○、二五ヲ混シタルモノ
同條中「石油　○、五」ヲ「石油　一」ニ、「石灰　一○ニ灰四ヲ混シタルモノ」ヲ「石灰　五ニ灰四ヲ混シタルモノ」ニ改メ「沃度副產鹽」ノ次ニ左ノ如ク加フ		
當藥粉	○、二五ニ油煙○、○五ヲ混シタルモノ	
魚油	一ニ油煙○、○五ヲ混シタルモノ	
コールタール	○、○一	

第十三條第三項ヲ左ノ如ク改ム

鹽務局ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス

鹽鮭	四十五
鹽鱒	五十五
鹽鱈	二十五
開鱈	三十二
無骨開鱈	八十
鹽鯨赤肉	二十七
鹽鯨尾羽	四十
鹽漬腦腑獸	百

第十八條中「漁獲物鹽藏用」ノ上ニ「外國ニ輸出シ若ハ」ヲ加フ

第十九條第二號中左ノ如ク改ム

鹽水漬鰊	百斤ニ付　金六十七錢
鹽漬鰊	百斤ニ付　金五十九錢
鹽水漬鯖	百斤ニ付　金六十七錢

同條第四號ヲ左ノ如ク改ム

四　第一條第六號ノ用途ニ使用シタルトキ

鹽鮭	百斤ニ付　金五十八錢
鹽鱒	百斤ニ付　金七十一錢
鹽鰤	百斤ニ付　金三十二錢
開鰹	百斤ニ付　金四十一錢
無骨開鰹	百斤ニ付　金一圓四錢
鹽鯨赤肉	百斤ニ付　金三十五錢
鹽鯨尾羽	百斤ニ付　金五十二錢
鹽漬腮肭獸	百斤ニ付　金一圓三十錢

附　則

本令ハ明治四十年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行前ニ於テ第一條第六號ノ用途ニ使用シタル者及一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行前ニ於テ第十九條第二號又ハ第四號ノ目的ニ供シタル者ニ對シテハ本令施行後ト雖仍舊規定ヲ適用ス

明治四十一年七月以後鹽販賣制度改正せられし結果、政府は原則として其の指定したる元賣捌人に對して鹽を賣渡すこととなりしも、場合に依りては直接消費者又は小賣人に賣渡すの必要あるを認め、專賣法第十九條の規定を改正し、輸移出其の他特別用途鹽の外特に命令を以て定めたる場合に該當するときは、特に定めたる價格を以て鹽の賣渡を爲し得ることと定めたり（第十九條第一項第三號）。

玆に於て專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則に改正を加へ、右鹽專賣法の規定に依り特別定價を以て賣渡を爲し得る場合を定めて、(一)鹽賣捌人に非ざる者一回一萬斤以上鹽の賣渡を請求したるとき、(二)鹽元賣捌人が大藏大臣の定むる制限價格以內に於て鹽の販賣を爲さざるときの二としたり。右は固より政府が鹽元賣捌人以外の者に賣渡す場合にして、其の賣渡價格は特別定價と稱するも、之れ單に鹽賠償價格に專賣收入率を加へたるものに止まり、輸移出鹽及特別用途鹽の如き低價賣渡の恩典を與へざるは勿論なりとす。故に改正規則に於ては右規定に依り賣渡したる鹽を特別の用途に供したるときは、其の請求に依り交付金を下付すべき規定を設けたり。而して右の如く特別定價を以て賣渡すべき鹽には二種存するに至りしを以て、改正規則に於ては從來低價賣渡の鹽に對してのみ使用し來りし特別定價鹽なる文字は、爾後之を使用せざることと爲したり。此の外改正規則に於ては一般に追徵金徵收の率を增加し、又一旦外國に輸出して交付金の下付を受けたる鹽藏魚類を輸入したるときは、其の輸入者より交付金相當額を追徵することと爲し、其の他各種手續上に於ても種々の改正を施したり。改正條文を揭ぐれば左の如し。

勅令第百五十二號（明治四十一年六月十六日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條ノ二　鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スハ左ノ場合ニ限ル・

一　鹽賣捌人ニ非サル者一回一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ

二　鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササルトキ

第五條第二項中「又ハ鹽務局長ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル」ヲ「國債證券、地方債證券又ハ專賣局長官ノ指定シタル株式會社ノ株券若ハ債券ニ限ル」ニ改ム

第六條中「特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用セラルルモノ」ヲ「第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽」ニ改ム

第七條中「變性ヲ施シタル鹽」ヲ「變性ヲ施シタル鹽及第一條ノ二ニ依リ賣渡ヲ受ケタル鹽」ニ改ム

第八條　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル目的ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡鹽專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ但シ外國ニ輸出スル者又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル者ニ讓渡セムトスルトキハ讓受人ノ連署ヲ要ス

第六條ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ニ付テハ前項ノ出願ヲ要セス賣渡鹽專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲又ハ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル者ニ讓渡スル場合ニ於テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第九條　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十六條第一項中「特別定價ヲ以テ」ヲ「外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲」ニ改メ「特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一」ヲ「其ノ定價ト第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ一」ニ改ム

第十七條中「及前條」ヲ「第十六條及第二十一條ノ二」ニ改ム

第十九條中「一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽」ヲ「鹽專賣法第十八條又ハ本令第一條ノ二ニ依リ賣渡シタル鹽」ニ改メ第一號及第三號中「一般定價」ヲ「第一條ノ二ニ依ル定價」ニ改ム

第二十一條ノ二　第十九條第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類ヲ輸入シタルトキハ輸入港稅關ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第二十三條ノ二　前條第三項ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號以外ノ目的ニ供セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ地所轄ノ鹽專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ」

第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ

第九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケスシテ共ノ目的ヲ變更シタル者ニ付テハ第十六條ノ規定ヲ準用ス

第二條乃至第四條、第十條、第十一條、第十三條乃至第十五條及第十六條第二項中「特別定價ヲ以テ」ヲ削ル

「鹽務局」ヲ「鹽專賣官署」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

尋いで翌明治四十二年十月に至り交付金下付取扱の利便を圖り、且つ交付金詐取の弊を防止する爲め、本規則を左の如く改正したり。

勅令第二百二十五號（明治四十二年十月一日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條中第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一　鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用

二　石鹼製造用

第二條中「使用スル者」ヲ「使用スル漁獲者」ニ改ム

第四條中「第二號乃至第六號」ヲ削リ但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ第一條第六號ノ用途ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ漁獲物ノ種類、出漁船名、鹽積載船名、寄港地名及鹽ノ運搬方法ヲモ記載スヘシ

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出シ又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ス定價ト共ノ差額ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得テ其ノ請求數量ニ依リ鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價ト外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ス定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第六條、第七條及第八條第三項中「第二號」ヲ「第一號」ニ改ム

第六條第三號中「無水炭酸曹達」ヲ「曹達灰」ニ改ム

第九條　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十條　鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、漁獲物ノ種類、出漁船名、鹽積載船名又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更セムトスルトキハ賣渡鹽專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第十三條　第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ漁獲物ノ種類、數量、漁獲及鹽藏ノ場所及時期、漁獲物ノ仕向先ヲ記載シタル鹽使用濟證明申

請書ヲ鹽藏地所轄鹽專賣官署ニ提出シ鹽藏物ノ檢査ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ鹽專賣法施行地外ニ於テ鹽藏シタルトキハ其ノ申請書ヲ賣渡鹽專賣官署又ハ豫メ其ノ官署ノ指定シタル鹽專賣官署ニ提出スヘシ

前項ニ依ル鹽藏物ノ檢査ハ鹽專賣官署所在地又ハ鹽專賣官署ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

鹽專賣官署ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス但シ其ノ鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ賣渡數量ニ依ル

鹽鮭	四十五
鹽鱒	五十五
鹽鰯	二十五
開鰯	三十二
無骨開鰯	八十
鹽鯨赤肉	二十七
鹽鯨尾羽	四十
鹽漬腦肭獸	百

第十五條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ其ノ鹽カ帝國內ニ在ルトキハ其ノ地所轄專賣官署所轄專賣官署ノ檢査ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ所轄稅務署所轄專賣官署又ハ稅務署ノ檢査ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ所轄警察官署、帝國外ニ在ルトキハ專賣局長官ノ適當ト認ムル官公衙ノ檢査ヲ經テ未使用鹽證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ提出シテ鹽專賣官署ノ證明書ニ代フルコトヲ得

第十六條　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價トノ差額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徵ス

一　許可ヲ受ケスシテ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡シタルトキ

二　第十四條又ハ第十五條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ其ノ期間內ニ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽專賣官署ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徵スルコトヲ得但シ第十五條第二項ニ依リ承認ヲ受ケタル未使用鹽ハ其ノ不足額ニ算入セス

第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供シタルトキハ各特別定價ノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十六條ノ二　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡ス定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

一　外國ニ輸出スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ第一條ノ用途ニ供シタルトキ

二　第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第六號ノ用途ニ供シタルトキ

三　第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ供シタルトキ

四　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ供スル者ニ讓渡シタルトキ

五　申告ヲ爲サスシテ第十條ニ揭ケタル事項ヲ變更シタルトキ

六　第四條ノ賣渡請求書及第十一條ノ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條中「第十六條」ノ下ニ「第十六條ノ二」ヲ加フ

第十八條中「其ノ鹽ノ全部」ヲ「其ノ鹽」ニ改ム

第十九條　鹽專賣法第十八條又ハ本令第一條ノ二ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ左ノ目的ニ供シタル者ハ左ノ割合ヲ以テ交付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

一　外國ニ輸出シタルトキ

輸出鹽　百斤ニ付　金一圓三十五錢

二　第一條第一號、第二號、第四號乃至第六號ノ用途ニ使用シタルトキ

使用鹽　百斤ニ付　金一圓三十五錢

三　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鰊又ハ鯖ヲ輸出シタルトキ

使用鹽　百斤ニ付　金一圓三十五錢

鹽藏魚類ニ對スル使用鹽ノ數量ハ鹽藏魚類ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ計算ス此ノ場合ニ於テハ第十三條第三項但書及第二十六條第三項但書ノ規定ヲ準用ス

鹽漬鰊　四十六

鹽水漬鰊及鯖　五十二

第二十條　前條第一號又ハ第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ輸出港所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ但シ前條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ使用鹽檢定書ヲモ添附スヘシ

一　輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二　外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

前項但書ノ使用鹽檢定書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ第二十四條及第二十五條ノ規定ニ準シ鹽ノ檢定ヲ受クヘシ

第二十一條　第十九條第一號又ハ第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出申告書ニ少クトモ鹽又ハ鹽藏魚類ノ種類、數量、輸出先、積載船名及其ノ內國寄港地名ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二十一條ノ二　第十九條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類ヲ輸入シタルトキ

ハ輸入港所轄鹽專賣官署ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徵ス

前項ニ依リ追徵金ヲ納入シタル後ニ非サレハ輸入者ハ其ノ鹽藏魚類ヲ稅關ヨリ引取ルコトヲ得ス

第二十二條　第十九條第二號ニ依リ第一條第一號、第二號、第四號及第五號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ對シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ニ鹽使用證明書ヲ添附シ使用地所轄鹽專賣官署ニ之ヲ提出スヘシ但シ鹽變性證明書ヲ以テ鹽使用證明書ニ代フルコトヲ得

第二十三條ノ二　前條第三項ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ヲ第一條第一號乃至第五號以外ノ目的ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スヘキ鹽ヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ地所轄鹽專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ第九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケスシテ其ノ目的ヲ變更シタル者ニ付テハ第十六條及第十六條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第二十四條　鹽專賣法施行地內ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前第二十五條ニ準シタル鹽檢定申請書ヲ鹽藏地又ハ出港地所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ

前項ニ依ル使用鹽ノ檢定ハ鹽檢定申請書ヲ受理シタル鹽專賣官署所在地又ハ其ノ官署ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ但シ鹽專賣官署所在地外ニ於テ檢定地ヲ指定シタルトキハ其ノ地所轄稅務署又ハ警察官署ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

第二十五條　鹽專賣法施行地外ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前使用鹽ノ數量、漁獲物ノ種類、漁獲及鹽藏ノ場所、出漁船名、鹽積載船名、寄港地名及鹽ノ運搬方法ヲ記載シタル鹽檢定申請書ヲ受理シタル鹽專賣官署所在地又ハ其ノ官署ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

第二十六條　前二條ニ依リ鹽ノ檢定ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ漁獲物ノ種類、數量、漁獲及鹽藏ノ場所及時期、漁獲物ノ仕向先ヲ記載シタル鹽使用證明申請書ヲ鹽ノ檢定地所轄鹽專賣官署ニ提出シ鹽藏物及殘存鹽ノ檢查ヲ經テ鹽藏用ニ供シタル鹽ノ使用證明書ノ交付ヲ受クヘシ

前項ニ依ル鹽藏物及殘存鹽ノ檢查ハ鹽使用證明申請書ヲ受理シタル鹽專賣官署所在地又ハ其ノ官署ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ但シ鹽藏物ト共ニ殘存鹽ノ檢查ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ第十五條第二項但書ノ規定ヲ準用シ殘存鹽ノ檢查ニ代フルコトヲ得

鹽專賣官署ノ證明スル鹽使用數量ハ第十三條第三項ニ準シ之ヲ計算ス但シ其ノ鹽ノ數量カ檢定ヲ受ケタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ其ノ鹽ノ數量ニ依ル

第二十六條ノ二　第十九條第二號ニ依リ第一條第六號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ對シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル漁獲者ハ交付金下付申請書ニ鹽使用證明書ヲ添附シ鹽藏物檢查地所轄鹽專賣官署ニ之ヲ提出スヘシ

第二十六條ノ三　第二十四條及第二十五條ノ鹽檢定申請書ニ記載シタル漁獲物ノ種類、漁獲及鹽藏ノ場所、出漁船名、鹽積載船名又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更セムトスルトキハ鹽ノ檢定地所轄鹽專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

一　外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後六箇月、第一條第一號、第二號、第四號乃至第六號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ使用後六箇月ヲ經過シタルトキ

二　外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿、第一條第二號、第四號及第五號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ一回ノ使用量千斤未滿、第一條第一號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ一回ノ使用量五百斤未滿、第一條第六號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ第二十六條ニ依リ鹽專賣官署ノ證明スル一回ノ鹽使用量五百斤未滿ナルトキ

三　第二十一條ノ輸出申告書又ハ第二十四條及第二十五條ノ鹽檢定申請書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四　申告ヲ爲サスシテ前條ニ揭ケタル事項ヲ變更シタルトキ

外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ對スル陸揚證明書ノ數量カ輸出免狀ニ記載シタル鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ其ノ不足額ニ對シ交付金ヲ下付セス

第二十八條中「第二十條」ヲ削ル

第二十九條　漁獲者ニ非サル者生鮮ナル鮭、鱒、鱈、鯨又ハ鰛肭獸ヲ鹽藏セムトスルトキハ其ノ使用鹽ノ特別定價賣渡及交付金ノ下付ニ付本令中漁獲者ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十三條及第二十六條ノ鹽使用證明ニ關スル申請書ニハ漁獲物ノ買入先ヲモ記載スヘシ

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前外國輸出又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ニ關スル第九條第一項ノ追徵金及第十九條各號ノ目的ニ供シタル鹽ニ對スル交付金ニ付テハ本令施行後ト雖仍從前ノ例ニ依ル

外國に輸出する製成醬油に對しては造石稅の下戻あるも、其の釀造用鹽の代金に就ては現行法規上何等の特典なきを以て、輸出用鹽との均衡上之に對しても交付金を下付することと爲し、同時に又鹽藏鰛及鹽漬鯖及鰛の輸出奬勵上、之が使用鹽又は鹽漬魚類に對しても交付金を下付するの必要を認め、明治四十三年九月本規則に左の如く改正を加へ、同年十月一日より之を施行したり。

勅令第三百四十二號(明治四十三年九月十二日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十九條中第三號ヲ左ノ如ク改ム

三　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鰊、鯖又ハ鰤ヲ輸出シタルトキ

使用鹽　百斤ニ付　金一圓三十五錢

鹽藏魚類ニ對スル使用鹽ノ數量ハ鹽藏魚類ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ計算ス此ノ場合ニ於テハ第十三條第三項但書及第二十六條第三項但書ノ規定ヲ準用ス

鹽漬鰊　四十六

鹽漬鯖　三十六

鹽漬鰤　四十

鹽水漬鰊及鯖　五十二

同條ニ左ノ一號ヲ加フ

四　其ノ鹽ヲ以テ製成シタル醬油ヲ輸出シタルトキ

製成醬油　一石ニ付　金六十六錢

第二十條ニ左ノ二項ヲ加フ

前條第四號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ヲ輸出港所轄鹽專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ鹽專賣官署ハ輸出港所轄稅關ニ於テ造石稅下戻ノ決定ヲ爲シタル後ニ非

サレハ交付金ヲ下付セス

第二十一條中「又ハ第三號」ヲ「第三號又ハ第四號」ニ「又ハ鹽藏魚類」ヲ「鹽藏魚類又ハ製成醬油」ニ改ム

第二十一條ノ二中「第三號」ノ下ニ「又ハ第四號」ヲ「鹽藏魚類」ノ下ニ「又ハ製成醬油」ヲ加フ

第二十二條中「鹽使用證明書」ノ下ニ「又ハ鹽變性證明書」ヲ「使用地」ノ下ニ「又ハ變性地」ヲ加ヘ但書ヲ削ル

第二十三條第二項中「申請書ヲ」ノ下ニ「鹽ノ所在地」ヲ加フ

第二十六條第一項中「鹽ノ檢定地所轄鹽專賣官署」ノ下ニ「又ハ豫メ其ノ官署ノ指定シタル鹽專賣官署」ヲ加フ

第二十七條第一項第一號中「輸出後六箇月」ノ下ニ「製成醬油ニ付テハ輸出後一箇年」ヲ加ヘ第二項中「又ハ鹽藏魚類」ヲ「鹽藏魚類又ハ製成醬油」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

尋いで翌四十四年三月に至り輸出鹽又は輸出鹽藏魚類にして海難に因り滅失したる場合は、罹災の事實を證明すべき書類を以て陸揚證明書類に代へて交付金の下付を請求することを得ることとなし、本規則に左の如き規定を追加したり。

勅令第二十號(明治四十四年三月十五日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

鹽ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ前項第二號ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十六條ノ二第二號中「賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ」ノ下ニ「許可ヲ受ケスシテ」ヲ加フ

第十八條ノ二　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ニ關スル規定ハ其ノ鹽ノ轉得者ニ之ヲ準用ス

第二十條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改ム

鹽又ハ鹽藏魚類ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ前項第二號ノ書類ニ代フルコトヲ得

附　則

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年七月一日より內地鹽の賠償價格の引上を爲すに當り、鹽價の騰貴を阻止する爲め專賣收入率の低減を行ひしを以て、之に伴ひ鹽の交付金額も亦減少するの要を生じ、左の如く之を改定したり。

勅令第百五十一號（明治四十五年七月二十日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十九條中「一圓三十五錢」ヲ「一圓三十錢」ニ、「六十六錢」ヲ「六十三錢」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前第十九條各號ノ目的ニ供シ若ハ其ノ目的ニ供スル爲變性ヲ受ケタル鹽又ハ漁獲物鹽藏用ニ供スル爲檢定ヲ受ケタル鹽ノ交付金額ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出シタル鹽ノ交付金額ニ付亦同シ

鹽專賣法第十八條又は本規則第一條ノ二に依り賣渡を受けたる一般定價鹽を輸移出し、交付金の下付を請求したる者に對しては、內地鹽たると否とを區別せず總て同一額を下付せしが、從來露領沿海州・樺太方面に輸移出して魚類鹽藏に供する鹽は殆ど內地鹽を以て供給せられしを以て、事實上區別を設くるの必要を存せざりしなり。然るに其の後通過鹽が漸次其の價格を低減し、內地鹽に拮抗するの形勢を呈するに及びて、之が對抗策を必要とするに至りしが、內地鹽に對する交付金額は既に其の極限に達せるを以て、寧ろ臺關鹽の價格を低廉にすることに依り、外國鹽に對抗するを以て得策なりと認め、右兩鹽の賣渡定價を引下ぐると共に、本規則に改正を加へ、輸移出の臺關鹽に對する交付金額を增加することと爲し、其の他內地鹽以外の一般定價鹽を以て鹽藏したる輸出魚類、又は右鹽を使用したるアルカリ工業用鹽に對しても、輸出奬勵又は工業保護の爲め相當交付金を增額することと爲し、大正元年十一月左の如く本規則に改正を施したり。

勅令第四十二號（大正元年十一月六日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第三條、第四條及第十一條中「鹽ノ數量」ヲ「鹽ノ種類、數量」ニ改ム

第六條第四號中沃度副產鹽ノ項ヲ削ル

第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出スル爲賣渡シタル內地鹽ヲ第一條ノ用途ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル內地鹽以外ノ鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十七條中「及第二十一條ノ二」ヲ「第二十一條ノ二及第二十七條」ニ改ム

第十九條第一號中「金一圓三十錢」ノ下ニ「但シ內地鹽以外ノ鹽ニシテ第一條第一號ノ用途ニ使用シタルモノニ付テハ金二十七錢ヲ加フ」ヲ、同條第二號中「金一圓三十錢」ノ下ニ「但シ內地鹽以外ノ鹽ニ付テハ金二十六錢ヲ加フ」ヲ加ヘ第三號ヲ左ノ如ク改ム

三　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鍊、鯖又ハ鰹ヲ輸出シタルトキ

使用鹽　百斤ニ付金一圓三十錢但シ內地鹽以外ノ鹽ニ付テハ金二十六錢ヲ加フ

鹽藏魚類ニ對スル使用鹽ノ數量ハ鹽藏魚類ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ計算ス此ノ場合ニ於テハ第十三條第三項但書及第二十六條第三項但書ノ規定ヲ準用ス

內地鹽ヲ使用シタルモノ

鹽漬鍊	四十六
鹽漬鯖	三十六
鹽漬鰹	四十
鹽水漬鍊及鯖	五十二

內地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ

鹽漬鍊	四十三
鹽漬鯖	三十四
鹽漬鰹	三十八
鹽水漬鍊及鯖	四十九

第二十條第一項但書中「交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ」ノ下ニ「特ニ鹽專賣官署ノ承認ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外」ヲ、同條第三項ノ次ニ左ノ三項ヲ加フ

第一項ノ場合ニ於テ鹽カ內地鹽以外ノモノニシテ使用鹽檢定書ヲ添附セサルモノナルトキハ交付金下付申請書ニ鹽ノ種類ヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第三項ノ場合ニ於テ檢定ヲ受クヘキ鹽カ內地鹽以外ノモノナルトキハ其ノ檢定申請書ニ鹽ノ種類ヲモ記載スヘシ

第三項ニ依リ使用鹽ノ檢定ヲ受ケタル者ト其ノ鹽藏魚類ノ輸出者ト異ナルトキハ第一項ノ交付金下付申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ鹽、鹽藏魚類又ハ魚類ノ讓受ニ關スル證明書類ヲモ添附スヘシ

第二十一條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ內地鹽以外ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル魚類ヲ輸出シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ニ在リテハ輸出申告書ニ其ノ鹽ノ種類ヲモ記載スヘシ

第二十二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第一條第一號ノ用途ニ使用シタル內地鹽以外ノ鹽ニ對シ交付金ノ下付ヲ請求セムトス

ル者ハ內地鹽以外ノ鹽ナルコトヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第二十六條ノ四　第二十四條又ハ第二十五條ニ依リ檢定ヲ受ケタル鹽ヲ第一條第六號ノ用途ニ使用スル者ニ讓渡セムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ讓受人ノ連署ヲ以テ鹽ノ檢定地所轄專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

前項ニ依リ鹽ヲ讓受ケタル者ハ其ノ鹽ニ付檢定ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十七條第一項第四號中「前條」ヲ「第二十六條ノ三」ニ改メ第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五　第二十六條ノ四ニ依ル申告ヲ爲サス又ハ其ノ申告ヲ詐リタルトキ

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十條第四項、第六項若ハ第二十二條ノ場合ニ於テ虛僞ノ申告ヲ爲シ交付金ノ下付ヲ受ケタルトキハ其ノ交付金額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徵ス

附　則

本令ハ大正元年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

大正二年十月鹽價低減の方針を以て專賣收益率十八錢を引下げたる結果、鹽の交付金額も亦之に伴うて減額するの要あり、又輸出貿易奬勵の爲め一般定價鹽を以て鹽藏したる輸出乾鰯、乾鮑に對しても交付金下付の途を開き、更に又一般定價を以て買受けたる臺關鹽を石鹼製造、獸皮保存、鑛業及魚類鹽藏用に使用したるものに對しては、輸移出鹽及アルカリ工業用鹽に對すると同樣、政府の損失を來さざる程度に於て之が交付金を增加するの妥當なるを認め、大正二年十月左の如く改正を施したり。

勅令第二百九十四號（大正二年十月十四日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出スル爲賣渡シタル臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ、第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル臺灣鹽又ハ關東州鹽ヲ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十一條中「鹽ノ種類」ヲ「鹽ノ種類、等級」ニ改ム

第十三條中「漁獲物ノ種類、數量」ヲ「使用鹽ノ種類、等級、漁獲物ノ種類、數量」ニ改メ第三項ヲ左ノ如ク改ム

鹽專賣官署ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス但シ其ノ鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ賣渡數量ニ依ル

內地鹽ヲ使用シタルモノ	四十五
鹽鮭	五十五
鹽鱒	二十五
鹽鰯	

有骨開鱈	三十二
無骨開鱈	四十
遠洋ニ於テ漁獲鹽藏シタル無骨開鱈	八十
鹽鯨赤肉	二十七
鹽鯨尾羽	四十
鹽漬腊肭獸	百
內地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ	
鹽鮭	四十三
鹽鱒	五十二
鹽鰯	二十四
有骨開鱈	三十
無骨開鱈	三十八
遠洋ニ於テ漁獲鹽藏シタル無骨開鱈	七十六
鹽鯨赤肉	二十六
鹽鯨尾羽	三十八
鹽漬腊肭獸	九十五

第十六條第三項ヲ削ル

第十六條ノ二中第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ以下順次繰下ク

二　第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ第一條第二號乃至第六號ノ用途ニ供シタルトキ

第十九條　鹽專賣法第十八條又ハ本令第一條ノ二ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ左ノ目的ニ供シタル者ハ左ノ割合ヲ以テ交付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

一　外國ニ輸出シタルトキ

輸出鹽　百斤ニ付金一圓十三錢但シ臺灣上等鹽ニ付テハ金二十六錢、臺灣竝等鹽ニ付テハ金二十四錢、關東州鹽ニ付テハ金三十三錢ヲ加フ

二　第一條第一號、第二號、第四號乃至第六號ノ用途ニ使用シタルトキ

使用鹽　百斤ニ付金一圓十三錢但シ第一條第一號ノ用途ニ使用シタル臺灣上等鹽ニ付テハ金二十七錢、關東州鹽ニ付テハ金三十三錢、第一條第二號、第四號乃至第六號ノ用途ニ使用シタル臺灣上等鹽ニ付テハ金二十三錢、關東州鹽ニ付テハ金三十二錢ヲ加フ

三　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鰊、鯖、鰡、乾鰕又ハ乾鮑ヲ輸出シタルトキ

使用鹽　百斤ニ付金一圓十三錢但シ臺灣上等鹽ニ付テハ金二十五錢、臺灣竝等鹽ニ付テハ金二十三錢、關東州上等鹽ニ付テハ金三十錢、關東州竝等鹽ニ付テハ金三十二錢ヲ加フ

鹽藏魚介類ニ對スル使用鹽ノ數量ハ鹽藏魚介類ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ計算ス此

ノ場合ニ於テハ第十三條第三項但書及第二十六條第三項但書ノ規定ヲ準用ス

內地鹽ヲ使用シタルモノ

鹽漬鍊	四十六
鹽漬鯖	三十六
鹽漬鰛	四十
鹽水漬鍊及鯖	五十二
乾鰕	二十六
明鮑	四十三
灰鮑	二十三

內地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ

鹽漬鍊	四十三
鹽漬鯖	三十四
鹽漬鰛	三十八
鹽水漬鍊及鯖	四十九
乾鰕	二十五
明鮑	四十一
灰鮑	二十二

四　其ノ鹽ヲ以テ製成シタル醬油ヲ輸出シタルトキ

第二十條中「內地鹽以外ノモノ」ヲ「臺灣鹽又ハ關東州鹽」ニ、「鹽ノ種類」ヲ「鹽ノ種類、等級」ニ改ム

第二十一條中「少クトモ鹽」ヲ「少クトモ鹽ノ種類、等級、數量」ニ、「鹽ノ種類」ヲ「鹽ノ種類、等級」ニ、「魚類」ヲ「魚介類」ニ改ム

第二十一條ノ二中「魚類」ヲ「魚介類」ニ改ム

第二十二條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ臺灣鹽又ハ關東州鹽ニ對シ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ鹽ノ種類、等級ヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第二十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ檢定ヲ受クヘキ鹽カ臺灣鹽又ハ關東州鹽ナルトキハ鹽檢定申請書ニ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

第二十六條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ使用ヲ證明セラルヘキ鹽カ臺灣鹽又ハ關東州鹽ナルトキハ鹽使用證明申請書ニ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

第二十七條中「魚類」ヲ「魚介類」ニ、第一項第二號中「鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿」ヲ「鹽ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿、鹽藏魚介類ニ付テハ一回ノ輸出量鍊、鯖、鰛ハ千斤未滿、乾鰕ハ五百斤未滿、乾鮑ハ百斤未滿」ニ改メ同項第一號ニ左ノ一項ヲ加フ

外國ニ輸出シ又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ鹽專賣官署カ正當ノ事由アリト認メタルトキハ前項ノ期間ヲ一箇年迄延長スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正二年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

尋いで大正四年に至り一月及十二月の兩回に亙りて交付金額を左の如く改定したり。蓋し鹽賠償金額の引下、從て賣渡價格の引下に伴ふものなり。

勅令第四號（大正四年一月二十七日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十九條中「一圓十三錢」ヲ「一圓十六錢」ニ「二十三錢」ヲ「二十六錢」ヲ「二十四錢」ニ「二十五錢」ヲ「二十二錢」ニ「二十三錢」ヲ「二十錢」ニ「五十五錢」ヲ「五十六錢」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

勅令第二百三十七號（大正四年十二月二十九日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十九條中「一圓十六錢」ヲ「一圓十七錢」ニ「二十三錢」ヲ「二十二錢」ヲ「十五錢」ニ「二十」ヲ「十三錢」ヲ「十六錢」ニ「五十七錢」ニ改ム

附　則

本令ハ大正五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則は、右に見たるが如く極めて細微の事項に至るまで網羅せるのみならず、其の交付金額は特別定價と一般定價との差額を標準とし、鹽百斤當交付金額を具體的に定めたるを以て、鹽賣渡價格の改定毎に勅令を發して本規則を改正するの要あり、煩雜少からざるものありしを以て、遂に大正五年八月に至り勅令第百九十七號を以て本規則を廢止すると共に、新に特別用鹽規則を制定し、同時に別に省令を以て特別用鹽規則施行細則を制定して其の詳悉を圖りたり。而して該施行細則は從來の如く之を具體的に列擧することなく、別に告示を以て之を定むることと爲せり。特別用鹽規則及同施行細則の全文を掲ぐれば左の如し。

特別用鹽規則（大正五年八月八日勅令第百九十七號）

第一條　鹽專賣法第十九條第一項第二號ノ規定ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ左ノ用途ニ使用スルモノニ限ル

一　化學的藥品製造用

二　石鹸製造用
三　獸皮保存用
四　鑛業、製鋼用
五　窯業用
六　肥料、選種、家畜用
七　鮭、鱒、鱈、鯨、膃肭獸鹽藏用

前項第一號ニ掲クル化學的藥品ノ種類ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二條　鹽專賣法第十九條第一項第三號ノ規定ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スハ左ノ場合ニ限ル

一　鹽賣捌人ニ非サル者一回ニ付一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ
二　鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以内ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササル場合ニ鹽小賣人カ鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ

第三條　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ニ依ル鹽ノ賣渡ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ輸出者又ハ第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル漁獲者ニ限ル

生鮮ナル鮭、鱒、鱈、鯨又ハ膃肭獸ヲ鹽藏スル者ハ之ヲ漁獲者ト看做ス

第四條　外國ニ輸出シ又ハ第一條第一項第七號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ專賣官署官署ハ賣渡請求數量ニ依リ賣渡請求者ヲシテ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ

依ル賣渡定價トノ差額ノ全部又ハ一部ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第五條　第一條第一項第一號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ニ付テハ專賣官署ハ其ノ用途ニ從ヒ買受人ノ費用ヲ以テ鹽ノ變性ヲ施スヘシ但シ第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ニ付擔保ヲ提供セシメタルトキハ變性ヲ施ササルコトヲ得

第六條　第二條又ハ鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依リ賣渡シタル鹽ノ用途ニ使用シタルトキ但シ專賣官署カ使用者ノ申請ニ因リ前條ノ規定ニ準シ鹽ノ變性ヲ施シタルトキハ其ノ用途ニ使用シタルモノト看做ス

一　外國ニ輸出シタルトキ
二　第一條第一項第一號乃至第五號ノ用途ニ使用シタルトキ
三　第一條第一項第七號ノ用途ニ使用シタルトキ
四　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鮭、鱒、鱈、乾鰕又ハ乾鮑ヲ輸出シタルトキ
五　其ノ鹽ヲ以テ製成シタル醬油ヲ輸出シタルトキ

前項第一號又ハ第二號ノ場合ニ於ケル交付金額ハ鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル鹽ノ賣渡定價ヨリ賠償價格又ハ購買價格ヲ控除シタル金額ノ範圍内ニ於テ大藏大臣之ヲ定ム但シ内地鹽ニ付テハ大藏大臣ノ適當ト認ムル標準鹽ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第一項第三號乃至第五號ノ場合ニ於ケル交付金額ハ使用鹽ノ數量ニ依リ前項ノ規定ニ準シ大藏大臣之ヲ定ム

前項使用鹽ノ數量ノ計算標準ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ專賣官署ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ追徵金ヲ徵收ス

一　外國ニ輸出スル爲若ハ第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽又ハ前條第一項第二號但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニ付其ノ目的ヲ變更シタルトキ

二　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ提出スヘキ書類ヲ期間內ニ提出セサルトキ

三　外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一項第一號若ハ第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ノ輸出數量又ハ使用數量カ賣渡數量ニ對シ正當ノ事由ナクシテ不足シタルトキ

四　前條第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸入シタルトキ

五　虛僞ノ書類又ハ陳述ニ因リ交付金ノ下付ヲ受ケタルトキ

六　命令ノ定ムル所ニ依リ鹽ノ賣渡請求又ハ輸出申告ノ爲提出スヘキ書類ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、使用方法、魚獲物ノ種類、出漁船、鹽積載船、寄港地又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更シタルトキ

前項ノ追徵金額ハ第一條第一項又ハ鹽專賣法第十九條第一項第一號ノ規定ニ依リ賣渡シタル鹽ニ付テハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル賣渡定價トノ差額及其ノ五分ノ二、前條第一項ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽ニ付テハ交付金額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ノ範圍內ニ於テ大藏大臣之ヲ定ム

第八條　前條ノ追徵金ニ關シテハ國稅徵收法及國稅徵收法施行規則ヲ準用ス

第九條　鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條　第一條第一項第一號若ハ第七號又ハ第六條第一項第三號若ハ第四號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ專賣官署ノ檢查ヲ受クヘシ但シ專賣官署ノ檢查ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ稅務署、警察官署又ハ專賣局長官ノ適當ト認ムル官公衙ノ檢查ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

附　則

本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由又ハ追徵金ヲ徵收スヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

特別用鹽規則施行細則（大正五年八月八日大藏省令第十九號）

第一條　特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ規定ニ於テ化學的藥品ト稱スルハ鹽酸、炭酸曹達、重炭酸曹達、苛性曹達、硫酸曹達、次亞クロールル酸鹽、クロールアムモニウム、クロール亞鉛、昇汞ヲ謂フ

第二條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ種類、等級、數量、目的ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ專賣官署ニ提出スヘシ但シ外國ニ輸出スルモノニ在リテハ輸出港及輸出先、特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スルモノニ在リテハ使用場所及使用方法、同規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途ニ使用スルモノニ在リテハ使用場所、同規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スルモノニ在リテハ使用場所、漁獲物ノ種類、出漁船名、鹽積載船名、寄港地名及鹽ノ運搬方法ヲモ記載スヘシ

第三條　特別用鹽規則第四條ノ規定ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ國債證券、地方債證券又ハ專賣局長官ノ指定シタル株式會社ノ株券若ハ債券トス

外國ニ輸出スル鹽ニ付テハ特ニ專賣局長官ノ確實ト認メタル定期預金證書ヲ以テ前項ノ擔保物ト爲スコトヲ得

擔保提供者ハ前二項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ專賣官署ニ提供スヘシ

第四條　前條ニ依リ提供シタル擔保ハ其ノ鹽ヲ外國ニ輸出シ若ハ化學的藥品製造用、漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ之ヲ解除ス

第五條　特別用鹽規則第五條ノ規定ニ依ル變性ハ鹽ノ重量百ニ對シ左ノ割合以上左記物品ノ一ヲ混和シテ之ヲ行フ

一　化學的藥品製造用

發煙鹽酸	二、五
純硫酸	二
酸性硫酸曹達	二
硫酸曹達	三ニ純硫酸〇、二五ヲ混シタルモノ
硫酸曹達	六
苛性曹達	二、五
曹達灰	三
石灰	三
晒粉	一
滿俺鑛	一、五
酸化鐵	〇、一
鐵粉	〇、五
黑鉛	一
骸炭粉末	二
石炭粉末	二
木炭粉末	一
コールタール	〇、〇一
石油	〇、五

色素廢液　一
二　石鹼製造用
曹達灰　五
石鹼粉末　一、五
石油　〇、五
的列竝油　〇、三
椰子油　五
三　獸皮保存用
石鹼粉末　一、五
石油　〇、五
四　鑛業、製鋼用
硫酸鐵　四
石灰　五
滿俺鑛　一、五
硫化鐵　五
金、銀、銅鑛ノ粉末又ハ其ノ汰物　五
石油　〇、五
木炭粉末　一、五
石炭粉末　二、五
五　窯業用
曹達灰　五
石灰　五
石油　〇、五
六　肥料、選種、家畜用
硫酸曹達　六ニ灰四ヲ混シタルモノ
石灰　五ニ灰四ヲ混シタルモノ
魚油　一ニ油煙〇、〇五ヲ混シタルモノ
コールタール　〇、〇一
當藥粉　〇、二五ニ油煙〇、〇五ヲ混シタルモノ
辨柄　〇、一ニ當藥粉〇、二五ヲ混シタルモノ

第六條　外國ニ輸出スル爲若ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽又ハ同規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施ササル鹽ヲ運搬シ又ハ貯藏スルトキハ其ノ他ノ鹽ト之ヲ區別スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該官吏ハ其ノ鹽ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ護送スルコトアルヘシ

第七條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル目的ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ但シ外國ニ輸出スル者又ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル者ニ讓渡セムトスルトキハ讓受人ノ連署ヲ要ス

第五條ノ規定ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニシテ特別用鹽規則第一條第二號乃至第六號ノ用途中相互ノ變更ニ付テハ前項ノ出願ヲ要セス賣渡專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

外國ニ輸出スル爲若ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ同規則第一條第一項第一號乃至第六號ノ用途ニ使用シ又ハ使用スル者ニ讓渡シ又ハ特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施ササル鹽ヲ同規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途ニ使用シ又ハ使用スル者ニ讓渡スルノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ第五條ノ規定ヲ準用ス

第八條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、漁獲物ノ種類、出漁船、鹽積載船又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更セムトスルトキハ賣渡專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル使用方法ヲ變更セムトスルトキハ賣渡專賣官署ニ其ノ使用方法ヲ變更セムトスル者ニ讓渡セムトスルトキ亦同シ此ノ場合ニ於テハ讓受人ノ連署ヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ專賣官署ノ指揮ニ依リ第五條ノ規定ニ準シ其ノ鹽ノ變性ヲ受クヘシ

第九條　外國ニ輸出スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出セムトスルトキハ其ノ輸出申告書ニ關稅法施行規則第三十四條ニ記載セル事項ノ外少クトモ鹽ノ種類、等級及內國寄港地名ヲ記載スヘシ

第十條　外國ニ輸出スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以內ニ左ノ書類ヲ賣渡專賣官署ニ提出スヘシ

一　輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二　外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

專賣官署カ正當ノ事由アリト認メタルトキハ前項ノ期間ヲ一箇年迄延長スルコトヲ得

鹽ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ第一項第二號ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十一條　特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者ハ鹽使用ノ際鹽使用濟證明申請書ヲ使用地所轄專賣官署ニ提出シ當該官吏ノ立會檢查ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ

第十二條　特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ使用鹽ノ種類、等級、漁獲物ノ種類、數量、漁獲及鹽藏ノ場所及時期、漁獲物ノ仕向先ヲ記載シタル鹽使用濟證明申請書ヲ鹽藏地所轄專賣官署ニ提出シ鹽藏物ノ檢查ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ鹽專賣法施行地外ニ於テ鹽藏シタルトキハ其ノ

申請書ヲ賣渡專賣官署又ハ豫メ其ノ官署ノ指定シタル專賣官署ニ提出スヘシ

前項ニ依ル鹽藏物ノ檢查ハ專賣官署所在地又ハ專賣官署ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

專賣官署ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス但シ其ノ計算シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ賣渡數量ニ依ル

內地鹽ヲ使用シタルモノ	
鹽鮭	四十五
鹽鱒	五十五
鹽鱈	二十五
有骨開鱈	三十二
無骨開鱈	四十
遠洋ニ於テ漁獲鹽藏シタル無骨開鱈	八十
鹽鯨赤肉	二十七
鹽鯨尾羽	四十
鹽漬腦肭獸	百
內地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ	
鹽鮭	四十三
鹽鱒	五十二
鹽鱈	二十四
有骨開鱈	三十
無骨開鱈	三十八
遠洋ニ於テ漁獲鹽藏シタル無骨開鱈	七十六
鹽鯨赤肉	二十六
鹽鯨尾羽	三十八
鹽漬腦肭獸	九十五

內地鹽ト內地鹽以外ノ鹽トヲ混用シタル鹽藏物ニ付テハ內地鹽ヲ使用シタルモノトシテ計算ス

第十三條　特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者又ハ同規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ專賣官署ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以內ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付一箇年毎ニ專賣官署ノ承認ヲ申請シ未使用鹽證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡專賣官署ニ提出スヘシ但シ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スルモノニ限リ其ノ未使用鹽カ鹽專賣法施行地內ニ在ルトキハ其ノ地所轄專賣官署、所轄專賣官署ノ檢查ヲ受ケ難キ場合ニ於テハ所轄警察官署、鹽專賣法施行地外ニ在ルトキハ專賣局長官ノ適當ト認

ムル官公衙ノ檢査ヲ經テ未使用鹽證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ提出シテ專賣官署ノ證明書ニ代フルコトヲ得

第十四條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及特別用鹽規則第一條第一項ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡スルコトヲ許可スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル賣渡定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十五條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル內地鹽以外ノ鹽ヲ同規則第一條第一項第二號乃至第七號ノ用途ニ供スルコトヲ許可スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ各特別定價ノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第十六條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル賣渡定價トノ差額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徵ス

一　許可ヲ受ケスシテ其ノ鹽ヲ外國輸出及特別用鹽規則第一條第一項ノ用途以外ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡シタルトキ

二　第十條又ハ第十三條ノ規定ニ依リ提出スヘキ書類ヲ其ノ期間內ニ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者若ハ同規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ノ免除ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ專賣官署ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徵ス

第十六條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト鹽專賣法第十八條第一項ノ規定ニ依ル賣渡定價トノ差額ニ相當スル金額ヲ追徵ス

一　外國ニ輸出スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケタル用途ニ供シタルトキ

二　特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第二號乃至第七號ノ用途ニ供シタルトキ

三　特別用鹽規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第一號第七號ノ用途ニ供シタルトキ

四　特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第一號乃至第六號ノ用途ニ供シタルトキ

五　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項ノ用途ニ供スル者ニ讓渡シタルトキ

六　特別用鹽規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケ同規則第五條但書ノ規定ニ依リ變性ヲ施ササル鹽ヲ許可ヲ受ケスシテ外國輸出又ハ同規則第一條第一項第二號乃至第七號ノ用途ニ供スル者ニ讓渡シタルトキ

七　第八條ノ規定ニ違反シタルトキ

八　第二條又ハ第九條ノ規定ニ依ル鹽ノ賣渡請求書又ハ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　特別用鹽規則第七條ノ規定ニ依ル追徵金ニ關シテハ國稅徵收法施行細則ヲ準用ス」國稅徵收法施行細則ニ依リ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ專賣支局長又ハ專賣支局出張所長トス

第十八條　外國ニ輸出スル爲又ハ特別用鹽規則第一條第一項ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ニ關スル規定ハ其ノ鹽ノ轉得者ニ之ヲ準用ス

第十九條　特別用鹽規則第六條第一項第四號ノ規定ニ依ル鹽藏魚介類ニ對スル使用鹽ノ數量ハ鹽藏魚介類ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ計算ス此ノ場合ニ於テハ第十二條第三項但書、同條第四項及第二十八條第三項但書ノ規定ヲ準用ス

內地鹽ヲ使用シタルモノ	四十六
鹽漬鰊	三十六
鹽漬鯖	四十
鹽漬鰹	五十二
鹽水漬鰊及鯖	二十六
乾鰕	四十三
明鮑	二十三
灰鮑	四十三
內地鹽以外ノ鹽ヲ使用シタルモノ	
鹽漬鰊	三十四
鹽漬鯖	三十八
鹽漬鰹	四十九
鹽水漬鰊及鯖	二十五
乾鰕	四十一
明鮑	二十二
灰鮑	

特別用鹽規則第六條第一項第五號ノ規定ニ依ル製成醬油ノ使用鹽數量ハ製成醬油一石ニ對シ內地鹽四十八斤、八五ノ割合ヲ以テ計算ス

第二十條　特別用鹽規則第六條第一項第一號、第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出申告書ニ關稅法施行規則第三十四條ニ記載セル事項ノ外少クトモ鹽ノ種類、等級、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ノ種類及內國寄港地名ヲ記載スヘシ

第二十一條　特別用鹽規則第六條第一項第一號又ハ第四號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ輸出港所轄專賣官署ニ提出スヘシ但シ同規則第六條第一項第四號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ特ニ專賣官署ノ承認ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外使用鹽檢定書ヲモ添附スヘシ

一　輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二　外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

鹽又ハ鹽藏魚介類ヲ輸出シタル後海難ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類ヲ以テ前項第二號ノ書類ニ代フルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依ル使用鹽檢定書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ第二十六條又ハ第二十七條ノ規定ニ準シ鹽ノ檢定ヲ受クヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ使用鹽カ內地鹽以外ノモノニシテ使用鹽檢定書ヲ添附セサルモノナルトキハ交付金下付申請書ニ其ノ鹽ノ種類、等級ヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第三項ニ依リ使用鹽ノ檢定ヲ受ケタル者ト其ノ鹽藏魚介類ノ輸出者ト異ナルトキハ第一項ノ交付金下付申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ鹽、鹽藏魚介類又ハ魚介類ノ讓受ニ關スル證明書類ヲモ添附スヘシ

特別用鹽規則第六條第一項第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ヲ輸出港所轄專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ專賣官署ハ輸出港所轄稅關ニ於テ造石稅下戻ノ決定ヲ爲シタル後ニ非サレハ交付金ヲ下付セス

第二十二條　特別用鹽規則第六條第一項第四號又ハ第五號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸入シタルトキハ輸入港所轄專賣官署ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徵ス

前項ニ依リ追徵金ヲ納入シタル後ニ非サレハ輸入者ハ其ノ鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ稅關ヨリ引取ルコトヲ得ス

第二十三條　特別用鹽規則第六條第一項第二號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ交付金下付申請書ニ鹽使用證明書又ハ鹽變性證明書ヲ添附シ之ヲ使用地又ハ變性地所轄專賣官署ニ提出スヘシ但シ其ノ鹽カ內地鹽以外ノモノナルトキハ鹽ノ種類、等級ヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第二十四條　前條ノ鹽使用證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用ノ際、申請書ヲ使用地所轄專賣官署ニ提出スヘシ

前條ノ鹽變性證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用前、申請書ヲ鹽ノ所在地所轄專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ專賣官署ハ第五條ノ規定ニ準シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

第二十五條　前條第三項ノ規定ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ヲ特別用鹽規則第一條第一項第一號乃至第六號以外ノ目的ニ、同規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用スヘキ鹽ヲ同規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途ニ供シ又ハ供スル者ニ讓渡セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具

シ其ノ地所轄專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

前條第三項ノ規定ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニシテ特別用鹽規則第一條第一項第二號乃至第六號ノ用途中相互ノ變更ニ付テハ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ鹽ヲ外國輸出及特別用鹽規則第一條第一項ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ第十四條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケスシテ其ノ目的ヲ變更シタル者ニ付テハ第十五條及第十六條ノ規定ヲ準用ス

第二十六條　鹽專賣法施行地內ニ於テ漁獲ヲ爲ス者特別用鹽規則第六條第一項第三號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前、使用鹽ノ數量、漁獲物ノ種類、漁獲及鹽藏ノ場所、出漁船名、鹽積載船名、寄港地名及鹽ノ運搬方法ヲ記載シタル鹽檢定申請書ヲ鹽藏地又ハ出港地所轄專賣官署ニ提出シ使用鹽ノ檢定ヲ受クヘシ但シ檢定ヲ受クヘキ鹽カ內地鹽以外ノモノナルトキハ鹽檢定申請書ニ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

前項ニ依ル使用鹽ノ檢定ハ鹽檢定申請書ヲ受理シタル地ニ於テ之ヲ行フ但シ專賣官署所在地外ニ於テ檢定地ヲ指定シタルトキハ其ノ地所轄稅務署又ハ警察官署ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

第二十七條　鹽專賣法施行地外ニ於テ漁獲ヲ爲ス者特別用鹽規則第六條第一項第三號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前、前條ノ規定ニ準シタル鹽檢定申請書ヲ出港地所轄專賣官署ニ提出シ使用鹽ノ檢定ヲ受クヘシ

前項ニ依ル使用鹽ノ檢定ハ鹽檢定申請書ヲ受理シタル專賣官署所在地又ハ其ノ官署ノ指定シタル專賣官署所在地ニ於テ之ヲ行フ

第二十八條　前二條ノ規定ニ依リ鹽ノ檢定ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ漁獲物ノ種類、數量、漁獲及鹽藏ノ場所及時期、漁獲物ノ仕向先ヲ記載シタル鹽使用證明申請書ヲ鹽ノ檢定地所轄專賣官署又ハ豫メ其ノ官署ノ指定シタル專賣官署ニ提出シ鹽藏物及殘存鹽ノ檢查ヲ經テ鹽藏用ニ供シタル鹽ノ使用證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ其ノ使用ヲ證明セラルヘキ鹽カ內地鹽以外ノモノナルトキハ鹽使用證明申請書ニ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

前項ニ依ル鹽藏物及殘存鹽ノ檢查ハ鹽使用證明申請書ヲ受理シタル專賣官署所在地又ハ其ノ官署ノ指定シタル專賣官署ニ於テ之ヲ行フ但シ鹽藏物ト共ニ殘存鹽ノ檢查ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ專賣官署ノ承認ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ第十三條第二項但書ノ規定ヲ準用シ殘存鹽ノ檢查ニ代フルコトヲ得

專賣官署ノ證明スル鹽使用數量ハ第十二條第三項及第四項ノ規定ニ準シ之ヲ計算ス但シ其ノ計算シタル鹽ノ數量カ檢定ヲ受ケタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ其ノ鹽ノ數量ニ依ル

第二十九條　特別用鹽規則第六條第一項第三號ノ規定ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル漁獲者ハ交付金下付申請書ニ鹽使用證明書ヲ添附シ之ヲ鹽藏物檢查地所轄專賣官署ニ提出スヘシ

第三十條　第二十六條又ハ第二十七條ノ規定ニ依ル鹽檢定申請書ニ記載シタル漁獲物ノ種類、

漁獲及鹽藏ノ場所、出漁船、鹽積載船又ハ鹽ノ運搬方法ヲ變更セムトスルトキハ鹽ノ檢定地所轄專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第三十一條　第二十六條又ハ第二十七條ノ規定ニ依リ檢定ヲ受ケタル鹽ヲ特別用鹽規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用スル者ニ讓渡セムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ讓受人ノ連署ヲ以テ鹽ノ檢定地所轄專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

前項ニ依リ鹽ヲ讓受ケタル者ハ其ノ鹽ニ付檢定ヲ受ケタルモノト看做ス

第三十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

一　外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚介類ニ付テハ輸出後六箇月、製成醬油ニ付テハ輸出後一箇年、特別用鹽規則第六條第一項第二號若ハ第三號ノ規定ニ依リ同規則第一條第一項第一號乃至第五號若ハ第七號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ使用後六箇月ヲ經過シタルトキ

外國ニ輸出シ又ハ特別用鹽規則第六條第一項第三號ノ規定ニ依リ同規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ專賣官署カ正當ノ事由アリト認メタルトキハ前項ノ期間ヲ一箇年迄延長スルコトヲ得

二　外國ニ輸出シタル鹽ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿、鹽藏魚介類ニ付テハ一回ノ輸出量錬、鯖、鰯ハ千斤未滿、乾鰒ハ五百斤未滿、特別用鹽規則第六條第一項第二號ノ規定ニ依リ同規則第一條第一項第一號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ一回ノ使用量鹽酸、炭酸曹達、重炭酸曹達、苛性曹達、硫酸曹達、次亞クロール酸鹽ハ千斤未滿、クロールアムモニウム、クロール亞鉛、昇汞ハ其ノ各製品ヲ通シテ五百斤未滿、同規則第六條第一項第二號ノ規定ニ依リ同規則第一條第一項第二號乃至第五號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ一回ノ使用量五百斤未滿、同規則第六條第一項第三號ノ規定ニ依リ同規則第一條第一項第七號ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ第二十八條ノ規定ニ依リ專賣官署ノ證明スル一回ノ鹽使用量五百斤未滿ナルトキ

三　第二十條又ハ第二十六條、第二十七條ノ規定ニ依ル鹽ノ輸出申告書又ハ檢定申請書ニ記載シタル寄港地以外ノ內國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四　第三十條ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第三十一條ノ規定ニ依ル申告ヲ爲サス又ハ其ノ申告ヲ詐リタルトキ

外國ニ輸出シタル鹽、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ノ數量カ輸出免狀ニ記載シタル鹽、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ニ對スル陸揚證明書ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ其ノ不足額ニ對シ交付金ヲ下付セス

虛僞ノ書類又ハ陳述ニ因リ交付金ノ下付ヲ受ケタルトキハ交付金額及其ノ五分ノ二ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第三十三條　特別用鹽規則第九條ノ規定ニ基キ鹽ヲ移出セムトスル者ハ移出申告書ヲ移出地所轄專賣官署ニ提出スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ專賣官署ハ其ノ鹽ノ數量ヲ檢定スヘシ

第三十四條　漁獲者ニ非サル者生鮮ナル鮭、鱒、鱈、鯨又ハ臘肭獸ヲ鹽藏セムトスルトキハ其ノ使用鹽ニ付本令中漁獲者ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十二條及第二十八條ノ鹽使用證明ニ關スル申請書ニハ漁獲物ノ買入先ヲモ記載スヘシ。

附　則

本令ハ特別用鹽規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

特別用鹽規則ハ其の制定後大正七年二月及十二月に於て左記の如く其の一部に改正を加へられしのみにて、引續き施行せられて大正末年に至れり。

（一）勅令第二十號（大正七年二月十八日）

特別用鹽規則中左ノ通改正ス

第一條第一項中「化學的藥品」ヲ「化學的藥品、人造色素」ニ改ム

第六條第一項第四號ヲ左ノ如ク改ム

四　其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鰊、鯖、鰯、乾鰑又ハ乾鮑ヲ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出シタルトキ

第七條中「鹽藏魚介類」ヲ「鹽藏魚介類ヲ輸入若ハ移入シ」ニ改ム

第九條中「外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ」ノ下ニ「鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル第六條第一項第四號ノ鹽藏魚介類ノ交付金下付ニ付テハ本令中外國輸出鹽藏魚介類ニ關スル規定ヲ」ヲ加フ

附　則

本令ハ大正七年二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

（二）勅令第四百二號（大正七年十二月二十八日）

特別用鹽規則中左ノ通改正ス

第六條中「賠償價格又ハ購買價格」ヲ「賠償價格、購買價格又ハ生產費」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

次に特別用鹽規則施行細則は、其の制定以後大正末年に至る迄に七回の改正を見たり。卽ち第一回及第二回の改正は前記特別用鹽規則の改正に伴ふものにして、第三回及第五回改正は化學的藥品の種類の追加、第四回改正は政府に提供すべき擔保物件を國債に限定する政策の採用に伴ふもの、第六回改正は專賣局官制改正に伴ふ官署名稱の變更、第七回改正は本施行細則第二十一條の海難滅失の場合に於ける證明規定を鹽又は鹽藏魚介類に限りたるを、改めて輸出製成醬油をも追加したるものなり。今每回の改正を列擧すれば左の如し。

（一）大藏省令第七號（大正七年二月十八日）

特別用鹽規則施行細則中左ノ通改正ス

第一條中「硫酸曹達」ノ下ニ「クロール」ヲ、「昇汞」ノ下ニ「ニトロベンツオール、ニトロトルオール、ニトロキシロール、ニトロフエノール、ニトラニリン、アニリン、スルフオン酸」ヲ加ヘ「次亞クロール酸曹達」ニ改ム

第五條第一號中「化學的藥品」ヲ「化學的藥品、人造色素」ニ改ム

第十九條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ假置場ニ於テ製成シタル醬油ニ付テハ其ノ製成醬油一石ニ對スル使用鹽數量ノ割合ニ依ル

第三十二條第一項第二號中「硫酸曹達、」ノ下ニ「クロール、」ヲ「昇汞」ノ下ニ「人造色素、ニトロベンツオール、ニトロトルオール、ニトロキシロール、ニトロフエノール、ニトラニリン、アニリン、スルフオン酸」ヲ加ヘ「次亞クロール酸鹽」ヲ「次亞クロール酸曹達、クロール酸曹達」ニ改ム

第三十三條中「鹽ヲ」ヲ「鹽又ハ鹽藏魚介類」ニ改ム

附　則

本令ハ大正七年二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

（二）大藏省令第四十五號（大正七年十二月二十八日）

特別用鹽規則施行細則中左ノ通改正ス

第十四條中「內地鹽」ヲ「內地收納鹽」ニ改ム

第二十一條第四項ヲ左ノ如ク改ム

第一項ノ場合ニ於テ其ノ使用鹽カ內地收納鹽以外ノモノニシテ使用鹽檢定書ヲ添附セサルモノナルトキハ交付金下付申請書ニ內地再製鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、等級ヲ證明スヘキ書類ヲモ添附スヘシ

第二十三條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ其ノ鹽カ內地收納鹽以外ノモノナルトキハ內地再製鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、其ノ他ノ鹽ニ在リテハ內地收納鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

第二十六條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ檢定ヲ受クヘキ鹽カ內地收納鹽以外ノモノナルトキハ鹽檢定申請書ニ內地再製鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、其ノ他ノ鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

第二十八條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ其ノ使用ヲ證明セラルヘキ鹽カ內地收納鹽以外ノモノナルトキハ鹽使用證明申請書ニ內地再製鹽ニ在リテハ鹽ノ種類、等級ヲモ記載スヘシ

附　則

本令ハ特別用鹽規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（三）大藏省令第二十六號（大正九年七月三日）

特別用鹽規則施行細則中左ノ通改正ス

第一條中「スルフオン酸」ノ下ニ「炭化珪素」ヲ加フ

第五條第一項第四號中「滿俺鑛一、五」ノ次ニ「酸化鐵〇、一」ヲ加フ

第三十二條第一項第二號中「スルフオン酸」ノ下ニ「炭化珪素」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（四）大藏省令第五十四號（大正九年十二月二十八日）

特別用鹽規則施行細則中左ノ通改正ス

第三條中「國債證券、地方債證券又ハ專賣局長官ノ指定シタル株式會社ノ株券若ハ債券」ヲ「國債」ニ

改メ第二項ヲ削リ第三項ヲ左ノ如ク改ム

無記名國債證券ヲ擔保トシテ提供スルトキハ之ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ專賣官署ニ提出スヘシ

登錄國債ヲ擔保トシテ提供スルトキハ擔保ノ登錄ヲ受ケ其ノ登錄濟通知書ヲ專賣官署ニ提出スヘシ乙種國債登錄簿ニ登錄シタルモノニ在リテハ尙記名國債證券ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スヘシ

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前提供シタル國債以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス尙其ノ效力ヲ有ス

前項ノ有價證券ノ價格ハ每年四月市場ニ於ケル前月中ノ平均價格ヨリ其ノ十分ノ二ヲ控除シ之ヲ改算ス但シ其ノ價格ニ著シキ變動アリト認メタルトキハ隨時之ヲ改算ス

（五）大藏省令第十三號（大正十年四月二十九日）

特別用鹽規則施行細則中左ノ通改正ス

第一條中「炭化珪素」ノ下ニ「ヒドロ亞硫酸鹽」ヲ加フ

第三十二條第一項第二號中「炭化珪素」ノ下ニ「ヒドロ亞硫酸鹽」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（六）大藏省令第四十九號（大正十一年七月二十日）（抄錄）

左ノ省令中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年大藏省令第十九號特別用鹽規則施行細則中「專賣支局長」ヲ「地方專賣局長」ニ「專賣支局出張所長」ヲ「地方專賣局出張所長」ニ改ム

（七）大藏省令第三號（昭和二年二月十七日）

大正五年大藏省令第十九號特別用鹽規則施行細則中左ノ通改正ス

第二十一條第一項中「特別用鹽規則第六條第一項第一號、第四號又ハ第五號」ニ、「同條第二項中「鹽又ハ鹽藏魚介類」ヲ「鹽、鹽藏魚介類又ハ製成醬油」ニ改メ同條第四項ニ左ノ但書ヲ加ヘ同條第六項及第七項ヲ削ル

但シ輸出製成醬油ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年三月三十一日以前外國ニ輸出シタル製成醬油ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

前述の如く大正五年八月特別用鹽規則制定せられし結果、交付金の額は別に大藏省告示を以て公示することと爲し、同年八月八日左の如く公布したり。

大藏省告示第九十九號（大正五年八月八日）

特別用鹽規則第六條第一項ノ規定ニ依ル鹽百斤當及醬油一石當交付金額左ノ通相定メ特別用鹽規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

	內地鹽	臺灣鹽 上等	臺灣鹽 竝等	關東州鹽 上等	關東州鹽 竝等	其ノ他ノ鹽
輸出及移出用	圓一・一七〇	圓一・三三〇	圓一・三四〇	圓一・四〇〇	圓一・四〇〇	圓一・一七〇
化學的藥品製造用	一・一七〇	一・三三〇	一・三四〇	一・四〇〇	一・四〇〇	一・一七〇
石鹼製造、獸皮保存、鑛業、製鋼、窯業用及鮭、鱒、鱈、鯨、腽肭獸鹽藏用	一・一七〇	一・三二〇	一・三〇〇	一・三八〇	一・三九〇	一・一七〇
輸出鰊、鯖、鰮及乾鰕、乾鮑鹽藏用	一・一七〇	一・三二〇	一・三〇〇	一・三八〇	一・三九〇	一・一七〇
輸出醬油	・五七〇					

右告示は爾後賣渡價格の變動に伴ひ屢〻改正せられしと雖も、今一々之を列擧するは頗る繁瑣に亙るを以て總て之を省略し、左に大正年間に於ける最終改正の分を掲ぐるに止むべし。但し此等中間の改正に就きては別款に掲載せる一般定價及特別定價一覽表に依りて略〻之を推察することを得べし。

大藏省告示第百八十六號（大正十四年十二月二十九日）

特別用鹽規則第六條第一項ノ規定ニ依ル鹽百斤當交付金額左ノ通相定メ大正十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本告示施行前交付金ノ下付ヲ受クヘキ事由ヲ生シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

大正五年八月大藏省告示第九十九號ハ本告示施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鹽百斤當交付金額表

種類	產地	輸出及移出用	化學的藥品、人造色素製造用	石鹼製造、獸皮保存、鑛業、製鋼、窯業用及鮭、鱒、鱈、鯨、腽肭獸鹽藏用	輸出及移出鰊、鯖、鰮、乾鰕、乾鮑鹽藏用	輸出醬油 假置場ニ於テ製成シタル醬油	輸出醬油 其ノ他ノ製成醬油
收納鹽	內地	七〇〇厘	七〇〇厘	七〇〇厘	七〇〇厘	七〇〇厘	厘
再製鹽	內地	一、一三〇	一、一三〇	一、一三〇	一、一三〇	一、一三〇	
上等原鹽	臺灣	一、八〇〇	一、八〇〇	一、七九〇	一、七九〇	一、七九〇	
	關東州	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、九八〇	一、九八〇	一、九八〇	
	青島	二、一四〇	二、一四〇	二、一四〇	二、一四〇	二、一四〇	
竝等原鹽	臺灣	一、六五〇	一、六五〇	一、六四〇	一、六四〇	一、六四〇	
	關東州	一、八一〇	一、八一〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	
	青島	一、九六〇	一、九六〇	一、九六〇	一、九六〇	一、九六〇	
再製鹽	關東州	一、四六〇	一、四六〇	一、四六〇	一、四六〇	一、四六〇	
	青島	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	
煎熬鹽	臺灣	一、〇六〇	一、〇六〇	一、〇六〇	一、〇六〇	一、〇六〇	
上等粉碎鹽	臺灣（產地及內地加工共）	一、五二〇	一、五二〇	一、五一〇	一、五一〇	一、五一〇	
上等粉碎洗滌鹽	臺灣（產地加工）	一、四三〇	一、四三〇	一、四二〇	一、四二〇	一、四二〇	七〇〇
	臺灣（內地加工）	六四〇	六四〇	六三〇	六三〇	六三〇	
	關東州（內地加工）	一、三八〇	一、三八〇	一、三六〇	一、三六〇	一、三六〇	
	青島（內地加工）	一、七一〇	一、七一〇	一、七一〇	一、七一〇	一、七一〇	
粉碎洗滌鹽	關東州（內地加工）	一、三八〇	一、三八〇	一、三六〇	一、三六〇	一、三六〇	
	青島（產地加工）	一、六五〇	一、六五〇	一、六五〇	一、六五〇	一、六五〇	

青島（內地加工）		一、七一〇厘	一、七一〇厘	一、七一〇厘	一、七一〇厘	一、七一〇厘
粉碎鹽	西班牙（產地加工）	一、九三〇	一、九三〇	一、九三〇	一、九三〇	一、九三〇
粉碎鹽	埃及（產地加工）	一、九三〇	一、九三〇	一、九三〇	一、九三〇	一、九三〇
粗製鹽	英米	五八〇	五八〇	五八〇	五八〇	五八〇
粗製鹽	獨逸	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
其ノ他ノ鹽		七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇

特別定價賣渡鹽の賣渡價格及賣渡高等に關しては、便宜上次款に於て一般定價鹽の賣渡價格及賣渡高と共に之を揭載することと爲し、玆には各年度に於ける鹽交付金高及追徵金高を表示すべし。

（一）鹽交付金高表

年度		輸出用	移出用	化學的藥品製造用	人造色素製造用	石鹼製造用	獸皮保存用	鑛業製鋼用	窯業用	漁獲物鹽藏用	輸出鹽藏魚介類	移出鹽藏魚介類	合計	輸出製成醬油	移出製成醬油
明治四一	斤	一七、五七一、〇三七	一八、五四〇、〇七〇	七、四六五、三七八	—	二五〇、八四七	一、七五〇、七〇八	四三〇、一二八	—	—		—	四六、〇〇八、一六八	—	—
	円	二三八、四二三	二四一、〇一九	一二五、八八七	—	三、二六〇	二三、七五〇	五、五九一	—	—		—	六二六、九三四	—	—
四二	斤	四七、六四四、八七七	九、七六九、六〇〇	一九、二四二、七一八	—	三二三、三七七	一、七九七、七四九	二〇七、九八〇	—	—		—	七八、九八五、三〇一	—	—
	円	六一九、六九六	一二七、三二七	三一一、二九三	—	四、二四四	二三、八一九	二、七二七	—	—		—	一、〇八九、一〇八	—	—
四三	斤	三八、五六二、五七七	一三、六一〇、〇一三	五五七、六四四	—	四五〇、九〇一	二、一一〇、五九五	三四、八〇〇	—	八、四八九、七九九		—	六三、八一六、三三九	一三、三〇四	—
	円	五二〇、五九四	一六九、六九四	七、五二七	—	六、〇八六	二八、四九二	四六九	—	一一四、四五一		—	八四七、三一七	二、一八一	—
四四	斤	七〇、五一六、九九七	三三、〇二五、〇二三	七五三、三九四	—	六八一、八一四	一、九〇九、八一五	四三、〇八〇	—	一〇、六三三、四〇七	一六七、八一〇		一一七、七三〇、三四〇	三四、九三六	—
	円	九五一、九七九	四四五、六二〇	一〇、一五七	—	九、二〇三	二五、七八一	五八一	—	一四三、五三九	二、二六五		一、五八九、一二九	二三、〇六一	—
大正元	斤	八七、八〇七、七六三	三八、四〇〇、六〇八	二四七、九九六	—	一、〇七九、三六七	一、八七二、三三〇	一一一、二〇〇	—	七、九八三、四二七	五九、九三〇		一三六、五六二、六二一	三二、一六五	—
	円	一、一七九、五二三	五〇七、八五五	三、二七二	—	一四、一八〇	二四、五六二	一、四九九	—	一〇六、三三九	八〇九		一、八三八、〇四三	二〇、九一三	—
二	斤	四三、三三三、一九九	四二、一八一、九九三	六六四、〇九四	—	九九三、三一三	一、四九三、五六三	四、四〇〇	—	八、一八八、四七一	一六五、〇四五		九七、〇二四、〇七八	三二、三四三	一、五八〇
	円	五六二、一九六	五四七、七七〇	九、四三三	—	一三、二四五	一八、〇五六	五五	—	一〇二、五五五	二、一六八		一、二五四、四七八	一九、四八五	九八三
三	斤	四六、四三五、二四〇	二四、四八五、六二三	二〇四、四八九	—	六三〇、五五七	一、三六二、五六六	一、〇〇〇	—	七、八八七、二五三	八五、三九八		八一、〇九二、〇九五	三一、三七八	九三三
	円	五二四、七一八	二八〇、〇二三	二、八二〇	—	七、五七一	一五、四七五	一一	—	九〇、九三四	九八一		九二三、五三六	一七、三八八	五一三
四	斤	七六、九五四、四二八	二七、二三四、二一八	四、八七一、九七三	—	八一六、七三三	一、三三七、五八九	三五、二四〇	—	七、九九一、六一四	九〇、四九五		一一九、三三三、三一〇	三〇、五三五	一、六五五
	円	九一三、一二五	三二〇、四〇八	六九、〇八一	—	一〇、〇七四	一五、四七九	四七七	—	九三、三三九	一、〇五〇		一、四二三、〇三六	一七、〇一四	九六三
五	斤	七八、〇四八、一三八	二〇、一三三、一四九	一一、〇八八、五一七	—	一、〇五七、四一三	一、〇〇〇、二〇三	二六、〇〇〇	一、〇〇〇	五、九一七、四二一	三〇八、四七八		一二七、六六九、三一〇	三三、七九四	二、八七六
	円	九二九、〇八一	二三七、八二八	一五〇、一九七	—	一二、九〇七	一一、七〇一	一、七〇八	一三	六九、二九五	三、六五一		一、四一六、三八五	一八、六四二	一、六二九
六	斤	一〇五、一七九、四二八	五三、五一〇、四〇四	二六、四五九、九二五	三三二、三三一	一、四三三、五〇八	九六二、二八〇	七四七、四〇〇	五八、七五一	五、四四〇、九〇七	三六〇、三五三	二、九六二	一九四、五〇一、一四八	*二七、三三九	五七 *二、五九一
	円	一、二六七、〇四三	六二五、六四六	三五五、四〇九	四、一七九	一七、五四五	一一、五六三	九、六四二	八二四	六三、六三七	四、二五三	一五一	二、三五九、九〇八	一五、四九一	一、四七二
七	斤	一二六、一一五、五三四	二七、八七七、二七八	一九、八〇三、六七六	三、八四九、九四三	一、五四七、六七八	一、六四一、九八九	二三〇、〇〇〇	二九二、七二〇	四、五九二、七八七	一三〇、三二九	一、一三五、二七六	一七七、二五七、一一〇	五三、四三一 *一四、九〇三	六、六三三 *一、〇三二
	円	一、四七四、六〇五	三四〇、〇五六	二四一、九二九	四一、一一三	一四、九三一	一六、〇一六	二、四七七	三、八二三	四四、四二三	一、五三七	一三、三九〇	二、一九三、二九三	八、二九三	五六六
八	斤	九五、五七六、一八三	四四、八二三、六二〇	六、一三一、九〇一	三、八三七、四二七	一、八五七、六三三	一、〇〇六、六二三	八、四六八	三七〇、八〇〇	三、一八二、四九五	一三一、〇五八	一、〇三三、三五一	一五七、九五七、五五〇	一、四〇四、五九九 *五、七三八	四三、二二六 *四七四
	円	五七五、三六〇	二六一、五〇三	六〇、五五七	三三、四九八	一四、一二七	七、四〇三	七〇	二、九九五	二〇、三〇二	一、〇八五	八、四二八	九八四、三三三	八、三四三	五三八
九	斤	八二、一八三、四七七	一四、一四六、四八三	一、八五一、五三七	二、三六〇、六五三	一、七八五、二二八	一、三三〇、六二二	—	一九〇、〇一一	一、七九八、九一四	—	八二、九八〇	一〇四、七一九、八九四	一、一〇九、二二一	二六、〇三六
	円	九二一、七三三	一三四、五三八	三一、八一一	三八、八八四	二六、八六三	一三、六六一	—	三、二四六	一八、〇九三	—	二三九	一、一八九、〇六三	四、一〇三	七七
一〇	斤	一九、七三七、九二九	一四、五八九、六一八	一、七二一、五三一	二、八七四、六五〇	二、七三三、三一四	一、六五八、二五一	一、七〇〇	一五一、八〇〇	二、一九二、九二六	—	二六、五四九	四五、六八八、二五八	四三四、八二一	三、九六八
	円	二九一、七三七	一八三、一七三	三七、七四三	五二、四三九	五〇、四六九	二〇、一四五	四〇	三、〇四三	二一、七〇六	—	三三〇	六六〇、七一八	三、六一三	一〇三
一一	斤	四三、九七一、八一七	一三、三〇七、四〇三	二、〇八〇、五五三	一、八一三、八三六	二、三七〇、三二七	八二一、七九九	—	二〇九、〇〇〇	二、二四五、一九八	—	一三、六八二	六六、八三三、六一三	一九一、五〇三	三四二、九九八
	円	四三五、二〇五	一八六、五三三	三八、七八八	三〇、三八八	三六、七八一	八、三七〇	—	四、三二一	二八、三六六	—	二一二	七六八、七六六	一、五三七	二、六七五
一二	斤	二〇、九四八、九六七	一五、九四三、六五五	三九三、三三一	九六五、六九〇	二、一三一、八〇九	一、四四三、六九一	—	二四五、八二〇	三、二六四、五八五	—	三六一、九五〇	四五、六九九、四九八	三六七、六八七	—
	円	三〇三、七七七	二四〇、八八七	七、〇六三	一七、三五三	三四、九三八	一六、五四五	—	四、七八七	四一、〇七四	—	二、八四二	六六九、二六九	二、八六六	—
一三	斤	三八、七三五、九四二	一五、四九六、三三一	二一八、〇〇〇	九一九、二七八	二、四六七、六六〇	九七六、一二五	—	六二三、四五〇	三、一一一、一三七	二、九四五	七七八、二三六	六三、三三九、一〇六	五一八、九七〇	—
	円	四八八、七五〇	二二六、八七五	三、九三一	一六、一八〇	四三、七五四	一一、四一二	—	一一、四八三	三九、三五〇	五六	七、一七五	八三八、九七〇	四、三八一	—
一四	斤	二、三〇九、八〇〇	一九、五八三、九七九	二〇二、七〇〇	九三六、一九〇	二、三八二、三五八	六四二、五三三	—	一、一六四、二〇〇	二、八六五、五二七	二三、二六九	九五六、六三三	三一、〇六七、一七八	四八三、〇四〇	—
	円	三六、一三七	二七四、六〇二	三、六三三	一六、七一六	四一、七四三	九、〇四一	—	二一、九八〇	三六、六〇四	三一三	九、四七一	四五〇、二三一	四、三四四	—

（備考）一、＊印は石數を示す。
二、明治四十年度以前の交付金高は次の如し。

年度	輸出用	移出用	品化學製造的用藥	保歇存用皮	透種用肥料	製鐵銅用業	製精造油味用噌	漁撈獲用物	合計
明治三八	一、一二九、三二六斤	千斤	九〇八斤	四二、一斤	千斤	斤	斤	一〇、九斤	一、一四二、三四六斤
三九	二、八九二、二一〇	三五	三、八四五	一、四三五	—	一、三三八	三五	三五	二、九〇三、四三〇
四〇	六、八〇五、七八七	五、七三一	三、五五一	一、四三二	—	八、三三	三五	三五	六、八二〇、七八七
四一	四五、三一〇	三三、三五	五、〇一三	五、〇五五	—	九四、六六	三、四六〇	四、〇八〇	四五、三一〇
四二	五、〇〇〇、〇〇〇斤	五、〇〇〇、〇〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	五、〇〇〇、〇〇〇斤
四三	三、八六〇、四三〇斤	三、八六〇、四三〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	三、八六〇、四三〇斤
四四	七、六〇〇、〇〇〇斤	七、六〇〇、〇〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	七、六〇〇、〇〇〇斤
四五	一〇、九六〇、〇〇〇斤	一〇、九六〇、〇〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一〇、九六〇、〇〇〇斤
大正元	五、三六一、六〇〇斤	一一、三五四、三七〇斤	三、三七七斤	一、三四〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一六、七三一、三一〇斤
二	三、三一二、三〇〇斤	三、三一二、三〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	三、三一二、三〇〇斤
三	七、六一二、三〇〇斤	七、六一二、三〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	七、六一二、三〇〇斤
四	一、一〇一、四〇〇斤	一、一〇一、四〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、一〇一、四〇〇斤
五	一、三四一、三〇〇斤	一、三四一、三〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、三四一、三〇〇斤
六	一、四一〇、一〇〇斤	一、四一〇、一〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、四一〇、一〇〇斤
七	一、四八〇、一〇〇斤	一、四八〇、一〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、四八〇、一〇〇斤
八	一、五二〇、一〇〇斤	一、五二〇、一〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、五二〇、一〇〇斤
九	一、五六〇、一〇〇斤	一、五六〇、一〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、五六〇、一〇〇斤
十	一、六〇〇、一〇〇斤	一、六〇〇、一〇〇斤	一、六〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、七〇〇斤	一、六〇〇、一〇〇斤

鹽追徵金高表　(II)

年度	輸出用	移出用	化學的製造用業	保存用皮歇	窯業用	肥料用	透種用	家畜用	鹽藏用魚類	釀造用醋	魚介類藏用輸出	合計	製成煮油
明治四一	五四、四〇七斤	五七、〇四五斤		六、八六斤		斤	斤	斤	斤	一二九、三四〇斤	斤	一、二五〇、四三五斤	斤
四二	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇		一、六八〇			一、七〇〇	一、七〇〇		一、五五三、三八〇	
四三	一、九五〇	六、〇五〇		九四四		二四三			一、四三三	七九九		一〇、四七六	
四四	八〇〇		一〇、五七五	一〇、〇一〇		一、六八〇		一四〇	九九五	一、〇八〇	一、〇八〇	一六、〇五五	
四五				五六、八六〇						三六、〇〇〇		九二、八六〇	
大正元													
二													
三													
四													
五													
六													
七													
八													
九													
十													

（備考）一、＊印は明治三十八年以來の總計。
二、明治四十年度以前の交付金高は次の如し。

第二章　鹽專賣　第十節　鹽の販賣

大正九年度十一月三十日現在

（備考）一、＊印は明治三十八年以來の總計。
二、明治四十年度以前の交付金高は次の如し。
三、大正十三年度以降は金額四十年度迄六、〇八七、一七〇圓三十七錢なり。

第四款　賣渡價格及賣渡高

鹽は法律上定價を以て之が賣渡を爲すべきものにして、其の定價は政府が任意に決定し得べきことを本則とす。然れども鹽は固と之れ生活の必需品にして、殊に下層細民の負擔多きものなるが故に、定價を定むるに當り原價に加算すべき專賣收入率は、法律を以て之を規定するの必要ありとし、鹽專賣法第十八條に於て專賣收益率の最高限度を百斤に付一圓四十八錢と限定せり。但し右は專ら內地鹽に關するものにして、臺灣鹽及關東州鹽は內地鹽の價格と權衡を保たしむることを目的として之を定め、歐米鹽は內地鹽收入率の外內地鹽業保護の意味を以て、品質に對する相當割增額と、專賣施行前に於ける輸入稅に相當する金額とを加算したるものを以て標準とし、定價を定むることとせり。而して內地鹽の定價は上述の如く一定の價格を定むることなく、賠償價格に一定の專賣收入率を加算したる額を以て賣渡價格と爲すものなるが故に、鹽の生產地又は其の種類及等級等に依り賠償價格を異にする每に自ら異動あるのみならず、右賠償價格の增減又は專賣收入率の變更の都度變動を生ずるものにして、從て輸移入鹽の賣渡價格も亦之に伴ひ異動あるを免れざるものとす。

專賣施行の初に當りては內地の鹽の賣渡價格は告示を以て之を公示することを爲さず、鹽務官署內の見易き場所に揭示することに依り、公衆をして之を知らしむることと爲し、且つ其の定め方に就て鹽務局長宛左の如く內訓を發したり。但し臺灣鹽の如きは移入取扱人に對し直に之を賣渡すものなるを以て、其の賣渡價格は取扱人との間の協定に止め、別に之を揭示せざることとせり。

內地鹽賣渡價格定メ方（明治三十八年五月九日大藏大臣內訓臨第一八三七號）

第一條　鹽務局ハ局及出張所每ニ別記樣式ニ依リ鹽賣渡定價表ヲ作リ之ヲ公示スヘシ

第二條　內地鹽賣渡價格ハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償價格ニ專賣收入率ヲ加算シタルモノトス但シ輸出ニ在リテハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償價格ヲ以テ其ノ賣渡價格トス

臺灣鹽及外國鹽賣渡價格ハ別ニ之ヲ定ム

第三條　鹽專賣收入率ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　鹽專賣法第十八條ニ依リ一般定價ヲ以テ賣渡スモノ

百斤ニ付　金一圓四十八錢

二　明治三十八年勅令第五十七號專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條各號ノ用途ニ使用スルモノニシテ特別定價ヲ以テ賣渡スモノ

百斤ニ付　金十八錢

（樣式省略）

歐米鹽の賣渡價格も別に之を公示せず、橫濱·神戶鹽務局に對して內訓を與へ、他の鹽務局には之を通牒したり。其の各收入率算定の根據は、一般定價に在りては(一)內地鹽收入率一圓四十八錢及(二)專賣前の輸入稅（粗製十九錢八厘精製三圓四十錢）の外、尙ほ(三)內地鹽保護の爲橫濱に於ける內地一等鹽賠償價格一圓二十六錢の約二割五分に相當する金額の和とし、特別定價は內地の收入率十八錢に前記(二)·(三)の和に依りたるものとす。

外國鹽賣渡價格定メ方（明治三十八年五月二十六日大藏大臣內訓臨第二一四七號）

第一條　外國鹽賣渡價格ハ輸入取扱人ヨリ申出テタル請負金額ニ左ノ金額ヲ加算シタルモノ

トス但シ其ノ鹽ノ品質ニ相當スル內地鹽ノ橫濱ニ於ケル賣渡價格ヨリ低下スルコトナシ

一　鹽專賣法第十八條ニ依リ一般定價ヲ以テ賣渡スモノ

粗　製　百斤ニ付　金二圓

精　製　百斤ニ付　金五圓二十錢

二　明治三十八年勅令第百五十七號第一條各號ノ用途ニ供スルモノニシテ特別定價ヲ以テ賣渡スモノ

粗　製　百斤ニ付　金七十錢

精　製　百斤ニ付　金三圓九十錢

第二條　輸出ノ目的ヲ以テ賣渡ス外國鹽ノ賣渡價格ハ輸入取扱人ヨリ申出テタル輸入請負ノ額ニ左ノ金額ヲ加算シタルモノトス

粗　製　百斤ニ付　金五十二錢

精　製　百斤ニ付　金三圓七十二錢

次に臺灣鹽の賣渡價格は其の移入取扱人と協定の上、取扱人に對し命令を以て直接之を通達するものとし、且つ右の命令は一年毎に之を更改するものにして、專賣實施初年の賣渡價格は左記の如く一般定價に在りては上等散鹽は內地二等鹽に比準し、其の賣渡價格二圓四十三錢（賠償價格九十五錢、換率一圓四十八錢）より內地に於ける包裝費六錢及色相・結晶等の關係に依る割引額十錢計十六錢を控除し並等散鹽は內地三等鹽に比準し、其の賣渡價格二圓三十六錢より前記十六錢を控除して之を定め輸出鹽は上等散鹽並等散鹽共に右一般定價より各一圓四十八錢を控除し、其の他の特別定價は一般定價より交付金に相當する金一圓三十錢を控除して之を定め、包裝鹽に就ては臺灣に於ける包裝費二十錢を總て各別に加算することとしたり。

（一）外國輸出の目的を以て買受くるとき

包裝鹽

上　等　百斤に付　金九十一錢

並　等　百斤に付　金八十四錢

散　鹽

上　等　百斤に付　金七十九錢

並　等　百斤に付　金七十二錢

（二）明治三十八年勅令第百五十七號第一條各號の用途に供する目的を以て買受くるとき

包裝鹽

上　等　百斤に付　金一圓九錢

並　等　百斤に付　金一圓二錢

散　鹽

上　等　百斤に付　金九十七錢

並　等　百斤に付　金九十錢

（三）前二號以外の目的を以て買受くるとき

包裝鹽

上等　百斤に付　金二圓三十九錢
竝等　百斤に付　金二圓三十二錢
散鹽
上等　百斤に付　金二圓二十七錢
竝等　百斤に付　金二圓二十錢

專賣實施の當初に於ては以上の如く各種鹽の賣渡價格を定めしが、爾後內地鹽は賠償價格の引上或は引下に伴ひて其の賣渡價格に異動あり、之と共に移輸入鹽の賣渡價格も亦變動を見たり。就中臺灣鹽に在りては、始め上等鹽は內地二等鹽に、竝等鹽は同上三等鹽に比準して賣渡價格を定めたるも、其の品質內地鹽に比して粗惡なるが爲め之を改めて、上等鹽は內地四等鹽に、竝等鹽は同上五等鹽に比準することとし、又內地に於けるアルカリ工業保護の目的を以て、右の原料に供せらるる臺灣竝等鹽の賣渡價格を特に引下げ、其の他新に關東州鹽・清國鹽・安南鹽等の輸入せらるるに及びても、略〻臺灣鹽に準じて之が賣渡價格を定めたり。

鹽賣渡價格は當初は上述の如く大藏大臣の內訓又は移輸入取扱人に對する命令を以て之を定めしが、明治四十一年七月に至り販賣制度を改正して鹽賣捌人の制度を設くるに及び、其の賣渡價格は大藏省告示を以て一般に之を公示することの必要且つ便利なるを認め、左の如く同年六月大藏省告示第百號を公布したり。但し等外鹽又は汚損鹽等の賣渡價格は其の品質に依り臨機之を決定するの要あるを以て、豫め之を告示せざることとせり。又本告示に於ては鹽元賣捌人に賣渡す內地鹽の一般定價賣渡價格は、賠償價格に專賣收入率を加へたるもの、卽ち從前の賣渡價格より其の百分の五

を控除したるものと定めしが、其の理由とする所は蓋し從來は右の賣渡價格を以て何人にも直接賣渡したるに、今回元賣捌人を設け一般消費鹽を全部之に賣渡すこととし、消費者は直接政府より購買することを得ざるに至りしを以て、若し尙ほ從前の價格にて元賣捌人に賣渡すときは一般消費鹽は明かに從來より高價となるが故に、消費者の買受價格を從前と同一ならしむる爲め、元賣捌人には五分引賣渡を爲し、其の五分に相當する營業利益（營業所得三分減量補償二分）を收得せしむることと爲せしものなり。

大藏省告示第百號（明治四十一年六月十六日）

第一條　鹽專賣法第十八條ニ依リ鹽元賣捌人ニ賣渡ス內地鹽ノ定價ハ各賠償價格ニ金一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノトス

第二條　鹽賣捌規則第二條第二項ニ依リ特ニ指定シタル鹽元賣捌人ニ賣渡ス鹽ノ定價左ノ如シ

一　臺灣鹽　上等鹽金二圓四十二錢、竝等鹽金二圓三十五錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ
二　關東州鹽　金二圓四十一錢
三　歐米鹽　各購買價格ニ粗製鹽ニ付テハ金二圓三十錢精製鹽ニ付テハ金五圓五十錢ヲ加ヘタルモノ

第三條　鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽及專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ノ賣渡價格左ノ如シ

一　內地鹽　各賠償價格ニ金十八錢ヲ加ヘタルモノ

二　臺灣鹽　上等鹽金一圓十二錢、竝等鹽金一圓五錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ各等鹽共前項ノ金額ヨリ金二十三錢ヲ減ス

三　關東州鹽　金一圓十一錢

鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ前項ノ金額ヨリ金二十九錢ヲ減ス

四　歐米鹽　各購買價格ニ粗製鹽ニ付テハ金一圓、精製鹽ニ付テハ金四圓二十錢ヲ加ヘタルモノ

第四條　專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二第一號ニ依ル一回ノ請求高一萬斤以上ノ內地鹽賣渡價格ハ各賠償價格ニ金一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノトス

第五條　專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二第二號ニ依リ鹽元賣捌人カ制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササル場合ニ於テ政府カ鹽小賣人ニ賣渡ス內地鹽ノ價格ハ各賠償價格ニ金一圓四十八錢ヲ加ヘタルモノトス

第六條　鹽賣捌規則第十條ノ鹽回送費ハ專賣局長官ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收スルモノトス

本告示ハ爾來數十回ニ亙リテ其ノ一部ニ改正ヲ加ヘラレタル後、大正九年五月ニ至リ其ノ全文ヲ改正セラレ（告示第百八十五號）、以テ大正末年ニ至レリ。而シテ此等ノ改正ノ理由ハ固ヨリ一ニシテ足ラサレドモ、其ノ重要ナルモノハ內地鹽賠償價格ノ變動ニ伴フ輸移入鹽ノ價格改正、內地產業就中化學工業保護ノ爲メ特別用途鹽賣渡價格ノ引下、新規輸入鹽ノ賣渡價格追加等ナリトス。尙ホ此等ノ告示ニ於テ定メラルル內地鹽ノ賣渡價格ハ、當初ハ單ニ基本額（賠償金額）ニ加算率（一圓四十八錢）ヲ加フル旨ヲ規定スルノミニテ、具體的ニ賣渡價格ヲ公示スルコトナカリシガ、大正八年五月ノ改正以後ハ各種ノ鹽ニ就キ夫々具體的ノ價格ヲ明示スルコトト爲シタリ。今每回ノ改正條文ヲ一々列擧スルハ其ノ煩ニ堪ヘザルヲ以テ、玆ニハ總テ之ヲ省略シ、左ニ大正末年現在ニ於ケル告示ヲ掲ぐるに止むべし。但シ此ノ間ニ於ケル賣渡價格ノ變遷ハ本款末ニ掲ゲタル各種鹽ノ賣渡價格ノ沿革ニ關スル一覽表ニ依リ大體之ヲ推知スルコトヲ得ベシ。

大藏省告示第百八十五號（大正十四年十二月二十九日）

鹽專賣法第十八條、同第十九條、特別用鹽規則第一條及同第二條ニ依リ政府ノ賣渡ス鹽ノ百斤當價格左ノ通相定メ大正十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年五月大藏省告示第八十五號ハ本告示施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鹽百斤當賣渡價格表

內地鹽

種類	等級又ハ裝置	鹽元賣捌人賣		一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣		輸移出用賣及特別用途賣	
收納鹽		八十斤叺入	五十斤叺入	五十斤叺入	散鹽	八十斤叺入	五十斤叺入	散鹽
一等鹽		四、一四〇厘	四、一七〇厘	四、三六〇厘	四、三九〇厘	四、一三〇厘	賣渡當時ニ於ケル其ノ鹽ノ賠償價同上	同上
二等鹽		三、八四〇	三、八七〇	四、〇四〇	四、〇七〇	三、八一〇		
三等鹽		三、五八〇	三、六一〇	三、七七〇	三、八〇〇	三、五四〇		

種類	等級	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	四等鹽	三、三七〇厘	三、四〇〇厘	三、一五〇厘	三、五五〇厘	三、五八〇厘	三、三二〇厘	格ニ相當スル金額		
	五等鹽	三、一九〇	三、二二〇	二、九七〇	三、三六〇	三、三九〇	三、一三〇			
再製鹽	一等鹽	四、一四〇	四、一七〇	三、九二〇	四、三六〇	四、三九〇	四、一三〇	二、七一〇厘	二、七四〇厘	二、四八〇厘
	二等鹽	三、八四〇	三、八七〇	三、六二〇	四、〇四〇	四、〇七〇	三、八一〇	二、五八〇	二、六一〇	二、三五〇
	三等鹽	三、五八〇	三、六一〇	三、三六〇	三、七七〇	三、八〇〇	三、五四〇	二、四五〇	二、四八〇	二、二二〇
	四等鹽	三、三七〇	三、四〇〇	三、一五〇	三、五五〇	三、五八〇	三、三二〇	二、二八〇	二、三一〇	二、〇五〇
	五等鹽	三、一九〇	三、二二〇	二、九七〇	三、三六〇	三、三九〇	三、一三〇	二、一四〇	二、一七〇	一、九一〇
副產鹽	一等鹽・二等鹽・三等鹽・四等鹽・五等鹽	賣渡當時ニ於ケル其ノ鹽ノ賠償價格ニ一、四八〇厘ヲ加ヘタル金額ヨリ其ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノ但其ノ金額カ同等級内地收納鹽ノ賣渡價格ヲ超ユルトキハ同等級内地收納鹽ノ賣渡價格			賣渡當時ニ於ケル其ノ鹽ノ賠償價格ニ一、四八〇厘ヲ加ヘタルモノ但其ノ金額カ同等級内地收納鹽ノ賣渡價格ヲ超ユルトキハ同等級内地收納鹽ノ賣渡價格			賣渡當時ニ於ケル其ノ鹽ノ賠償價格ニ相當スル金額		
食卓鹽	一斤罐入	二九、四五〇厘			三一、〇〇〇厘			—		
	半斤罐入	三八、〇〇〇			四〇、〇〇〇			—		
	四十匁紙製罐入	三三、二五〇			三五、〇〇〇			—		
	二十匁紙製罐入	四〇、八五〇			四三、〇〇〇			—		
	六百瓦壜入	三一、三五〇			三三、〇〇〇			—		
	三百瓦壜入	三八、〇〇〇			四〇、〇〇〇			—		
	百五十瓦壜入	四四、六五〇			四七、〇〇〇			—		

輸移入鹽 ×印ハ輸移出用及化學的藥品人造色素製造用ヲ示ス

種類	產地	鹽元賣捌人賣 百斤叺入	鹽元賣捌人賣 八十斤叺入	鹽元賣捌人賣 五十斤叺入	鹽元賣捌人賣 散鹽	一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣 百斤叺入	一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣 八十斤叺入	一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣 五十斤叺入	一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣 散鹽
上等原鹽	臺灣・關東州・青島	三、四一〇厘	三、四六〇厘	三、五三〇厘	三、二二〇厘	三、五九〇厘	三、六四〇厘	三、七一〇厘	三、三九〇厘
並等原鹽	臺灣・關東州・青島	三、一三〇	三、一八〇	三、二五〇	二、九四〇	三、三〇〇	三、三五〇	三、四二〇	三、一〇〇
原鹽	支那	三、一三〇	三、一八〇	三、二五〇	二、九四〇	三、三〇〇	三、三五〇	三、四二〇	三、一〇〇
	安南	三、二七〇	三、三二〇	三、三九〇	三、〇八〇	三、四四〇	三、四九〇	三、五六〇	三、二四〇
再製鹽	關東州・青島	三、七八〇	三、八三〇	三、九〇〇	三、五九〇	三、九八〇	四、〇三〇	四、一〇〇	三、七八〇
煎熬鹽	臺灣	三、五八〇	三、六三〇	三、七〇〇	三、三九〇	三、七七〇	三、八二〇	三、八九〇	三、五七〇
上等粉碎鹽	臺灣（產地及內地加工共）	三、四一〇	三、四六〇	三、五三〇	三、二二〇	三、五九〇	三、六四〇	三、七一〇	三、三九〇

種類	產地	輸移出用賣及特別用途賣 百斤叺入	輸移出用賣及特別用途賣 八十斤叺入	輸移出用賣及特別用途賣 五十斤叺入	輸移出用賣及特別用途賣 散鹽
上等原鹽	臺灣	一、六二〇厘 ×一、六一〇	一、六七〇厘 ×一、六六〇	一、七四〇厘 ×一、七三〇	一、四二〇厘 ×一、四一〇
	關東州	一、四三〇 ×一、四一〇	一、四八〇 ×一、四六〇	一、五五〇 ×一、五三〇	一、二三〇 ×一、二一〇
	青島	一、二七〇	一、三二〇	一、三九〇	一、〇七〇
並等原鹽	臺灣	一、四九〇 ×一、四八〇	一、五四〇 ×一、五三〇	一、六一〇 ×一、六〇〇	一、二九〇 ×一、二八〇
	關東州	一、三三〇 ×一、三二〇	一、三八〇 ×一、三七〇	一、四五〇 ×一、四四〇	一、一三〇 ×一、一二〇
	青島	一、一七〇	一、二二〇	一、二九〇	九七〇
原鹽	支那	二、七〇〇	二、七五〇	二、八二〇	二、五〇〇
	安南	一、三四〇	一、三九〇	一、四六〇	一、一四〇
再製鹽	關東州	二、三三〇	二、三七〇	二、四四〇	二、一二〇
	青島	二、三四〇	二、三九〇	二、四六〇	二、一四〇
煎熬鹽	臺灣	二、五二〇	二、五七〇	二、六四〇	二、三二〇
上等粉碎鹽	臺灣（產地及內地加工共）	一、九〇〇 ×一、八九〇	一、九五〇 ×一、九四〇	二、〇二〇 ×二、〇一〇	一、七〇〇 ×一、六九〇

上等粉碎洗滌鹽	臺灣（產地加工）	三、四一〇	三、四六〇	三、五三〇	三、二二〇	三、五九〇	三、六四〇	三、七一〇	三、三九〇	一、九九〇	二、〇四〇	二、一一〇	一、七九〇
	臺灣（內地加工）									× 一、九八〇	× 二、〇三〇	× 二、一〇〇	× 一、七八〇
	關東州（內地加工）									二、七八〇	二、八三〇	二、九〇〇	二、五八〇
	青島（內地加工）									× 一、七七〇	× 二、八二〇	× 二、八九〇	× 二、五七〇
粉碎洗滌鹽	關東州（內地加工）									二、〇五〇	二、一〇〇	二、一七〇	一、八五〇
	青島（產地加工）	三、四一〇	三、四六〇	三、五三〇	三、二二〇	三、五九〇	三、六四〇	三、七一〇	三、三九〇	× 二、〇三〇	× 二、〇八〇	× 二、一五〇	× 一、八三〇
	青島（內地加工）									一、七六〇	一、八一〇	一、八八〇	一、五六〇
	支那（內地加工）									一、七〇〇	一、七五〇	一、八二〇	一、五〇〇
粉碎鹽	西班牙（產地加工）	三、四一〇	三、四六〇	三、五三〇	三、二二〇	三、五九〇	三、六四〇	三、七一〇	三、三九〇	一、八四〇	一、八九〇	一、九六〇	一、六四〇
	埃及（產地加工）									一、四八〇	一、五三〇	一、六〇〇	一、二八〇
粗製鹽	英米	三、七八〇	三、八三〇	三、九〇〇	三、五九〇	三、九八〇	四、〇三〇	四、一〇〇	三、七八〇	三、二〇〇	三、二五〇	三、三二〇	三、〇〇〇
	獨逸	三、四九〇	三、五四〇	三、六一〇	三、三〇〇	三、六八〇	三、七三〇	三、八〇〇	三、四八〇	三、四六〇	三、五一〇	三、五八〇	三、二六〇
精製鹽	歐米	食卓用鹽ハ各購買價格ニ五、五〇〇厘ヲ加ヘタルモノノ百分ノ九十五醫藥用及化學分析用鹽ハ各購買價格ニ五、五〇〇厘ヲ加ヘタルモノ				各購買價格ニ五、五〇〇厘ヲ加ヘタルモノ							

鹽專賣法施行細則第十三條第二項ニ依リ地方專賣局長ノ指定シタル者ニ引渡ス鹽ニ付テハ其ノ鹽ノ賣渡價格ヨリ五〇厘ヲ低減ス

鹽專賣法施行細則第十八條但書ヲ適用シタル鹽ノ賣渡價格ハ其ノ鹽ノ賠償價格ト當該五等鹽ノ賠償價格トノ差額ニ相當スル金額ヲ當該五等鹽ノ賣渡價格ヨリ低減シテ之ヲ定ム

輸移入鹽ニシテ輸移入地ニ於テ船側渡ヲ爲スヘキモノニ付テハ其ノ鹽ノ賣渡價格ヨリ一一〇厘ヲ低減ス

政府の鹽賣渡價格は、前述の如く當初は特別用途鹽を除き、原則として賠償價格に一定の收益率を加へたるものを以て之を定め、賣買業者は亦其の回送費及利潤を加味して販賣したるを以て、消費者に對する販賣價格は各地區々高低ありたるが、既述の如く鹽價の低減及劃一を圖る爲め、政府は明治四十年七月以降收納官署及販賣官署間の回送費を全部政府の負擔となし、又大正二年以後賠償價格の高低に應じて收入率を加減することと爲したる結果、同一等級鹽の元賣捌人に對する賣渡價格は茲に全國均一となれり。其の後歐洲戰時中諸物價騰貴するに及び、鹽の如き人生必需品に對し國費の負擔を課するは社會政策上策の得たるものにあらずと爲し、大正八年度以降は從來の收益主義を拋棄し、專ら內地產業の保護と可及的廉價供給主義に立脚し、工業用・農業用・鑛業用・輸移出用其の他特別用途鹽に對しては原價（內地鹽は賠償價格、輸移入鹽は購買價格、政府再製鹽は生產費）を以て賣渡價格と爲し、一般消費鹽に對しても右の原價と諸經費とを償ふ程度に於て賣渡價格を定むることと爲したり。但し小賣人より消費者に賣渡す小賣價格は、政府の賣渡價格に兩賣捌人の引取運賃及所定の營業利益（元賣捌三分・小賣捌一割二分）を加へたる金額なるを以て、引取運賃等の多寡に因り僅少の差を生ずるも、之

れ蓋し已むを得ざるものなり。今專賣實施以降に於ける各種鹽の賣渡價格の變遷を一覽表に作成すれば左の如し(內地鹽は大正九年五月二十九日改正迄四十斤叺入百斤當、其の以後は五十斤叺入百斤當)。

(一) 內地收納鹽賣渡價格 (第一區賠償價格基礎)

告示年月日	一般定價(鹽元賣捌人賣) 一等	二等	三等	四等	五等	特別定價 一回一萬斤以上賣小賣人及直接鹽賣人賣 一等	二等	三等	四等	五等	特別定價 輸移出用賣 一等	二等	三等	四等	五等	特別定價 其の他の特別用途賣 一等	二等	三等	四等	五等
明治三八年五月九日	二、五〇〇厘	二、四三〇厘	二、三六〇厘	二、三〇〇厘	二、二四〇厘	—	—	—	—	—	一、〇二〇厘	九五〇厘	八八〇厘	八二〇厘	七六〇厘	一、二〇〇厘	一、一三〇厘	一、〇六〇厘	一、〇〇〇厘	九四〇厘
〃 七、一五	二、九一〇	二、七八〇	二、六六〇	二、五五〇	二、四五〇	—	—	—	—	—	一、四三〇	一、三〇〇	一、一八〇	一、〇七〇	九七〇	一、六二〇	一、四八〇	一、三六〇	一、二五〇	一、一五〇
三九、九、二七	二、七九〇	二、六六〇	二、五四〇	二、四三〇	二、三三〇	—	—	—	—	—	一、三二〇	一、一八〇	一、〇六〇	九五〇	八五〇	一、四九〇	一、三六〇	一、二四〇	一、一三〇	一、〇三〇
四〇、四、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、四九〇	一、三六〇	一、二四〇	一、一三〇	一、〇三〇	—	—	—	—	—
〃 五、二	二、八八〇	二、七五〇	二、六三〇	二、五三〇	二、四二〇	—	—	—	—	—	一、五八〇	一、四五〇	一、三三〇	一、二二〇	一、一二〇	一、五八〇	一、四五〇	一、三三〇	一、二二〇	一、一二〇
四一、五、二九	二、九四〇	二、八一〇	二、六九〇	二、五八〇	二、四八〇	—	—	—	—	—	一、六四〇	一、五一〇	一、三九〇	一、二八〇	一、一八〇	一、六四〇	一、五一〇	一、三九〇	一、二八〇	一、一八〇
〃 六、一六	二、七九三	二、六六九	二、五五五	二、四五一	二、三五六	二、九四〇	二、八一〇	二、六九〇	二、五八〇	二、四八〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四二、一〇、二〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、五三〇	一、四〇〇	一、二八〇	一、一七〇	一、〇七〇	一、五三〇	一、四〇〇	一、二八〇	一、一七〇	一、〇七〇
〃 一二、二五	二、七五五	二、六三一	二、五一七	二、四一三	二、三一八	二、九〇〇	二、七七〇	二、六五〇	二、五四〇	二、四四〇	一、四九〇	一、三六〇	一、二四〇	一、一三〇	一、〇三〇	一、四九〇	一、三六〇	一、二四〇	一、一三〇	一、〇三〇
四四、一二、二七	二、七六四	二、六四一	二、五二七	二、四二三	二、三二七	二、九一〇	二、七八〇	二、六六〇	二、五五〇	二、四五〇	一、五〇〇	一、三七〇	一、二五〇	一、一四〇	一、〇四〇	一、五〇〇	一、三七〇	一、二五〇	一、一四〇	一、〇四〇
四五、三、二六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、四三〇	一、三〇〇	一、一八〇	一、〇七〇	九七〇	—	—	—	—	—
〃 六、二九	二、七一七	二、五九三	二、四七九	二、三七五	二、二八〇	二、八六〇	二、七三〇	二、六一〇	二、五〇〇	二、四〇〇	一、五五〇	一、四二〇	一、三〇〇	一、一九〇	一、〇九〇	一、四五〇	一、三三〇	一、二〇〇	一、〇九〇	九九〇
大正二、一〇、二	二、五四六	二、四二三	二、三〇八	二、二〇四	二、一〇九	二、六八〇	二、五五〇	二、四三〇	二、三二〇	二、二二〇	一、五五〇	一、四二〇	一、三〇〇	一、一九〇	一、〇九〇	一、五五〇	一、四二〇	一、三〇〇	一、一九〇	一、〇九〇
三、四、九	二、六六〇	二、五三六	二、四二三	二、三一八	二、二二三	二、八〇〇	二、六七〇	二、五五〇	二、四四〇	二、三四〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四、一二、二七	二、六〇三	二、四七九	二、三六五	二、二六一	二、一六六	二、七四〇	二、六一〇	二、四九〇	二、三八〇	二、二八〇	一、四五〇	一、三二〇	一、二〇〇	一、〇九〇	九九〇	一、四五〇	一、三三〇	一、二〇〇	一、〇九〇	九九〇
五、七、二九	二、六二三	二、四九八	二、三八四	二、二八〇	二、一八五	二、七六〇	二、六三〇	二、五一〇	二、四〇〇	二、三〇〇	一、四七〇	一、三四〇	一、二二〇	一、一一〇	一、〇一〇	一、四七〇	一、三四〇	一、二二〇	一、一一〇	一、〇一〇
〃 一二、二八	二、七一七	二、五九三	二、四七九	二、三七五	二、二八〇	二、八六〇	二、七三〇	二、六一〇	二、五〇〇	二、四〇〇	一、五七〇	一、四四〇	一、三三〇	一、二一〇	一、一一〇	一、五七〇	一、四四〇	一、三三〇	一、二一〇	一、一一〇
六、四、一七	二、八三二	二、七〇七	二、五九三	二、四八九	二、三九四	二、九八〇	二、八五〇	二、七三〇	二、六二〇	二、五二〇	一、六九〇	一、五六〇	一、四四〇	一、三三〇	一、二三〇	一、六九〇	一、五六〇	一、四四〇	一、三三〇	一、二三〇
〃 七、二六	三、〇四〇	二、九一六	二、八〇三	二、六九八	二、六〇三	三、二〇〇	三、〇七〇	二、九五〇	二、八四〇	二、七四〇	一、八九〇	一、七六〇	一、六四〇	一、五三〇	一、四三〇	一、八九〇	一、七六〇	一、六四〇	一、五三〇	一、四三〇
〃 一〇、二九	三、三二五	三、二〇一	三、〇八七	二、九八三	二、八八八	三、五〇〇	三、三七〇	三、二五〇	三、一四〇	三、〇四〇	二、一七〇	二、〇四〇	一、九二〇	一、八一〇	一、七一〇	二、一七〇	二、〇四〇	一、九二〇	一、八一〇	一、七一〇
七、四、二三	三、五七二	三、三五三	三、一七三	三、〇二二	二、八八八	三、七六〇	三、五三〇	三、三四〇	三、一八〇	三、〇四〇	二、七二〇	二、四九〇	二、三〇〇	二、一四〇	二、〇〇〇	二、七二〇	二、四九〇	二、三〇〇	二、一四〇	二、〇〇〇
〃 九、一六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、九七〇	二、七四〇	二、五五〇	二、三九〇	二、二五〇	二、九七〇	二、七四〇	二、五五〇	二、三九〇	二、二五〇
〃 一二、二九	三、八〇九	三、五九一	三、四一〇	三、二五八	三、一二五	四、〇一〇	三、七八〇	三、五九〇	三、四三〇	三、二九〇	三、二一〇	二、九八〇	二、七九〇	二、六三〇	二、四九〇	三、二一〇	二、九八〇	二、七九〇	二、六三〇	二、四九〇
八、六、二八	四、〇五六	三、八三八	三、六五七	三、五〇五	三、三七二	四、二七〇	四、〇四〇	三、八五〇	三、六九〇	三、五五〇	三、五一〇	三、二八〇	三、〇九〇	二、九三〇	二、七九〇	三、五一〇	三、二八〇	三、〇九〇	二、九三〇	二、七九〇
〃 九、九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、三三〇	三、九四〇	三、六三〇	三、三七〇	三、一五〇	四、三三〇	三、九四〇	三、六三〇	三、三七〇	三、一五〇
〃 一二、二七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、四五〇	四、〇七〇	三、七六〇	三、五〇〇	三、二八〇	四、四五〇	四、〇七〇	三、七六〇	三、五〇〇	三、二八〇
九、五、二九	五、五五七	五、一五八	四、八三五	四、五六九	四、三三三	五、八五〇	五、四三〇	五、〇九〇	四、八一〇	四、五六〇	四、八一〇	四、三九〇	四、〇五〇	三、七七〇	三、五二〇	四、八一〇	四、三九〇	四、〇五〇	三、七七〇	三、五二〇
〃 一二、二八	五、〇六三	四、七二三	四、四一七	四、一八〇	三、九七一	五、三三〇	四、九六〇	四、六五〇	四、四〇〇	四、一八〇	四、二八〇	三、九一〇	三、六〇〇	三、三五〇	三、一三〇	四、二八〇	三、九一〇	三、六〇〇	三、三五〇	三、一三〇
一〇、六、九	四、五〇三	四、一九九	三、九四二	三、七三三	三、五五三	四、七四〇	四、四二〇	四、一五〇	三、九三〇	三、七四〇	三、七三〇	三、四一〇	三、一四〇	二、九二〇	二、七三〇	三、七三〇	三、四一〇	三、一四〇	二、九二〇	二、七三〇
一一、六、二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、八六〇	三、五三〇	三、二五〇	二、九八〇	二、八一〇	三、八六〇	三、五三〇	三、二五〇	二、九八〇	二、八一〇
一二、一二、二七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、七〇〇	三、三七〇	三、〇九〇	二、八二〇	二、六五〇	三、七〇〇	三、三七〇	三、〇九〇	二、八二〇	二、六五〇
一四、一二、二九	四、一七〇	三、八七〇	三、六一〇	三、四〇〇	三、二二〇	四、三九〇	四、〇七〇	三、八〇〇	三、五八〇	三、三九〇	三、五三〇	三、一九〇	二、九一〇	二、六四〇	二、四七〇	三、五三〇	三、一九〇	二、九一〇	二、六四〇	二、四七〇

(二) 內地再製鹽賣渡價格

告示年月日	一般定價(鹽元賣捌人賣) 一等	二等	三等	四等	五等	特別定價 一回一萬斤以上賣小賣人及直接鹽賣人賣 一等	二等	三等	四等	五等	特別定價 輸移出用賣 一等	二等	三等	四等	五等	特別定價 其の他の特別用途賣 一等	二等	三等	四等	五等
大正七年一二月一七日	三、五七三厘	三、三五三厘	三、一七三厘	三、〇二二厘	二、八八八厘	三、七六〇厘	三、五三〇厘	三、三四〇厘	三、一八〇厘	三、〇四〇厘	三、四三〇厘	三、二三〇厘	三、〇四〇厘	二、八三〇厘	二、六五〇厘	三、四三〇厘	三、二三〇厘	三、〇四〇厘	二、八三〇厘	二、六五〇厘

大正七年一二月二九日	三、八〇九厘	三、五九一厘	三、四一〇厘	三、二五八厘	三、一二五厘	四、〇一〇厘	三、七八〇厘	三、五九〇厘	三、四三〇厘	三、二九〇厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘
八、五、二二	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	三、三三〇	三、一二〇	二、九三〇	二、七二〇	二、五五〇	三、三三〇	三、一二〇	二、九三〇	二、七二〇	二、五五〇
〃　六、二八	四、〇五六	三、八三八	三、六五七	三、五〇五	三、三七二	四、二七〇	四、〇四〇	三、八五〇	三、六九〇	三、五五〇	三、五六〇	三、三四〇	三、一四〇	二、九三〇	二、七五〇	三、五六〇	三、三四〇	三、一四〇	二、九三〇	二、七五〇
九、五、二九	五、五五七	五、一五八	四、八三五	四、五六九	四、三三二	五、八五〇	五、四三〇	五、〇九〇	四、八一〇	四、五六〇	四、六六〇	四、四一〇	四、二一〇	三、九五〇	三、七二〇	四、六六〇	四、四一〇	四、二一〇	三、九五〇	三、七二〇
〃　一〇、二八	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	三、七八〇	三、五八〇	三、四二〇	三、二一〇	三、〇四〇	三、七八〇	三、五八〇	三、四二〇	三、二一〇	三、〇四〇
〃　一二、二八	五、〇六三	四、七一二	四、四一七	四、一八〇	三、九七一	五、三三〇	四、九六〇	四、六五〇	四、四〇〇	四、一八〇	三、三四〇	三、一八〇	三、〇三〇	二、八三〇	二、六七〇	三、三四〇	三、一八〇	三、〇三〇	二、八三〇	二、六七〇
一〇、四、三〇	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	二、九五〇	二、八一〇	二、六七〇	二、五一〇	二、三六〇	二、九五〇	二、八一〇	二、六七〇	二、五一〇	二、三六〇
〃　六、九	四、五〇三	四、一九九	三、九四二	三、七三三	三、五五三	四、七四〇	四、四二〇	四、一五〇	三、九三〇	三、七四〇	二、七六〇	二、六二〇	二、四九〇	二、三四〇	二、一九〇	二、七六〇	二、六二〇	二、四九〇	二、三四〇	二、一九〇
一三、九、二	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	二、八九〇	二、七四〇	二、六二〇	二、四四〇	二、二九〇	二、八九〇	二、七四〇	二、六二〇	二、四四〇	二、二九〇
〃　一二、一〇	|	|	|	|	|	|	|	|	|	|	二、八四〇	二、六九〇	二、五七〇	二、三九〇	二、二五〇	二、八四〇	二、六九〇	二、五七〇	二、三九〇	二、二五〇
一四、一二、二九	四、一七〇	三、八七〇	三、六一〇	三、四〇〇	三、二三〇	四、三九〇	四、〇七〇	三、八〇〇	三、五八〇	三、三九〇	二、七四〇	二、六一〇	二、四八〇	二、三一〇	二、一七〇	二、七四〇	二、六一〇	二、四八〇	二、三一〇	二、一七〇

（三）食卓鹽賣渡價格

告示年月日	一般定價（鹽元賣捌人賣）							特別定價（一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣）						
	一斤罐入	半斤罐入	四十匁紙製罐入	二十匁紙製罐入	六百瓦壜入	三百瓦壜入	百五十瓦壜入	一斤罐入	半斤罐入	四十匁紙製罐入	二十匁紙製罐入	六百瓦壜入	三百瓦壜入	百五十瓦壜入
大正一〇年三月一四日	三三、三〇〇厘	三八、〇〇〇厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	三四、〇〇〇厘	四〇、〇〇〇厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘
一一、一、二〇	|	|	三三、二五〇	四〇、八五〇	|	|	|	|	|	三五、〇〇〇	四三、〇〇〇	|	|	|
一四、一二、二九	二九、四五〇	|	|	|	三一、三五〇	三八、〇〇〇	四四、六五〇	|	|	|	|	三三、〇〇〇	四〇、〇〇〇	四七、〇〇〇

（四）輸移入鹽賣渡價格

（イ）一般定價（百斤當）

告示年月日	上等原鹽			竝等原鹽			再製鹽		煎熬鹽	備考
	臺灣	關東州	青島	臺灣	關東州	青島	關東州	青島	臺灣	
明治三八年五月二六日	二、二七〇厘	|厘	|厘	二、二〇〇厘	|厘	|厘	|厘	|厘	|厘	散鹽
〃　七、二七	二、三九〇	|	|	二、二五〇	|	|	|	|	|	〃
三九、六、	|	|	|	|	二、三一〇	|	|	|	|	〃
〃　一二、七	二、二七〇	|	|	二、二〇〇	二、二六〇	|	|	|	|	〃
四〇、六、一一	二、三六〇	|	|	二、二九〇	二、三五〇	|	|	|	|	〃
四一、六、一六	二、四二〇	|	|	二、三五〇	二、四一〇	|	|	|	|	〃
四三、四、一一	二、四〇〇	|	|	二、三三〇	二、三九〇	|	|	|	|	〃
四五、二、二一	二、二七〇	|	|	二、二〇〇	二、二六〇	|	|	|	|	〃
〃　四、九	|	二、二八〇	|	|	二、二六〇	|	|	|	|	〃
大正二、一〇、二	二、一〇〇	二、一一〇	|	二、〇三〇	二、〇九〇	|	|	|	|	〃
四、三、三〇	|	|	|	|	|	|	二、六五〇	|	|	〃
〃　一二、二七	二、〇四〇	二、〇五〇	|	一、九七〇	二、〇三〇	|	二、五九〇	|	|	〃
六、四、四	二、一六〇	二、一七〇	|	二、〇九〇	二、一五〇	|	|	|	|	〃
〃　六、二〇	二、二八〇	二、二九〇	|	二、二一〇	二、二七〇	二、二七〇	二、七三〇	|	|	〃
〃　一〇、二九	二、七三〇	二、七四〇	|	二、六六〇	二、七二〇	|	三、一八〇	|	|	〃
七、四、二三	|	|	|	|	|	二、六六〇	|	三、一八〇	|	〃
〃　九、一六	二、七〇〇	二、七〇〇	|	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	三、一五〇	三、一五〇	|	〃
八、五、二二	二、九五四	二、九五四	|	二、七五五	二、七五五	二、七五五	三、四〇一	三、四〇一	|	百斤叺入
〃　六、二八	三、一六三	三、一六三	|	二、九四五	二、九四五	二、九四五	三、六三八	三、六三八	|	〃
九、二、六	|		三、一六三	|	|	|	|	|	|	〃
〃　五、二九	四、一八〇	四、一八〇	四、一八〇	三、八九五	三、八九五	三、八九五	四、六八三	四、六八三	|	八十斤叺入

大正　九、一二、二八	三、九六一	三、九六一	三、九六一	三、六七六	三、六七六	三、六七六	四、四〇八	四、四〇八	—	八十斤叺入
一〇、六、九	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、三一五	三、三一五	三、三一五	三、九九〇	三、九九〇	—	〃
一一、五、三	—	—	—	—	—	—	—	—	三、七八一	〃
一四、一二、二九	三、四六〇	三、四六〇	三、四六〇	三、一八〇	三、一八〇	三、一八〇	三、八三〇	三、八三〇	三、六三〇	〃

（備　考）大正八年三月迄は特に指定したる鹽元賣捌人に賣渡す價格同五月以降は一般鹽元賣捌人に賣渡す價格とす。

（四）輸移入鹽賣渡價格　（ロ）特別定價（百斤當）

告示年月日	上等原鹽 臺灣（厘）	上等原鹽 關東州（厘）	上等原鹽 青島（厘）	並等原鹽 臺灣（厘）	並等原鹽 關東州（厘）	並等原鹽 青島（厘）	再製鹽 關東州（厘）	再製鹽 青島（厘）	煎熬鹽 臺灣（厘）	備考
明治三八、五、二六	九七〇	—	—	九〇〇	—	—	—	—	—	普通特別用散鹽
	七九〇	—	—	七三〇	—	—	—	—	—	輸出用 〃
〃　七、二七	一、〇九〇	—	—	九五〇	—	—	—	—	—	普通特別用 〃
	九一〇	—	—	七七〇	—	—	—	—	—	輸出用 〃
〃　一一、	一、〇九〇	—	—	九五〇	—	—	—	—	—	普通特別用 〃
	九一〇	—	—	七七〇	—	—	—	—	—	輸出用 〃
	九九〇	—	—	八五〇	—	—	—	—	—	工業用 〃
三九、四、	一、〇九〇	—	—	九五〇	—	—	—	—	—	普通特別用 〃
	九一〇	—	—	七七〇	—	—	—	—	—	輸出用 〃
	九六〇	—	—	八三〇	—	—	—	—	—	工業用 〃
〃　一二、	九七〇	—	—	九〇〇	—	—	—	—	—	普通特別用 〃
	七九〇	—	—	七三〇	—	—	—	—	—	輸出用 〃
	八四〇	—	—	七七〇	—	—	—	—	—	工業用 〃
四〇、四、	九七〇	—	—	九〇〇	—	—	—	—	—	輸出又は普通特別用 〃
	八四〇	—	—	七七〇	—	—	—	—	—	工業用 〃
〃　五、	—	—	—	—	七七〇	—	—	—	—	工業用 〃
〃　六、	一、〇六〇	—	—	九九〇	—	—	—	—	—	輸出又は普通特別用 〃
	八九〇	—	—	八二〇	八二〇	—	—	—	—	工業用 〃
四一、六、一六	一、一三〇	—	—	一、〇五〇	一、一一〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	八九〇	—	—	八二〇	八二〇	—	—	—	—	工業用 〃
〃　一、二	一、一三〇	—	—	一、〇五〇	一、一一〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	七七〇	—	—	七〇〇	七〇〇	—	—	—	—	工業用 〃
四二、一〇、二〇	一、〇一〇	—	—	九四〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	七七〇	—	—	七〇〇	七〇〇	—	—	—	—	工業用 〃
四三、四、一一	九九〇	—	—	九二〇	九八〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	七五〇	—	—	六八〇	六八〇	—	—	—	—	工業用 〃
四四、三、三一	九九〇	—	—	九二〇	九八〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	七五〇	—	—	六五〇	六五〇	—	—	—	—	工業用 〃
四五、二、二一	八六〇	—	—	七九〇	八五〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	七五〇	—	—	六三〇	六三〇	—	—	—	—	工業用 〃
〃　四、九	—	八七〇	—	—	八五〇	—	—	—	—	輸移出又は普通特別用 〃
	—	六五〇	—	—	六三〇	—	—	—	—	工業用 〃
大正　元、一一、六	八六〇	八七〇	—	七九〇	八五〇	—	—	—	—	普通特別用 〃
	七一〇	七二〇	—	—	七〇〇	—	—	—	—	輸移出用 〃
	七一〇	六五〇	—	六三〇	六三〇	—	—	—	—	工業用 〃
二、一〇、二	七三〇	六八〇	—	六七〇	六四〇	—	—	—	—	普通特別用 〃
	七一〇	六五〇	—	六六〇	六三〇	—	—	—	—	輸移出用 〃
	七一〇	六五〇	—	六三〇	六三〇	—	—	—	—	工業用 〃
三、四、九	七三〇	六七〇	—	六七〇	六四〇	—	—	—	—	普通特別用 〃
	七一〇	六五〇	—	六三〇	六三〇	—	—	—	—	輸移出又は工業用 〃
四、三、三〇	—	—	—	—	—	—	一、一〇〇	—	—	普通特別用 〃
	—	—	—	—	—	—	一、一〇〇	—	—	輸移出又は工業用 〃
六、四、四	九二〇	八七〇	—	八七〇	八四〇	—	一、三〇〇	—	—	普通特別用 〃

年月日	用途									
	輸移出又は工業用散塩	九一〇厘	八五〇厘	—厘	八三〇厘	八三〇厘	—厘	一,三〇〇厘	—厘	—厘
大正六年六月二〇日	普通特別用 〃	九九〇	九四〇	—	九四〇	九一〇	—	一,三七〇	—	—
	輸移出又は工業用 〃	九八〇	九二〇	—	九〇〇	九〇〇	八三〇	一,三七〇	—	—
〃一〇、二九	普通特別用 〃	一,四四〇	一,三九〇	—	一,三九〇	一,三六〇	一,二八〇	一,八二〇	—	—
	輸移出又は工業用 〃	一,四三〇	一,三七〇	—	一,三五〇	一,三五〇	一,二八〇	一,八二〇	—	—
七、四、二三	普通特別用 〃	一,五四〇	一,四九〇	—	一,四九〇	一,四六〇	一,二五〇	一,九二〇	一,八〇〇	—
	輸移出又は工業用 〃	一,五三〇	一,四七〇	—	一,四五〇	一,四五〇	一,二五〇	一,九二〇	一,八〇〇	—
〃一一、五	普通特別用 〃	一,六九〇	一,六四〇	—	一,六四〇	一,六二〇	一,四六〇	二,〇七〇	二,〇二〇	—
	輸移出又は工業用 〃	一,六八〇	一,六二〇	—	一,六〇〇	一,六〇〇	一,四六〇	二,〇七〇	二,〇二〇	—
〃一二、一七	普通特別用 〃	—	—	—	—	—	一,六七〇	—	—	—
	輸移出又は工業用 〃	—	—	—	—	—	一,六七〇	—	—	—
八、五、二二	普通特別用 百斤叺入	一,六三〇	一,九六〇	—	一,五五〇	一,九三〇	一,六四〇	二,七五〇	二,八五〇	—
	輸移出又は工業用 〃	一,六二〇	一,九四〇	—	一,五一七	一,九二〇	一,六四〇	二,七五〇	二,八五〇	—
九、二、六	普通特別用 〃	—	—	二,二五〇	—	—	—	—	—	—
	輸移出又は工業用 〃	—	—	二,二五〇	—	—	—	—	—	—
〃五、二九	普通特別用 八十斤叺入	二,二三〇	二,五九〇	二,四七〇	二,〇八〇	二,四九〇	二,一九〇	三,七一〇	三,七一〇	—
	輸移出又は工業用 〃	二,二一〇	二,五七〇	二,四七〇	二,〇七〇	二,四八〇	二,一九〇	三,七一〇	三,七一〇	—
〃一〇、二八	普通特別用 〃	—	一,九六〇	一,五三〇	—	一,八二〇	一,三八〇	三,七一〇	二,八九〇	—
	輸移出又は工業用 〃	—	一,九四〇	一,五三〇	—	一,八〇〇	一,三八〇	三,七一〇	二,八九〇	—
〃一二、二八	普通特別用 〃	二,一二〇	一,八六〇	一,四三〇	一,九八〇	一,七二〇	一,二八〇	—	—	—
	輸移出又は工業用 〃	二,一一〇	一,八四〇	一,四三〇	一,九七〇	一,七〇〇	一,二八〇	—	—	—
一〇、四、三〇	普通特別用 〃	一,八九〇	一,四四〇	一,二六〇	一,七六〇	一,三四〇	一,一六〇	—	二,二八〇	—
	輸移出又は工業用 〃	一,八八〇	一,四二〇	一,二六〇	一,七五〇	一,三三〇	一,一六〇	—	二,二八〇	—
〃一〇、一五	普通特別用 〃	一,八七〇	一,三九〇	一,三三〇	一,七三〇	一,二九〇	一,二二〇	—	二,三九〇	—
	輸移出又は工業用 〃	一,八六〇	一,三七〇	一,三三〇	一,七二〇	一,二八〇	一,二二〇	—	二,三九〇	—
一一、五、三	普通特別用 〃	—	—	—	—	—	—	—	—	二,九二〇
	輸移出又は工業用 〃	—	—	—	—	—	—	—	—	二,九二〇
一二、五、一〇	普通特別用 〃	—	—	—	—	—	—	二,三七〇	—	二,六四〇
	輸移出又は工業用 〃	—	—	—	—	—	—	二,三七〇	—	二,六四〇
一三、六、二七	普通特別用 〃	一,七三〇	一,五三〇	—	一,五九〇	一,四三〇	—	—	—	二,七三〇
	輸移出又は工業用 〃	一,七一〇	一,五一〇	—	一,五八〇	一,四二〇	—	—	—	二,七三〇
〃一二、一〇	普通特別用 〃	一,六七〇	一,四八〇	—	一,五四〇	一,三八〇	—	—	—	二,六八〇
	輸移出又は工業用 〃	一,六六〇	一,四六〇	—	一,五三〇	一,三七〇	—	—	—	二,六八〇
一四、一二、二八	普通特別用 〃	一,六七〇	一,四八〇	一,三三〇	一,五四〇	一,三八〇	一,二二〇	二,三七〇	二,三九〇	二,五七〇
	輸移出又は工業用 〃	一,六六〇	一,四六〇	一,三三〇	一,五三〇	一,三七〇	一,二二〇	二,三七〇	二,三九〇	二,五七〇

次に專賣實施以來每年度の塩賣渡高（第一表）、昭和元年度府縣別賣渡高（第二表）、賣渡數量別人員（第三表）、特別定價賣渡塩用途別（第四表）、及月別賣渡高（第五表）を表示すれば左の如し。

（一）塩賣渡高表　（イ）累年比較

年度	一般定價賣渡 數量	一般定價賣渡 代金	特別定價賣渡 數量	特別定價賣渡 代金	合計 數量	合計 代金
明治三八	四九六,八五八,七一八斤	一三,四四五,一二四円	一三三,八五七,九〇一斤	一,五三四,六〇七円	六一九,七一六,六一九斤	一三,九七九,七三四円
*	二二,八五九,九〇七	六〇七,二一八	四,五一六,六八〇	五九,三〇七	二七,三七六,一八七	六六六,五二五
三九	九一二,二二八,八〇五	二三,九〇四,八一七	九八,〇六九,二九六	九七〇,八七九	一,〇一〇,二八八,一〇一	二三,八七五,六九七
*	三七,一一九,九四二	九七九,七一一	三,三八三,五二三	三四,八四一	四〇,五〇三,四六五	一,〇一四,五五二
四〇	九六一,五九六,五二九	二四,二六四,九二一	九二,九四五,〇四九	九八九,八五二	一,〇五四,五四一,五七八	二五,二五四,七七三
*	四〇,二六三,五四二	一,〇四八,六二一	二,一五八,七四四	三三,二三八	四二,四二二,二八六	一,〇七〇,八五九
四一	九五三,七九五,六七九	二三,六七七,二三八	五七,五七三,四一九	八一九,九一四	一,〇一一,三六九,〇九八	二四,四九七,一五二
*	三三,七二四,九四七	八六三,九七八	一,八二八,四二六	三〇,一二六	三五,五五三,三七三	八九四,一〇五
四二	九九六,〇八一,二九四	二四,五三三,四三三	二三,一二〇,一〇一	二二八,四二六	一,〇一九,二〇一,三九五	二四,七六〇,八五九
*	三三,五五三,九七〇	八五〇,八七六	七三〇,九六七	九,四〇五	三四,二八四,九三七	八六〇,三八一

明治四三	九七五、三八四、七五七斤 *二五、三三六、六七六	二三、七七一、四六四円 *六三三、二四五	三三、七九一、三五七斤 *七〇七、〇三〇	二七五、三五二円 *五、七六八	一、〇〇九、一七六、一一四斤 *二六、〇四三、七〇六	二四、〇四六、八一六円 *六三八、〇一四
四四	一、一〇七、一六〇、六二四 *二〇、五四〇、五八九	二七、〇〇六、三一四 *五〇五、二一〇	三五、六六三、七三一 *五二七、五五六	二七七、六四一 *三、七三六	一、一四三、八二四、三四五 *二一、〇六八、一四五	二七、二八三、九五五 *五〇八、九四七
大正元	一、〇七八、六七六、二六四 *一七、三六四、四一九	二六、三九三、二二一 *四三六、八五五	三九、二四五、一四四 *五四九、一五〇	三〇三、一八七 *三、二四九	一、一一七、九二一、四〇八 *一七、九一三、五六九	二六、六九六、四〇九 *四四〇、一〇四
二	一、一四七、三〇六、五九七 *一九、七六八、二〇三	二七、二〇八、〇一三 *四八一、六七六	五七、三四七、一九九 *五八三、〇五四	四五九、二三四 *三、四八九	一、二〇四、六五三、七九六 *二〇、三五一、二五七	二七、六六七、二四七 *四八五、一六五
三	一、一三九、五一八、六二六 *一三、三〇九、五五七	二五、九四五、七五七 *二九三、〇七五	四四、三九九、六八一 *六八二、六八九	三二二、三〇八 *三、四六五	一、一八三、九一八、三〇七 *一三、九九二、二四六	二六、二六八、〇六六 *二九六、五四一
四	一、〇九三、八〇一、〇五七 *九、〇六三、五二一	二四、八四六、六〇三 *二一三、七二〇	五八、九七七、七四二 *一、〇一三、八二三	四二五、一八五 *四、六二五	一、一五二、七七八、七九九 *一〇、〇七七、三四六	二五、二七一、七八九 *二一七、三四五
五	一、一五八、三四九、九八七 *八、一二三、八二一	二六、〇五六、二四三 *一八六、八八七	七四、七四五、八一四 *七八九、四五五	五四六、八一八 *三、六一二	一、二三三、〇九五、八〇三 *八、九一三、二六六	二六、六〇三、〇六二 *一九〇、四九九
六	一、二六六、一四一、八一三 *八、三三三、九一七	三三、六四四、一〇三 *二三〇、七六五	一〇三、一五三、九五五 *一、四三三、一八一	一、〇四九、三三一 *七、九一〇	一、三六九、二九五、七六八 *九、七六七、〇九八	三四、六九三、四三五 *二三八、六七五
七	一、一八二、三三八、九二六 *八、二二二、六五二	三四、五八八、三九二 *二二一、二一六	九七、六六〇、五一九 *一、七〇六、九七八	一、二三三、三一一 *一〇、七三九	一、二七九、九九九、四四六 *九、九一九、六三〇	三五、八二〇、七〇三 *二三一、九五六
八	一、五三三、〇七七、八八九 *六、〇四〇、二六七	五〇、二二三、一九〇 *一八七、三三七	一三九、六〇〇、七六三 *一、五二六、五六三	二、二一一、七四四 *九、四三四	一、六六二、六七八、六五三 *七、五六六、八三〇	五二、四三三、九三四 *一九六、七七三
九	一、一二四、一八七、〇三七 *六、一七七、〇七三	四七、八一三、一八三 *二五八、〇七八	一〇〇、一四六、一八七 *九〇七、七八七	一、七三二、四二九 *八、一五三	一、二二四、三三三、二二五 *七、〇八四、八六〇	四九、五三四、六一二 *二六六、二三三
一〇	一、二一〇、六三〇、〇六八 *八、五一三、〇二一	四五、八二九、二六一 *三三一、五六三	一三七、〇九〇、〇七九 *七七七、九五〇	一、四四二、二一六 *八、四〇〇	一、三三七、七二〇、一四七 *九、二九〇、九七一	四七、二七一、四七七 *三三九、九六三
一一	一、二四一、〇八一、七七八 *八、六八八、四五九	四六、二九八、二六六 *三三三、〇七五	二〇四、六九七、七一二 *九四一、六七五	二、七一七、一八九 *九、七一六	一、四四五、七七九、四九〇 *九、六三〇、一三四	四九、〇二五、四五九 *三四一、七九二
一二	一、二二二、六一九、二二三 *五、五三〇、九五三	四五、五七五、六九四 *二二〇、三七六	一三四、一二七、六〇二 *六五八、八六〇	一、四五七、〇八二 *六、一五三	一、三四六、七四六、八二五 *六、一八九、八一三	四七、〇三二、七七六 *二二六、五二九
一三	一、二一一、八四四、五一五 *五、八五四、六三七	四六、二〇三、五五五 *二三五、八二〇	一四八、九七二、二四七 *三九三、五九〇	一、七二〇、八九八 *三、一八八	一、三六〇、八一六、七六二 *六、二四八、二二七	四七、九一四、四五三 *二三九、〇〇九
一四	一、二一七、三〇〇、〇五八 *五、九二一、九九〇	四六、〇九九、二五一 *二三二、三八一	一六二、四一六、三八六 *四七六、五九二	一、八一四、六〇一 *四、七一八	一、三七九、七一六、四四五 *六、三九八、五八二	四七、九一三、八五三 *二三七、一〇〇
昭和元	一、二四六、一九九、五六七 *六、一三三、五六五	四四、四八五、二八六 *二二〇、六五七	一八六、七二〇、六一八 *一、一一一、〇六〇	一、八〇九、九六三 *一八、六八五	一、四三二、九二〇、一八五 *七、二四三、六二五	四六、二九五、二四九 *二三九、三四三

（備　考）一、*印は指定引渡鹽にして内書なり（次表亦同じ）。
二、明治三十八年度分は同年六月より三十九年三月迄とす。

（一）鹽賣渡高表　（ロ）種類別賣渡高（昭和元年度）

種類	一般定價 數量	一般定價 代金	特別定價 數量	特別定價 代金	合計 數量	合計 代金
內地鹽	一、〇一六、六二七、八三九斤 *六、一三三、五六五	三六、九〇三、七六四円 *二三〇、六五七	三、三四七、八三八斤 *一、一一一、〇六〇	七七、六三〇円 *一八、六八五	一、〇一九、九七五、六七七斤 *七、二四三、六二五	三六、九八〇、三九五円 *二三九、三四三
再製鹽	三三、二四六、七五五	一、二六一、三五五	九二〇、八二四	二三、五八七	三四、一六七、五七九	一、二八四、九四三
食卓鹽	二三〇、一八七	八五、八九六	—	—	二三〇、一八七	八五、八九六
臺灣鹽	九〇、八七四、七七三	二、九五七、〇三九	四、七一〇、〇六〇	九五、六六三	九五、五八四、八三三	三、〇五三、七〇三
關東州鹽	六二、四九五、六一九	一、九四一、三五三	四九、六二四、五三〇	四八二、〇八一	一一二、一二〇、一三九	二、四二三、四三四
青島鹽	三五、三五六、三〇四	一、〇八三、二三〇	四六、五一五、八七一	三三二、七一五	八一、八七二、一七五	一、四一五、九四六
英國鹽	五三、五一六	六、一九九	二六、九四八	一、〇一八	八〇、四六四	七、二一八
獨逸鹽	八一九、九五八	三〇、一二五	五、九七六、五二〇	六九、六二六	六、七九六、四七八	九九、七五三
埃及鹽	四六五、三八五	一五、八六九	二六、七六三、三〇〇	二四五、八六五	二七、二二八、六八五	二六一、七三四

西班牙鹽	六、〇二九、二〇〇斤	二〇一、四四八円	四八、七五三、四〇八斤	四八一、四〇六円	五四、七八二、六〇八斤	六八二、八五三円
露西亞鹽	二八	一	―	―	二八	一
支那鹽	―	―	一〇、五〇〇	二八三	一〇、五〇〇	二八三
朝鮮鹽	―	―	三、〇二九	六九	三、〇二九	六九
其他	―	―	六七、八〇〇	一三	六七、八〇〇	一三
合計	一、二四六、一九九、五六七 *六、一三二、五六五	四四、四八五、二八六 *二三〇、六五七	一八六、七二〇、六一八 *一、一一一、〇六〇	一、八〇九、九六三 *一八、六八五	一、四三三、九二〇、一八五 *七、二四三、六二五	四六、二九五、二四九 *二三九、三四三

(二) 鹽賣渡高府縣別表(昭和元年度)

府縣名	數量	代金	一人當消費量 數量	一人當消費量 代金
北海道	八七、六三三、三〇六斤 *一、四〇一、八〇〇	三、一一三、〇三〇円 *二三、〇一三	二五斤	一、二四〇厘
青森	一九、二七〇、〇八七	六九七、二八三	二三	八四五
岩手	一九、五四〇、二一〇	七〇三、七四五	二一	七七〇
宮城	二六、三一五、七六五	九六一、二二四	二四	九〇五
秋田	二一、〇〇〇、五九〇	七五九、一九四	二二	八〇四
山形	二三、八七四、一一三	八二八、一一三	一九	七九七
福島	二九、二六二、五五四	一、〇四七、一三〇	二〇	七三〇
茨城	二八、二〇六、四三六	一、〇三三、二一三	一九	七一九
栃木	二一、四二七、六九〇	七七一、八六九	一九	六九九
群馬	二四、六九八、〇七七	八七二、四三〇	二一	七六九
埼玉	二六、五九九、九〇四	九五六、一九八	一九	六七八
千葉	三六、三一七、八五一斤	一、二七九、二九九円	二五斤	九〇五厘
東京	一三五、八七七、四一三	三、五一六、三六九	二九	七五六
神奈川	二七、七八三、五〇五	九六一、四九九	一九	六六九
新潟	四三、二九一、六九一	一、四五七、七七四	二三	七八三
富山	一五、六八四、三四九	五六五、八四三	二一	七五〇
石川	一五、四九八、八九六	五五七、四六六	二一	七四二
福井	一二、五一四、三一四	四五三、五四九	二〇	七五八
山梨	一〇、五一九、八六六	三八一、〇五五	一七	六三一
長野	三三、四九一、七〇七	一、一九六、六四三	二〇	七二八
岐阜	一七、一二七、五四五	六一六、一七三	一五	五三七
靜岡	三五、六〇七、九九〇	一、二二二、六三七	二一	七一四
愛知	五四、八三八、七七四	一、六四〇、二五六	二三	六八八
三重	二五、七四八、一六一	八九六、四一八	二三	八〇三
滋賀	一三、七〇九、〇七一	四五三、〇九三	一九	六八一
京都	二〇、七一六、四九〇	七四一、〇五三	一四	五一七
大阪	六九、二七七、八八〇	一、六三一、二四三	二二	五一六
兵庫	四八、八六二、五四六	一、七二三、九九一	一九	六九三
奈良	一一、〇九九、三七〇	三九九、九四六	一九	六八〇
和歌山	二五、八六〇、八〇〇	七五〇、五〇二	二二	九四三
鳥取	一〇、九三六、一〇〇	三九七、二三九	二三	八三四
島根	一三、五七六、七〇〇	四五四、四三八	一七	六二七
岡山	二五、九八八、四七三	九三〇、二八九	二一	七四八
廣島	三一、六〇八、六八四	一、一三九、六四七	一九	六九七
山口	四一、二三二、〇五八	一、〇二四、四九一	二七	九二六
德島	一九、九八〇、三七〇	七二七、五八一	二九	一、〇四八
香川	二〇、六二〇、一八三	一、〇三四、六六六	四三	一、四六八
愛媛	二〇、四九三、三四四	七五六、九五六	一八	六八四
高知	一三、四六四、〇三五	四五五、〇二八	一九	六五八
福岡	一〇六、一三一、七〇九	二、〇八〇、六〇〇	四五	八九四
佐賀	一六、九〇六、一六二	六三一、八二四	二五	九一九
長崎	二七、九七一、四二〇	一、〇三九、二三三	二四	八八八
熊本	二〇、一六一、七〇五	七三三、一三一	一五	五六〇
大分	二〇、五〇三、三八〇	七四五、四二八	二三	八〇五
宮崎	一二、四七二、六〇四	四五〇、八八二	一八	六四五
鹿兒島	三五、二九七、〇〇三	一、二七五、八一五	二四	八六〇
沖繩	六、五一七、四九一	二一八、七六九	一三	四一三
合計	一、四三一、五一八、三八五 *一、四〇一、八〇〇	四六、二七二、二三七 *二三、〇一三	二四	七六五

(備考) *印は輸出用として賣渡したるものにして外書なり。

(三) 鹽賣渡數量別人員表

年度	二百萬斤以上	百萬斤以上	五十萬斤以上	三十萬斤以上	十萬斤以上	五萬斤以上	三萬斤以上	一萬斤以上	一萬斤未滿	合計
明治三八	四三人	四六人	七一人	八〇人	五一二人	三五四人	四九九人	二、〇六四人	四、一三七人	七、八〇五人
三九	九八	七五	一三四	一二七	四八一	三九六	三八〇	一、二七一	六、四六四	九、四二六
四〇	八九	八七	一五五	一六九	五一三	五〇三	五三九	一、八一四	七、六五六	一一、五二三
四一	六〇	八三	一七一	二四八	九二三	七九六	七六六	二、三三一	三、五六八	八、九四五
四二	七三	一〇四	二一三	二九三	九五〇	六二六	四〇八	六六六	五五二	三、八八五

第十節　鹽の販賣

第二表　鹽專賣

年度	移出用	化學的業用	人造色素製造用	石鹼製造用	獸皮保存用	纖維用	製鋼用	窯業用	肥料用	選種用	家畜用	魚類鹽藏用	一回一萬斤以上賣	合計
明治四〇	斤													
四一	斤													
四二	斤													
四三	斤													
四四	斤													
四五	斤													
大正元	斤													
二	斤													
三	斤													
四	斤													
五	斤													
六	斤													
七	斤													
八	斤													
九	斤													

（四）特別定價賣渡鹽用途別表

昭和														
元	一四三	一一二	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
二	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
三	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
四	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
五	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
六	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
七	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
八	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
九	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十一	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十二	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十三	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十四	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十五	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十六	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十七	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十八	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
十九	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
二十	一四四	一一三	一〇九	八七	六五	四三	二元	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八

年度	明治三八	三九	四〇	四一	四二
四月	一一	一一	一一	一一	一一
五月	一一	一一	一一	一一	一一
六月	一一	一一	一一	一一	一一
七月	一一	一一	一一	一一	一一
八月	一一	一一	一一	一一	一一
九月	一一	一一	一一	一一	一一
十月	一一	一一	一一	一一	一一
十一月	一一	一一	一一	一一	一一
十二月	一一	一一	一一	一一	一一
一月	一一	一一	一一	一一	一一
二月	一一	一一	一一	一一	一一
三月	一一	一一	一一	一一	一一
合計	一一	一一	一一	一一	一一

（五）鹽賣渡高月別表

年度	大正一〇	一一	一二	一三	一四	昭和元
四月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
五月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
六月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
七月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
八月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
九月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
十月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
十一月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
十二月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
二月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
三月	一一	一一	一一	一一	一一	一一
合計	一一	一一	一一	一一	一一	一一

大正一二	九二、八六九、八〇五 斤	一〇八、四三〇、九一二 斤	一〇三、七六二、四一三 斤	一二一、一五三、七八〇 斤	一三二、九七三、三五一 斤	一三二、〇一三、四〇四 斤	一四二、四二一、九四四 斤	一四七、〇八五、〇六四 斤	一三八、三九七、五五四 斤	九六、七二〇、六二三 斤	六三、九四七、三三三 斤	八六、九七〇、六三三 斤	一、三四六、七四六、八二五 斤
	三、二〇九、五八三 円	三、七七七、八八八 円	三、五二五、六六三 円	三、九六四、二八八 円	四、四〇〇、四九八 円	四、七二〇、四四五 円	五、一〇一、二五〇 円	五、〇七四、一二二 円	四、八五八、四五九 円	三、二〇六、三五九 円	二、一九〇、九二八 円	三、〇〇三、二八九 円	四七、〇三三、七七六 円
一三	一〇〇、五一五、九〇四	九七、二八二、八五三	一〇六、五七八、四四九	一二四、〇二八、五七五	一三〇、七六五、五九一	一五五、四六七、二三五	一三四、〇三七、八七九	一五四、一六四、八二一	一三六、二七一、四四〇	七七、三四二、五六八	六三、三〇四、六〇〇	八二、〇五六、八四七	一、三六〇、八一六、七六三
	三、五六八、一九七	三、四三三、八〇四	三、五二七、七八六	四、四三七、四七三	四、六六五、七六四	五、六八五、九四二	四、八一六、六二九	五、二一一、〇二一	四、八五二、九七四	二、七一二、〇六四	二、一五九、八七八	二、八四二、九一六	四七、九一四、四五三
一四	九九、六二五、五〇一	九七、七三九、九九六	一〇五、九五一、八二四	一三六、〇六〇、二〇三	一三八、五三八、二一四	一三八、九六六、八一六	一三五、七六六、九二〇	一四五、二九五、七六五	一〇六、四四四、六五〇	一二〇、四八七、四〇八	八〇、一二七、〇九七	一〇四、七一二、〇四八	一、三七九、七一六、四四五
	三、四五六、三九三	三、四四五、三四九	三、三三八、三一〇	四、五一五、一一三	四、八四四、〇九九	四、七一九、九九一	五、〇八二、四九一	五、一六二、三七七	三、七七五、九七八	四、〇七八、六二三	二、三三八、五九四	三、一六六、五三一	四七、九一三、八五三
昭和元	一三七、二四一、六七二	一〇七、〇九四、八九三	九八、八二三、一三二	一二一、一四一、八二三	一三八、六七六、五七五	一四四、九五三、八三二	一四八、四五〇、五六三	一五六、三七四、九一九	一四九、四一八、六六七	九五、四〇〇、一七八	七五、六〇九、五七五	八九、七三四、三五五	一、四三二、九二〇、一八五
	四、〇〇五、九五七	三、六九三、一二二	三、一二四、七七六	三、七八四、一一〇	四、一五九、一一四	四、九四二、六八三	四、八五九、九四九	五、一八八、二七〇	四、六九三、〇〇一	二、九七五、六九五	二、〇三七、五四九	二、八三一、〇一九	四六、二九五、二四九

尙ほ鹽賣渡高に關聯して鹽の消費に就き一言すべし。國內に於ける鹽の消費量は前掲總賣渡高より輸移出用を控除したるものにして、輓近に於ては年平均十二三億斤の間に在りとす。全國各地を通じて最も需要の多き季節は大體七月より十二月に至る期間にして、畢竟此の季節は一般家庭に於ける蔬菜漬物用の消費多く、其の他醬油・味噌の製造用、魚類鹽藏用の需要旺盛なるに因る。今我國に於ける主なる鹽の用途別消費量の累年額を掲ぐれば左表の如くにして、大正末年に於ては一般漬物用約四億斤、醬油釀造用約三億五千萬斤、味噌製造用約二億五千萬斤、內地沿海魚類鹽藏用約九千五百萬斤、工業用約一億五千萬斤、農業用・獸皮保存用・鑛業用・窯業用等を合せて約一億斤に達せり。而して以上の如き各種の用途の中、一般漬物用・味噌醬油製造用・內地沿海の魚類鹽藏用（一部）としては、結晶細微にして且つ水分に溶解し易き內地產鹽の需要多く、他方大規模の味噌醬油製造業者・工業者・鑛業者又は遠洋漁業者の間には、結晶粗大なれども品質比較的優良にして、且つ價格の低廉なる輸移入鹽を歡迎するもの多きが如し。

內地に於ける用途別鹽消費高表

年度	漬物製造用	醬油製造用	味噌製造用	麵類製造用	魚類鹽藏用	選種用	肥料用	家畜用	獸皮保存用	鑛業用	其の他	計	工業用	輸移出用	合計
明治四一	二四六、二二三 千斤	三一六、八九三 千斤	一七〇、五二七 千斤	八、一九五 千斤	九七、一八二 千斤	三、六一四 千斤	三、二九五 千斤	一四、八一八 千斤	四、一六三 千斤	四二一 千斤	七七、〇〇六 千斤	九四二、三三三 千斤	二三、二七八 千斤	四、七七二 千斤	九七〇、三八三 千斤
四二	二八九、八六九	二八〇、九二六	一八八、二七三	九、四三九	一一九、四三一	一、二六九	三、六九七	九、九一九	三、三五〇	六三八	七〇、一二七	九七七、一一五	二六、一二七	四、二五七	九六九、七〇九
四三	二九六、七九四	二七五、八七八	一六九、九〇三	一一、三一八	一〇九、九四七	二、七〇九	一、八〇〇	一〇、三八三	三、〇五一	五三〇	五七、八三八	九四〇、一三七	二三、八三三	六、七三九	一、〇〇七、四九九
四四	三二四、七八九	二九五、〇二九	一九七、七九八	一三、九七八	一七〇、二七五	三、四九九	一、七三四	九、七九五	三、七九七	二五七	五五、三三三	一、〇七五、二七八	二七、四五〇	五、八〇四	一、一〇八、五三三
大正元	三三六、三三一	二六五、六六四	二〇一、九五一	一四、八四八	二一〇、〇七六	二、七五九	二、五二六	八、七七一	四、五二八	三七五	六〇、六五〇	一、一〇八、四七九	三一、二一五	一、三三八	一、一四一、〇三二
二	三五九、四五四	二七六、一五九	二一三、〇八五	一五、四〇七	一七六、〇三三	三、五九三	二、六六一	一三、一七三	四、五五九	二八八	五五、一一三	一、一一八、五一三	三四、一九三	一、二四三	一、一五三、九五六
三	三五二、六六五	二五七、五〇三	二〇九、〇〇七	一五、四一七	一五六、八五六	三、三五七	二、〇二五	九、〇五五	四、五六〇	二四一	五一、四九四	一、〇六二、一七九	三九、二三六	一、四九三	一、一〇三、九一三
四	三五四、〇五三	二六四、五八一	二二〇、七五四	一四、三〇四	一八七、七五〇	三、三六三	一、八五四	九、四六一	五、六五六	二三〇	四八、一五四	一、一一〇、一五九	五〇、四三七	三、三一三	一、一六三、九一二
五	三七八、二四三	二八三、六一三	二一一、四九八	一四、三二七	一七五、四二六	二、六〇三	一、七七八	九、五四三	五、八二七	三三〇	五四、九八八	一、一三八、一七四	六五、八九一	一〇、一四七	一、二一四、二一七
六	四〇五、三九五	二七六、三一九	一九一、〇二四	一七、〇七八	二六五、七三一	二、六三〇	一、八八九	八、八七五	五、九一一	八七六	五〇、八三二	一、二二六、五五九	一〇九、五五一	一、〇〇四	一、三三七、一一〇
七	四〇二、二一九	二八一、六九一	二一二、九四六	二〇、九〇八	二四七、三一三	二、〇二三	一、二二四	七、四九二	四、四六二	一二七	五四、四一〇	一、二三四、八一四	一〇四、一三六	三、〇三〇	一、三四一、九八四
八	四六四、二四八	三二〇、〇八九	二七八、九〇四	二八、四九五	二八四、二〇六	一、八八六	一、三〇五	八、六〇五	四、七五三	一六	七一、九四八	一、四六四、四五四	九九、四一一	五、四六五	一、五六九、三三〇
九	三六六、七七三	二九五、一三九	二一五、二九五	二四、七六一	二二六、〇六四	一、七五一	四九〇	八、五〇三	四、七二九	一〇四	六三、五四八	一、一九七、一五七	八二、七五四	一、四二一	一、二八一、三三三
一〇	三七五、二七三	三三八、七五九	二五二、五三九	二五、四二六	一五六、一三三	二、〇二九	一、二八四	九、一八六	五、六三六	一〇七	六四、一八二	一、二三〇、五五三	一〇四、七九七	二、四一〇	一、三三七、七六〇
一一	四〇三、四五二	三三七、五五六	二三一、二七一	二六、三九四	九八、〇五〇	一、六六九	一、五〇九	九、一一五	五、一〇〇	三七四	六〇、〇〇三	一、一七四、四九二	一一〇、三〇九	一四八、三三九	一、四三三、一三九
一二	四〇四、六四八	三五一、七八七	二四三、七七九	二五、九〇四	九五、六八七	一、五八五	一、二六二	九、〇二三	四、八四六	三、一二三	五一、八七九	一、一九三、五二三	一一四、七〇〇	四九、三五五	一、三五七、五七八
一三	三九四、一三五	三四七、二四八	二三五、六三六	二四、七一四	九九、二六九	一、五五四	一、〇八一	一〇、七七六	五、一一二	六、二四〇	五四、八六九	一、一八〇、六四三	一四二、九六八	五七、〇二二	一、三八〇、六三三
一四	四一三、三四八	三四四、九一二	二四一、四九九	二八、二九七	九五、一六八	一、三八三	一、三二五	一一、七一三	五、二九一	七、六三九	五八、三九二	一、二〇八、九六六	一五七、七八六	二三、七二五	一、三九〇、四七七
昭和元	四〇七、七〇四	三五五、六〇九	二四六、三〇七	二六、九六六	九五、二四〇	一、〇六〇	一、二九七	九、九三九	五、五二六	七、九三〇	五七、一四〇	一、二二四、七一八	一七一、九〇三	二六、五〇〇	一、四二三、一二一

（備考）本表は鹽賣捌人に賣渡したる鹽總額中、消費者に於て消費したりと認むべき數量を調査せるものなり。

第五款　市場販賣價格

既に述べたる如く、專賣法施行の初に於ては鹽賣捌人を指定せず、唯鹽賣買業者をして帳簿を設備して、鹽の買入數量・價額・買入月日・買入先竝に鹽の賣渡數量・價額・賣渡月日・賣渡先を毎日記載せしむるに止まり、其の販賣價格に就ては卸賣小賣共何等制限を加ふることなく、全く自由販賣に委ねたり。然るに當時會〻鹽作の凶歉に遇ひ、市價法外に昂騰したる爲め、政府は之を監視するの必要を認めて、明治三十八年七月より各鹽務局をして其の管内の主要地に就き、鹽の市場販賣價格を調査報告せしめることとし、更に三十九年度以降は鹽務局月報として鹽販賣價格竝に鹽運賃を調査報告せしめ、以て販賣價格の當否を稽査するに便ならしめたり。而して之と共に政府は鹽販賣業者の販賣價格を制限し得ることの權能を留保するの必要を認め、明治三十九年三月鹽專賣法を改正して、政府は命令の定むる所に依り鹽賣買業者の販賣する鹽の價格を制限することを得べく（第二十條ノ二）、此の制限を超えて販賣したる賣買業者に對しては、五圓以上二百圓以下の罰金を科するものと定めたり（第三十條ノ二）。仍て右の規定に基き同年五月大藏省令を以て鹽價制限方を定むると同時に、訓令を以て鹽務局長に對し之が取扱方に關する注意を與へたり。卽ち左の如し。

大藏省令第二十一號（明治三十九年五月二十八日）

第一條　鹽賣買業者ハ其ノ販賣スル鹽ノ價格ヲ店頭ニ掲示スヘシ

第二條　鹽務局長ハ必要ト認メタルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ鹽賣買業者ノ販賣スル鹽ノ價格ヲ制限スルコトヲ得

鹽務局長ハ前項ニ依リ鹽ノ價格ヲ制限シタルトキハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

大藏省訓令第二十五號（明治三十九年五月二十八日）

鹽務局長

鹽價ノ騰貴ハ細民ノ最モ苦痛トスル所ナルヲ以テ鹽專賣ノ執行ニ付テハ消費者ヲシテ常ニ過當ノ負擔ナカラシムルコトヲ期スルヲ要ス元來鹽價ハ產鹽不作ニシテ供給不充分ナルカ又ハ交通ノ障害アリタル場合ニ於テ其ノ騰貴スルハ固ヨリ已ムヲ得サルヘシト雖賣買業者ノ如何ニ依リテハ平時ト雖或ハ不當ノ價格ヲ以テ之ヲ販賣スルモノナキヲ保セス今回法令ヲ以テ政府ハ隨時鹽價ヲ制限シ得ヘキコトヲ定メタルハ蓋シ此ノ趣旨ニ外ナラサルヲ以テ將來鹽ノ供給ニ付テハ十分ノ注意ヲ加フルト同時ニ平素其ノ管内ニ於ケル鹽ノ取引ヲ查察シ不當ノ價格ヲ以テ販賣スル者アリト認メタルトキハ當業者ヲ戒飭シ時宜ニ應シテハ本大臣ニ經伺ノ上適當ノ制限ヲ加フルノ手段ヲ取ル等消費者ヲ保護スルコトニ注意スヘキハ勿論ナリ

政府は右の如く鹽價の制限を行ふと共に、他方同年九月に至り官費回送賣渡の制度を設け、以て鹽の產出少き地方に對する鹽の供給を潤澤ならしめんことを圖りしを以て、爾後市場販賣價格は各地とも概ね相當にして漸次低落し、明治三十九年度末より四十年度末に於ては全國の平均一升に付七錢二三厘となり、三十八年度に比して約一割方の下落を

見るに至れり。

明治四十一年七月鹽販賣制度を改正し、鹽賣捌人指定の制度を採用するに及び、新に鹽賣捌規則を制定して前掲鹽價制限方に關する省令の規定を之に移すと同時に、關係各收納所に對し左の如き通牒を發して、賣捌人の收得すべき利益歩合を限定し、以て一層鹽價取締の勵行を期せしめたり。而して此の通牒に於て元賣捌人の收得すべき利益歩合の制限額を百分の五と爲したるは、營業利益百分の三、減量補償百分の二を見込みたるものなるを以て、若し元賣捌人が減量を負擔せざる場合に於ては其の利益歩合は百分の三を超ゆることを得ざるものとす。又小賣人の收得すべき利益歩合を百分の三十と定めしは、營業利益百分の十二、減量補償百分の十八を見込みたるものなり。斯く兩者の減量補償歩合に區別を設けしは、制定當時全國に亙りて調査したる普通の減量歩合を參酌したるものなり。

『專賣局販賣收納部長通牒丁第三八四〇號（明治四十一年七月十五日）

鹽販賣監視を執行するに當り標準とすべき制限價格の算定方は左の通御承知相成度。

一　鹽元賣捌人が鹽小賣人に賣渡す鹽の價格は、政府の鹽元賣捌人に賣渡したる價格（各賠償價格に百斤當金一圓四十八錢を加へたる金額より百分の五を控除したるもの）に、鹽元賣捌人が政府に支拂ひたる鹽回送費、鹽販賣官署より鹽元賣捌人營業所に至る鹽運賃、及政府が鹽元賣捌人に賣渡すとき控除したる百分の五（營業所得百分の三、減量百分の二）に相當する金額を加へたるものを以て其の制限額とす。

二　鹽小賣人が消費者に賣渡す鹽の價格は、前項に依り鹽元賣捌人より買受けたる代金に、鹽元賣捌人營業所より鹽小賣人營業所に至る鹽運賃及鹽買受代金の百分の三十（營業所得百分の十二、減量百分の十八）に相當する金額を加へたるものを以て其の制限額とす。

三　鹽元賣捌人營業所より鹽小賣人營業所に至る鹽運賃を、鹽元賣捌人に於て負擔したる場合は、前二項の各制限額に加減を要するものとす。

四　鹽小賣人が消費者に配達する爲要する費用は營業費と看做し、營業所得中に包含するものとす。

猶右各項に依り適當と認むる制限額を各市町村毎に定め報告相成度、尤も右は此際全管分を取纏むるは至難と被存候に付、販賣監視執行の際調査し順次報告せらるる樣致度。右依命。

追て鹽小賣人の店頭に揭示する鹽販賣價格表には一升當の外一斤當の價格をも揭記せしむることに致度申添候。』

尋いで同年九月一日鹽販賣價格制限方取扱手續（明治四十一年九月一日專賣局長官達丁第四八〇〇號）を左の如く定めたり。

鹽販賣價格制限方取扱手續

第一條　鹽賣捌規則第十一條ニ依リ制限スヘキ鹽ノ販賣價格ハ左ノ標準ニ依リ算定スヘシ

一　鹽元賣捌人カ鹽小賣人ニ賣渡ス鹽ノ價格ハ政府カ鹽元賣捌人ニ賣渡シタル價格（各賠償價格ニ百斤當金一圓四十八錢ヲ加ヘタル金額ヨリ百分ノ五ヲ控除シタルモノ）ニ鹽元賣捌人カ政府ニ支拂ヒタル鹽回送費、鹽販賣官署ヨリ鹽元賣捌人營業所ニ至ル鹽運賃及政府カ鹽元賣捌人ニ賣渡ストキ控除シタル百分ノ五（營業所得百分ノ三、減量百分ノ二）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ其ノ制限額トス

二　鹽小賣人カ消費者ニ賣渡ス鹽ノ價格ハ前號ニ依リ鹽元賣捌人ヨリ買受ケタル代金ニ鹽元賣捌人營業所ヨリ鹽小賣人營業所ニ至ル鹽運賃及政府カ鹽元賣捌人ニ賣渡シタル鹽

ノ價格ト其ノ賣渡ストキ控除シタル百分ノ五ニ相當スル金額ト（百分ノ十二、五減百分ノ十八）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ其ノ制限額トス

三　鹽元賣捌人營業所ヨリ鹽小賣人營業所ニ至ル鹽運賃ヲ鹽元賣捌人ニ於テ負擔シタル場合ハ前二號ノ各制限額ニ加減ヲ要スルモノトス

四　鹽小賣人カ消費者ニ配達スル爲要スル費用ハ營業費ト看做シ營業所得中ニ包含スルモノトス

第二條　鹽販賣官署長ハ其ノ販賣區域内ニ於テ前條ノ標準ニ依リ算定シタル價格ヲ超エテ鹽ノ販賣ヲ爲ス者アルトキ又ハ專賣取締規程第七十一條第二項ニ依リ收納所長ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其ノ販賣價格ヲ制限スルノ必要アリト認メタルトキハ鹽賣捌人ノ指定番號、營業所、氏名、其ノ販賣價格及不當ト認ムル事由、販賣價格制限額、販賣價格制限ノ區域、販賣價格ノ制限ヲ必要トスル事由等ヲ詳記シ稟申スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ賣捌人ニ對シテハ一時鹽ノ賣下ヲ中止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ其ノ旨申報スヘシ

第三條　鹽元賣捌人大藏大臣ノ制限シタル價格以内ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササル爲鹽ノ供給充分ナラス又ハ鹽價騰貴ノ虞アリト認メタルトキハ鹽販賣官署長ハ直ニ稟申認可ヲ得テ直接鹽小賣人ニ賣下クヘシ事急ニシテ認可ヲ受クルノ暇ナキトキハ決行ノ上直ニ報告シテ承認ヲ求ムヘシ

第四條　鹽ノ販賣價格ヲ制限スルノ必要ナキニ至リタルトキ又ハ直接賣下ノ必要ナキニ至リタルトキ又ハ

タルトキハ鹽販賣官署長ハ其ノ事由等ヲ詳記シテ稟申スヘシ

第五條　鹽販賣價格ノ制限又ハ制限解除ノ告示アリタルトキ若ハ直接賣下ヲ開始又ハ停止シタルトキハ速ニ其ノ所門前ニ掲示シ尚其ノ地方ノ新聞紙ニ掲載シテ之カ周知方ヲ計ルヘシ

第六條　第二條乃至第四條ニ依リ稟申又ハ申報スヘキ官署カ藏置所ナルトキハ所屬收納所又ハ販賣所ヲ經由スヘシ

尚ほ移入鹽に就ては鹽賣捌規則第二條第二項に依り特に定めたる元賣捌人を指定するものにして、一般の元賣捌人は右の特別元賣捌人より之を買受くるを要するものなるが故に、此の場合に在りては内地鹽に比し此等普通元賣捌人の利益歩合を多少多からしむるの必要あるを認め、明治四十五年三月及四月前掲鹽販賣價格制限方取扱手續の第一條第一號に左の如き但書を追加したり。

『但シ輸移入鹽ニシテ特別元賣捌人（鹽賣捌規則第二條第二項ニ據リ指定サレタル元賣捌人）ノ販賣スルモノニ在リテハ政府カ特別元賣捌人ニ賣渡シタル價格ノ百分ノ五（營業所得百分ノ三、減百分ノ二）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ其ノ制限額トシ又普通元賣捌人（特別元賣捌人以外ノ元賣捌人）ニ在リテハ前段ニ依リ特別元賣捌人ヨリ買受ケタル代金ニ特別元賣捌人營業所ヨリ其ノ元賣捌人營業所ニ至ル運賃及政府カ特別元賣捌人ニ賣渡シタル價格ノ百分ノ二（營業所得ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ其ノ制限額トス』

本取扱手續は右の外明治四十三年七月、大正三年三月、同八年四月、同年五月、同年七月、同九年六月に於て夫々部分的改正を加へられしが、大正十一年六月に至り左の如く其の全部を改正せられたり。

鹽賣捌人鹽販賣價格制限方取扱手續（大正十一年六月十九日專賣局長官達甲第二四〇四號）

第一條　鹽賣捌規則第十一條ニ依ル鹽賣捌人販賣鹽ノ制限價格ハ左ノ標準ニ依リ算定スヘシ

一鹽元賣捌人カ鹽小賣人ニ又ハ他ノ鹽元賣捌人ニ賣渡ス鹽ノ價格ハ政府カ鹽元賣捌人ニ賣渡ス價格ニ鹽販賣官署カ鹽ノ引渡ヲナス場所ヨリ鹽元賣捌人ノ營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃（鹽元賣捌人間賣買鹽ヲ鹽小賣人ニ賣渡ス場合ハ鹽ノ引渡場所ヨリ直ニ最終ノ鹽元賣捌人營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃ニシテ鹽元賣捌人カ其ノ營業所又ハ鹽貯藏所ヨリ鹽小賣人營業所ニ至ル鹽運賃ヲ負擔スル場合ハ前二號ノ各制限額ニ加減ヲ要スルモノトス）及內地鹽ニ在リテハ同第二條ニ定メタル各賣渡價格ノ百分ノ五（營業所得百分ノ三量減百分ノ二）精製食卓鹽ニ在リテハ同第二條ニ定メタル賣渡價格ノ百分ノ五（全部營業所得）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ其ノ鹽ノ制限價格トス

二鹽小賣人カ消費者ニ又ハ鹽元賣捌人カ一回千斤以上直接消費者ニ賣渡ス鹽ノ價格ハ前號鹽元賣捌人ノ制限價格ニ鹽元賣捌人營業所又ハ鹽貯藏所ヨリ鹽小賣人營業所ニ至ル鹽運賃（鹽元賣捌人ヨリ直接消費者ニ賣渡ス場合ハ之ヲ加算セス）竝包裝ノ儘賣渡スモノニ在リテハ內地鹽ハ大正九年五月大藏省告示第八十五號第一條、輸移入鹽ハ同第二條ニ定メタル各賣渡價格ノ百分ノ十（營業所得百分ノ六量減百分ノ四）斤賣ニ在リテハ百分ノ三十（營業所得百分ノ十二量減百分ノ十八）精製食卓鹽ニ在リテハ同第二條ニ定メタル賣渡價格ノ百分ノ十二（全部營業所得）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ其ノ鹽ノ制限價格トス

三鹽元賣捌人營業所又ハ鹽貯藏所ヨリ鹽小賣人營業所ニ至ル鹽運賃ヲ鹽元賣捌人ニ於テ負擔スル場合ハ前二號ノ各制限額ニ加減ヲ要スルモノトス

四鹽小賣人又ハ鹽貯藏所附近ノ消費者ニ配達スル爲ニ要スル費用ハ營業費ト看做シ營業所得中ニ包含スルモノトス

第二條　地方專賣局長ハ前條ノ標準ニ依リ速ニ販賣價格制限額ヲ算定シ便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ管轄區域內ノ鹽賣捌人ニ通知スヘシ

前項販賣價格制限額ニ變更ヲ要スルトキ亦同シ

第三條　地方專賣局長ハ前條ニ依リ通知シタル販賣價格制限額ヲ超エテ鹽ヲ販賣セル鹽賣捌人ニ對シ指定取消ノ必要ヲ認メタルトキハ鹽元賣捌人ニ在リテハ其ノ局限指定シテ稟申シ鹽小賣人ニ在リテハ其ノ事實ヲ詳記シ狀ヲ具スヘシ

第四條　地方專賣局長ハ前條ニ依リ鹽元賣捌人指定取消ノ必要ヲ認メタルトキハ當該鹽元賣捌人ニ對シ一時鹽ノ賣渡ヲ中止スルコトヲ得

第五條　地方專賣局長ハ鹽元賣捌人カ販賣價格制限額以內ニテ鹽ノ販賣ヲ爲サス又ハ鹽ノ賣渡ヲ中止シタル爲當該地方ニ於テ鹽ノ供給ヲ缺キ若ハ鹽價騰貴ノ虞アリト認メタルトキハ必要ニ應シ直ニ關係鹽小賣人ニ對シ直接鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ

第六條　鹽元賣捌人ニ對シ一時鹽賣渡ノ中止又ハ鹽小賣人ニ對シ直接鹽ノ賣渡ヲ要スル場合ニ於テ所轄地方專賣局カ鹽販賣官署ニアラサルトキ又ハ當該賣捌人カ他ノ鹽販賣官署トノ共屬鹽販賣區域內ニ屬スル者ナルトキハ地方專賣局長ハ直ニ其ノ旨關係鹽販賣官署長ニ通知スヘシ

第七條　鹽販賣官署長前條ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ當該鹽元賣捌人ニ對シ鹽ノ賣渡ヲ中止シ又ハ關係鹽小賣人ニ鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ

第八條　鹽元賣捌人ニ對シ鹽ノ賣渡ヲ中止シ又ハ鹽小賣人ニ直接鹽ノ賣渡ヲ爲スヘキ事故止ミタルトキハ地方專賣局長ハ直ニ其ノ旨關係鹽販賣官署長ニ通知スヘシ

第九條　鹽販賣官署長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ鹽元賣捌人ニ對スル鹽ノ賣渡中止ヲ解除シ又ハ鹽小賣人ニ對スル鹽ノ賣渡ヲ停止シ其ノ旨關係地方專賣局長ニ通知スヘシ

本手續も亦大正十四年十二月二十九日に至り長官達甲第三七〇二號を以て其の第一條第一號及第二號を左の如く改正せられたり。

『一　鹽元賣捌人カ鹽小賣人及一回千斤以上直接消費者ニ賣渡ス鹽ノ價格ハ政府カ鹽元賣捌人ニ賣渡ス價格ニ鹽販賣官署カ鹽ノ引渡ヲ爲ス場所ヨリ鹽元賣捌人ノ營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃（鹽元賣捌人間賣買鹽ヲ鹽小賣人及一回千斤以上直接消費者ニ賣渡ス場合ハ鹽ノ引渡場所ヨリ直ニ最終ノ鹽元賣捌人營業所又ハ鹽貯藏所ニ至ル鹽運賃）及內地鹽、輸移入鹽共大正十四年十二月大藏省告示第百八十五號一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣價格ノ百分ノ三（量減補塡ヲ爲シタルモノハ百分ノ五）食卓鹽ニ在リテハ同告示一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣價格ノ百分ノ七（全部營業所得）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ其ノ鹽ノ制限價格トス

二　鹽小賣人カ消費者ニ賣渡ス鹽ノ價格ハ前號鹽元賣捌人ノ制限價格ニ鹽元賣捌人營業所又ハ鹽貯藏所ヨリ鹽小賣人營業所ニ至ル鹽運賃竝包裝ノ儘賣渡スモノニ在リテハ內地鹽、輸移入鹽共大正十四年十二月大藏省告示第百八十五號一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣價格ノ百分ノ六（量減補塡ヲ爲シタルモノハ百分ノ十）斤賣ニ在リテハ百分ノ三十（營業所得百分ノ十二量減補塡ヲ爲シタルモノハ百分ノ十八）食卓鹽ニ在リテハ同告示一回一萬斤以上賣及直接鹽小賣人賣價格ノ百分ノ十八（全部營業所得）ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ其ノ鹽ノ制限價

タルモノヲ以テ其ノ鹽ノ制限價格トス』

今明治三十五年以降大正十五年迄の平均市場販賣價格を表示すれば左の如し。

年次	東京 元賣捌（百斤當）	東京 小賣 俵（百斤當）	東京 小賣 斤（一斤當）	大阪 元賣捌（百斤當）	大阪 小賣 俵（百斤當）	大阪 小賣 斤（一斤當）	全國主要地平均 元賣捌（百斤當）	全國主要地平均 小賣 俵（百斤當）	全國主要地平均 小賣 斤（一斤當）
明治三五	円 ？	円 ？	厘 ？	円 ？	円 ？	厘 ？	円 一・二三二	円 ？	厘 二三
三六	？	？	？	？	？	？	一・三四二	？	二三
三七	？	？	？	？	？	？	一・二七二	？	二三
三八	二・九二四	？	？	二・七九五	？	四一	一・九一一	？	四一
三九	二・九三三	？	？	二・六五六	？	四一	二・八九九	？	四一
四〇	二・七八三	？	？	？	？	四二	二・七六〇	？	三八
四一	二・六七九	？	？	二・六五四	？	四二	二・七九九	？	三八
四二	二・六八四	二・九〇〇	？	二・六一三	二・八六七	三七	二・六六七	二・八六七	三五
四三	二・六〇六	二・六八六	三六	二・五八二	二・八一〇	三五	二・六七九	二・八一〇	三五
四四	二・五八七	二・六五五	三三	二・五五三	二・七四三	三三	二・六二五	二・七四三	三三
大正元	二・五四五	二・七一七	三三	二・五四一	二・九三三	三三	二・六八四	二・九三三	三三
二	二・四八七	二・六五五	三三	二・四八四	二・六三六	三三	二・五二六	二・六三六	三三
三	二・三二八	二・五〇〇	三〇	二・三一六	二・五七六	三一	二・三七六	二・五七六	三一
四	二・三二八	二・四四五	二九	二・三三五	二・四八六	三〇	二・三五四	二・四八六	三〇
五	二・二六五	二・四二五	二九	二・二八三	二・四一八	三〇	二・三〇三	二・四一八	三〇
六	二・六一一	二・八三三	三四	二・六三三	二・七九四	三六	二・六四六	二・七九四	三六
七	三・〇二六	三・三四八	四〇	三・〇三五	三・二四九	三九	二・七二七	三・二四九	三九

大正	八	円 三・四五一	円 三・八五六	厘 五〇	円 三・四六九	円 三・八二六	厘 四五	円 三・五〇八	円 三・七二九	厘 四五
	九	四・二五五	四・七三五	五六	四・三〇四	四・七一四	五六	四・三一三	四・六二〇	五六
	一〇	三・九九三	四・四五六	五二	四・〇四一	四・四二三	五二	四・〇五一	四・三四〇	五一
	一一	三・八一三	四・二六五	五〇	三・八六二	四・二三六	五〇	三・八七一	四・一五〇	五〇
	一二	三・八〇二	四・二四八	五〇	三・八三九	四・二二五	五〇	三・八四〇	四・〇九三	四九
	一三	四・一四九	四・六九四	五六	三・八一五	四・二一四	五一	三・八一三	四・〇九九	四九
	一四	四・〇五九	四・六〇二	五五	三・八一五	四・二一四	五一	三・八一四	四・〇八一	四九
	一五	四・〇一八	四・五六六	五四	三・八七四	四・二八二	五一	三・八九四	四・二〇四	五一

（備考）一、大正十四年迄は五等鹽、同十五年は三等鹽の價格とす。
二、明治四十年迄は桝賣にして斤賣の事實なきも、比較對照上斤賣に換算す。
三、大正十三年以後東京市場價格の昂騰せるは、震災の影響を受け鹽賣捌人の引取運賃騰貴せし爲なり。

第六款　鹽の輸出及移出

鹽專賣の實施と同時に輸出貿易奬勵の爲め、外國に輸出する鹽に就ては特定の廉價を以て賣渡し又一般定價を以て賣渡したる鹽又は其の鹽を以て鹽藏したる鰊及鯖を輸出したるときは、請求に依り一定の交付金を下付するの制度を設けしこと、竝に左記の如き場合には此の特典を受くる能はざるものと定めしことは、既に第三款に於て述べたる所の如し。

（一）特別定價を以て賣渡したる鹽に就ては、賣渡の日より六箇月以内に其の鹽を輸出し、外國に陸揚せることを證明するに非ざれば、一般定價と特別定價との差額及其の十分の一に相當する金額を追徵す。

（二）一般定價を以て賣渡したる鹽又は其の鹽を以て鹽藏したる魚類に就ては輸出後六箇月以内に輸出及外國陸揚の事實を證明して、交付金の下付を請求するに非ざれば之を交付せず。

（三）輸出申告書に記載したる寄港地外の内國沿岸に寄港したるときは交付金を下付せず。

（四）一般定價鹽又は鹽藏魚類の一回の輸出數量千斤未滿なるときは交付金を下付せず。

茲に於て此等の輸出鹽又は輸出鹽藏魚類に對しては、前掲の諸條件を具備せるや否やに就き之を檢査確認するの必要あり、而して此等の檢査事務は之を稅關に於て管掌せしむるを以て最も利便と爲すを以て、明治三十八年五月大藏省訓令第四十二號を以て各稅關に對し、鹽又は鹽藏魚類の輸出に關し稅關に於ける取扱方を訓達したり。

爾後輸出鹽及鹽藏物に對する特典附與の制度に關しては屢〻變更を加へらるる所あり、卽ち明治三十九年四月鹽專賣法を施行せざる地に移出する鹽に對しても外國輸出鹽と同樣の特典を與ふることと爲し、同四十三年九月交付金下付の特典を與ふる輸出鹽藏魚類の種類に鰮を追加すると共に、一般定價を以て賣渡したる鹽を以て製成したる醬油を外國に輸出したる場合に於ても交付金下付の特典を與ふることと爲し、又大正二年十月に至り再び輸出鹽藏物の種類を擴張して、從來の魚類の外新に乾鰕及乾鮑に對しても交付金下付の途を開きたり。而して此等制度上の諸變更に伴ひ、前記の輸出鹽又は鹽藏魚類の稅關に於ける取扱方に關する規定も屢〻其の一部又は全部を改正せられたり（明治四十二年十月大藏省訓令第二十五號・同四十三年九月同第二十號・大正二年四月同第七號・同年十月同第十五號・同五年八月同第七號・同七年二月同第一號・同年十二月同第十八號・同十年四月同第八號・昭和二年二月同第一號）。今此等の改正の一々を述ぶるは繁雜に過ぐるを以て、左に以上の改正を經たる大正末年現行の規定を掲ぐるに止む

べし。

大藏省訓令第七號（大正五年八月八日）

大正五年勅令第百九十七號特別用鹽規則及同年大藏省令第十九號特別用鹽規則施行細則ニ依ル鹽、鹽藏魚介類及製成醬油ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱方左ノ通相定メ特別用鹽規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年九月大藏省訓令第二十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一條　鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ專賣官署ヨリ發シタル鹽賣渡通知書ニ照査シ現品ヲ檢査シテ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二條　前條ノ檢定ハ鹽全部ノ重量ヲ秤量シテ之ヲ定ムヘシ但シ同一包裝ニ在リテハ百ニ付三ノ割合（三十以上ニ上ルトキハ三十ニ止ム）ヲ以テ適宜包裝ヲ摘出秤量シ其ノ數量ヨリ風袋量ヲ控除シタル平均量目ヲ全包裝數ニ乘シテ其ノ數量ヲ算定スルコトヲ得

第三條　鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者鹽ノ輸出申告書ヲ提出シタルトキハ現品ヲ檢査シ第二條ニ依リ其ノ數量ヲ檢定スヘシ

第四條　前二條ノ檢定ハ專賣官署ヨリ現品引取後直ニ輸出スル鹽ニ付テハ賣渡專賣官署ノ通知ニ依リ現品ノ秤量ヲ省略シ專賣官署ノ賣渡數量ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

輸出ノ目的ヲ以テ鹽產地ニ於テ買入レタル漁業用內地鹽若ハ同上ノ目的ヲ以テ買受豫約ヲ爲シタル政府ノ回送鹽ヲ出漁用船舶ニ依リ鹽產地ヨリ開港ニ回送シ其ノ積載船舶ノ鹽積付ノ儘外國貿易船ニ資格變更ヲ爲シ輸出スル鹽ニ付テハ其ノ積載船ニ施シタル封緘及積載鹽ニ異狀ナシト認メラルルモノニ限リ現品ノ秤量ヲ省略シ產地專賣官署ノ通知ニ依ル鹽數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ

前項ニ依リ回送シタル積載鹽ノ一部ヲ開港ニ於テ他ノ外國貿易船ニ船移シ其ノ殘存積載鹽ヲ積付ノ儘外國貿易船ニ資格變更ヲ爲シ輸出スル鹽ニ付テハ封緘及積載鹽ニ異狀ナシト認メラルルモノニ限リ產地專賣官署ノ通知ニ依ル鹽積込數量ヨリ他ノ外國貿易船ニ船移シタル數量ヲ控除シタル鹽數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ但シ積載鹽ノ一部ヲ開港所在ノ專賣官署ニ引渡ス場合ニ於テハ稅關ハ立會ノ上積載船ノ封緘ヲ調査シ異狀ナシト認メラルルモノニ限リ殘存積載鹽ニ付現品ノ秤量ヲ省略シ賣渡專賣官署ノ通知數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ

第五條　鹽藏シタル鰊、鯖、鰯、乾鰕又ハ乾鮑ノ輸出申告書ヲ提出シタル者アルトキハ現品ヲ檢査シ第二條ニ準シ鹽藏魚介類ノ重量ヲ檢定スヘシ

第五條ノ二　製成醬油ノ輸出申告書ヲ提出シタル者アルトキハ現品ヲ檢査シ第二條ニ準シ製成醬油ノ石數ヲ檢定スヘシ

第六條　鹽、鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸出シタル者アルトキハ每月末日第一號書式ノ鹽、鹽藏魚介類、製成醬油輸出通知書ヲ調製シ第一條ニ該當スル鹽ニ付テハ賣渡專賣官署ニ鹽藏魚介類、製成醬油又ハ第三條ニ該當スル鹽ニ付テハ輸出港所轄專賣官署ニ之ヲ送付スヘシ

第七條（削除）

第八條　交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚介類又ハ製成醬油ヲ輸入セムトスル者アルトキハ第三號書式ニ依リ鹽藏魚介類及製成醬油輸入通知書ヲ調製シ輸入港所轄專賣官署ニ之ヲ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ稅關ハ專賣官署ヨリ追徵金納入濟通知書ヲ受理シタル後ニ非サレハ輸入者ヲシテ現品ヲ引取ラシムルコトヲ得ス

（書式省略）

又移出鹽の檢查取締の爲めには明治四十二年八月專賣局長官達を以て鹽專賣法施行地外移出鹽檢查手續を制定し、之を各專賣支局に通達したりしが、右手續は爾後大正元年十一月、同三年三月及同五年八月の三回に亙りて其の一部に改正を加へられ、以て大正末年に至れり。今此等の諸改正を經たる規定の全文を揭ぐれば左の如し。

鹽專賣法施行地外移出鹽檢查手續（明治四十二年八月十四日專賣局長官達甲第二五八六號）

第一條　鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ鹽ヲ移出セムトスル者アルトキハ第一號書式ニ依リ鹽移出申告書ヲ提出セシムヘシ

前項申告書ハ其ノ用紙ヲ備ヘ置キ移出者ノ請求ニ依リ之ヲ交付スヘシ

第二條　鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ移出セムトスル者アルトキハ現品引渡前其ノ鹽ノ移出申告書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ移出申告書ヲ受理シタルトキハ現品包裝ニ左記赤色ノ記號ヲ押捺シタル後第二號書式ノ移出鹽檢查證ニ必要事項ノ記入及認印ヲ爲シ之ヲ移出申告者ニ交付スヘシ

イ　直徑二寸五分

第三條　前條ニ依リ移出シタル鹽ヲ鹽專賣法施行地內ノ寄港地ニ於テ更ニ他ノ船舶ニ積替ヘムトスル者アルトキハ移出申告書摘要欄ニ其ノ積替港ヲ記載セシメ第三號書式ノ移出鹽積替通知書ヲ其ノ地所轄鹽專賣官署ニ發送スヘシ

前項通知ヲ受ケタル鹽專賣官署ニ於テハ移出申告者ヲシテ移出鹽檢查證ヲ提出セシメ積替通知書及現品ト對查シテ其ノ積替ヲ監視スヘシ

積替終了シタルトキハ移出鹽檢查證ニ積替月日ヲ記入シ認印ヲ爲シ之ヲ移出申告者ニ交付スヘシ

第四條　鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ノ移出申告書ヲ受理シタルトキハ現品ヲ檢定シタル上第二條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

鹽專賣法第十八條又ハ第十九條第一項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ現品引取後直ニ移出スル場合ニ於テハ現品ノ秤量ヲ省略シ賣渡數量ヲ以テ檢定數量ト爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ左記赤色ノ記號ヲ押捺スヘシ

イ　直徑二寸五分ノ圓內ニ書キタルモノ

第五條　移出鹽ノ檢定ハ左記ノ方法ニ依ルヘシ